

仙台市小学生交通環境学習推進委員会 第9回委員会

平成26年1月27日（月）午後13時00分～
仙台市役所本庁舎2階 第5委員会室

次 第

1. 開 会

2. 議事

- (1) 今年度モデル授業の報告・・・・・・・・（資料3、参考資料2）
- (2) 交通環境学習のまとめについて・・・・（資料1～3、参考資料1）
- (3) 普及に向けた取り組みについて・・・・（資料1、4、参考資料3）

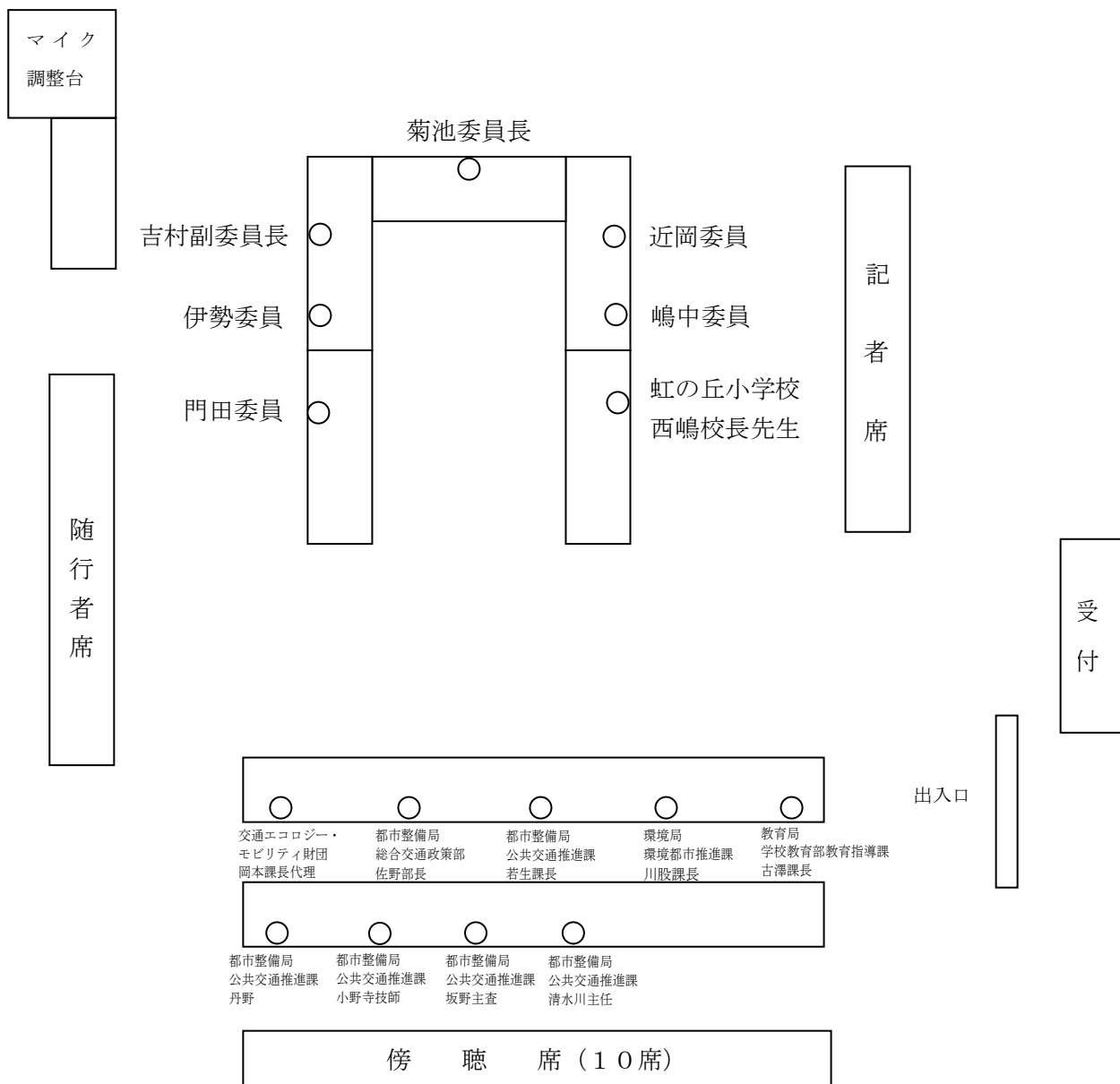
3. 閉 会

配布資料

- ・資 料1 広報用チラシ（案）
- ・資 料2 小学生交通環境学習の手引き（案）
- ・資 料3 小学生交通環境学習の手引き 別冊 ～実践事例集～（案）
- ・資 料4 小学生交通環境学習推進事業の普及に向けた取り組みについて
- ・参考資料1 仙台市交通環境学習推進委員会 第6回作業部会議事要旨
- ・参考資料2 児童・保護者アンケート調査票及び結果
- ・参考資料3 公共交通に関する学習状況アンケート結果

第9回 仙台市小学生交通環境学習推進委員会 席次表

平成26年1月27日(月) 13:00～
 仙台市役所本庁舎2階 第五委員会室



第9回 仙台市小学生交通環境学習推進委員会 出席者名簿

< 委 員 >

	所 属 ・ 役 職 名	氏 名	備 考
学識経験者	東北工業大学 工学部都市マネジメント学科 准教授	菊池 輝	
学識経験者	宮城教育大学 大学院教育学研究科 教授	吉村 敏之	
市民団体等	NPO法人 まなびのたねネットワーク 代表理事	伊勢 みゆき	
市民団体等	公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 理事	門田 陽子	
市民団体等	NPO法人 まちづくり政策フォーラム 監事	近岡 綾子	
小学校関係	仙台市小学校教育研究会 社会科部会 会長 (仙台市立 上野山小学校 校長)	橋本 光一	欠席
小学校関係	仙台市小学校教育研究会 生活科・総合的な学習研究部会 会長 (仙台市立 宮城野小学校 校長)	三嶋 廣志	欠席
行政機関	国土交通省東北運輸局交通環境部環境課 課長	嶋中 達也	

< オブザーバー >

授業実施校	仙台市立鶴巻小学校 校長	狩野 孝彦	欠席
授業実施校	仙台市立虹の丘小学校 校長	西嶋 茂雄	

< 事 務 局 >

交通エコロジー・モビリティ財団	交通環境対策部 交通環境企画課 課長代理	岡本 英晃	
仙台市	都市整備局総合交通政策部 部長	佐野 公司	
仙台市	環境局環境部環境都市推進課 課長	川股 直哉	
仙台市	教育局学校教育部教育指導課 課長	古澤 康夫	
仙台市	都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 課長	若生 孝志	
仙台市	都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 主査	坂野 浩之	
仙台市	都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 主任	丹野 靖子	
仙台市	都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 技師	小野寺 伸介	

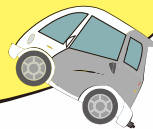
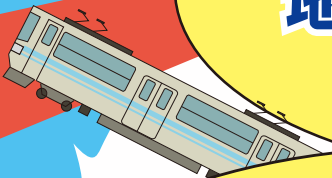
交通と環境に関する 教材を使ってみませんか？

人の移動(交通)と
“地球環境”の関わりを
学べる！

校外学習の事前学習として、
バスや地下鉄の乗り方・降り方、
マナーを学べる！

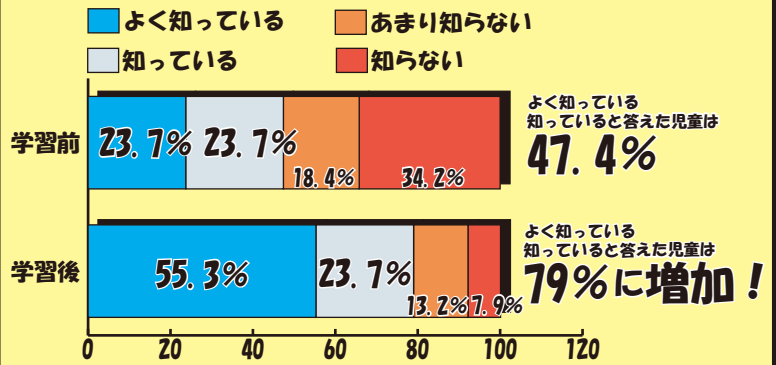
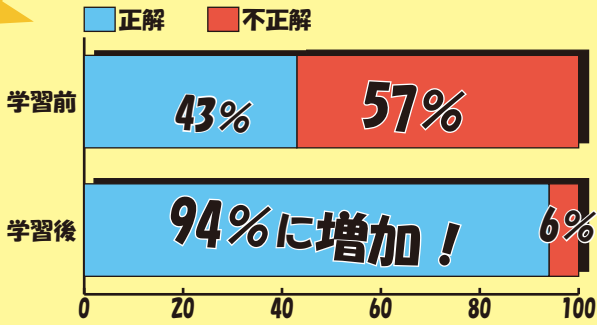
車と公共交通の違いを
学べる！

仙台市



バスの乗り方を
理解することができる！

交通と環境に関わる
知識が向上！



▲バスを降りるとき運賃をどこに入ればよいかわかりますか？（低学年）

▲クルマよりバスの方が一人あたりのCO2排出量が少なく、地球にやさしいことを知っていますか？（高学年）

※授業前後の児童へのアンケート調査より



教材を使って、
どんな授業ができるの？

その1 **生活科**の授業で、**乗り方・降り方の学習**をした。
→手引き（別冊）P.2 パッケージ①

その2 修学旅行の班行動の練習をするために、**社会科**の授業で、**地下鉄やバスの時刻調べ**をし、乗車計画を立てた。
→手引き（別冊）P.29 パッケージ⑦

その3 **国語**の授業で「地球温暖化と交通」をテーマに、**パネル討論会**をした。
→手引き（別冊）P.30 パッケージ⑧

提供できる教材は
いろいろ！

●電子教材 ※ダウンロードできます。

●模擬練習用の運賃箱、券売機、改札機

貸出できます

バスノート
（低学年用）



バスの時刻調べ
（中・高学年用）

※テキストも
あります。↓



こうつう
と
ちきゅうおんだんか



こうつう
と
ちきゅうおんだんか
（中学年用）



▲模擬券売機を用いた学習の様子。
券売機のほかにも運賃箱、改札機もあります。

気になったらアクセスしてみてください！

●仙台市のホームページから
教材や授業実施の手引きを
ダウンロードできます。

http://www.city.sendai.jp/sumiyoi/kotsu/smart/1195111_1593.html

●お問い合わせ

都市整備局 総合交通政策部 公共交通推進課

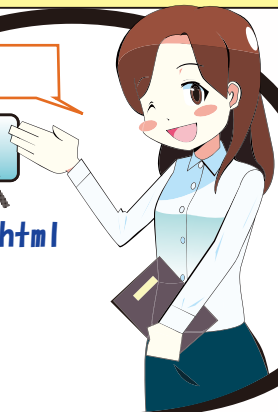
仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

電話：022-214-8353 ファクス：022-211-0017

メールアドレス：tos009520@city.sendai.jp

仙台市小学生交通環境学習

検索



小学生交通環境学習の手引き (案)

仙台市

目次

1	交通環境学習とは何？	2
1.1	交通とは？	2
1.2	環境とは？	2
1.3	交通環境学習とは？	2
1.4	具体的にどんなことを学習ができるの？	2
2	どのように計画すればいいの？	3
2.1	どの教科で教えればいいの？	3
2.2	低(中)学年に”環境”は難しいのでは？	4
2.3	時間数を増やせない時は？	4
2.4	出前授業のようなものは無いの？	4
3	どんな学習効果があるの？	5
4	どんな教材があるの？	7
4.1	電子教材	8
4.2	模擬乗車体験キット	14
4.3	エネルギーバッグ	14
5	校外学習(体験学習)の準備・留意点は？	15
5.1	公共交通の利用形態による特徴	15
5.2	交通事業者の連絡先、確認・調整すべき事項	17
5.3	体験(校外)学習実施時の協力者の確保	18
5.4	利用に関する下見	18
5.5	乗車体験学習における利用形態別の予想リスクと対策	19

掲載項目の過不足について、委員会検討事項

1 交通環境学習とは何？

1.1 交通とは？

- ・ 人や物の移動の事を指しますが、ここでは人の移動の事を指します。
- ・ さらに移動の手段として陸路・海路・空路等がありますが、ここでは主に陸路を差し、「クルマ」と「公共交通」を使っての移動の事を取り上げます。

1.2 環境とは？

- ・ 地球環境の事を差します。
- ・ 特に近年問題視されている地球温暖化問題について取り上げます。

1.3 交通環境学習とは？

- ・ 交通の環境への影響を学び、環境負荷を減らすためには何が出来るかを考えます。
- ・ 小学生の内から上記のような事を学び、将来大人になった時、過度にクルマに依存することなく、時と場に応じて移動手段を考える事の出来るようにするための学習です。

1.4 具体的にどんなことを学習ができるの？

交通環境学習を実施することで、児童に以下のことを学習させることができ、後述する教材や授業パッケージは下記の項目を満たすように対応しています。

- ✓ バスや地下鉄とはどんな乗り物かについて
- ✓ バスや地下鉄の乗り方降り方・マナーについて
- ✓ バスを利用することが環境にも良いということについて
- ✓ 公共交通とまちづくりの関係について
- ✓ 公共交通と環境の関係について
- ✓ 色々な交通手段の長所・短所について
- ✓ 公共交通を利用した、目的地までの経路・料金・時刻の調べ方について
- ✓ 環境面、社会貢献面から見た公共交通の必要性について
- ✓ 目的や状況にあわせた交通手段の選び方について
- ✓ 自家用車・バス・電車と二酸化炭素、二酸化炭素と地球温暖化の関係について
- ✓ 地球環境を守るために身の回りのできる事について

2 どのように計画すればいいの？

2.1 どの教科で教えればいいの？

- 交通環境の学習は、様々な授業への関連付けが可能ですので、教える教科に決まりはありません。しかし、はじめて授業に取り入れる際は授業実施例の学年・教科(単元)を参考にすると良いでしょう。

表 2-1 交通環境学習のパターン

対象学年	教科	内容
低学年	2 学年 生活科 ①*	単元「どきどきわくわく まちたんけん」 ・ 公共交通に親しみを持たせるため、市バス・地下鉄の乗り方降り方を学び、乗車体験を行う。
	2 学年 生活科 (道徳) ②*	単元「科学かんに出かけよう」 ・ 公共交通を用いた校外学習前に、公共交通の乗り方降り方・マナーを学ぶ。 ・ 地球温暖化と交通に関係があることを知る。
	2 学年 生活科 (道徳) ③*	単元「みんなで行こうよつかおうよ」 ・ 公共交通を用いた校外学習前に、公共交通良さを知り、乗り方降り方・マナーを学ぶ。 ・ 地球温暖化と交通に関係があることを知る。
中学年	3 学年 総合的な 学習 ④*	・ 地球温暖化と交通の関係を学び、公共交通が地球にやさしいことを知る。 ・ 公共交通と自家用車の違いを考える。
	4 学年 総合的な 学習 ⑤*	・ 公共交通と自家用車の違いを考える。 ・ 地下鉄やバスの時刻を自分たちで調べ、乗車の計画を立てる。
	4 学年 総合的な 学習 ⑥*	・ 公共交通と自家用車の違いを考える。 ・ 公共交通は自家用車よりも環境にやさしいことを知る。
高学年	5 学年 社会 ⑦*	単元「確認」 ・ 地下鉄やバスの時刻を自分たちで調べ、乗車の計画を立てる。(修学旅行時の班行動の練習 等) ・ 交通・二酸化炭素・温暖化の関係を理解する。
	5 学年 国語 ⑧*	単元「パネル討論会をしよう」 ・ 「地球環境と交通」をテーマに、環境面を含めた様々な立場から、公共交通について討論を行う。
	6 学年 理科 ⑨*	単元「人と環境」 ・ 二酸化炭素の温室効果を知る実験を行う。 ・ 二酸化炭素が車から排出されることを知り、どうすれば削減できるかを考える。

※「別冊～実践事例集～」に掲載しているパッケージ番号に対応しています。

2.2 低(中)学年に”環境”は難しいのでは？

- ・ 無理に低(中)学年に環境問題について教えようとするものではありません。
- ・ 高学年でクルマ・公共交通と環境問題を学ぶための基礎知識・体験として、低学年で、まずはバスや地下鉄の利用方法を学ぶ・実際に利用させてみるといった内容でも構いません。
- ・ 低学年で環境について触れた授業例もあります。(別紙～実践事例～パッケージ②③参照)

2.3 時間数を増やせない時は？

- ・ 教えたい内容を部分的に抜粋しての授業も可能です。
例)45分の内、最初の20分を使ってバスのマナーを学び、残りで校外学習の計画をする。
貸切バスにて校外学習をする際、バスの移動時間を使ってクイズ形式で学習する。等
- ・ 教材も、それに合わせて取捨選択・加工が可能な形式にて入手できます。

2.4 出前授業のようなものは無いの？

- ・ 交通や環境に関する内容について授業をする際、専門知識や、同様の授業の講師経験を持つ団体から、講師派遣による出前授業を受けることもできます。
- ・ 授業自体は派遣講師に任せることができますが、授業計画の段階において、以下の項目については、学校側にて計画、もしくは講師派遣を依頼する団体との打合せにて決定していく必要があります。
 - ✓ 授業の主旨、ポイント、最低限盛り込んでほしい内容 等
 - ✓ 前後の授業とのつながり(単発の授業でない場合には、一連の流れの中での当該授業の位置づけを提示)
 - ✓ 授業に使える時間
 - ✓ 授業形式(座学・体験学習 等)
 - ✓ 授業で使う教材
 - ✓ その他授業(学校)における制約等

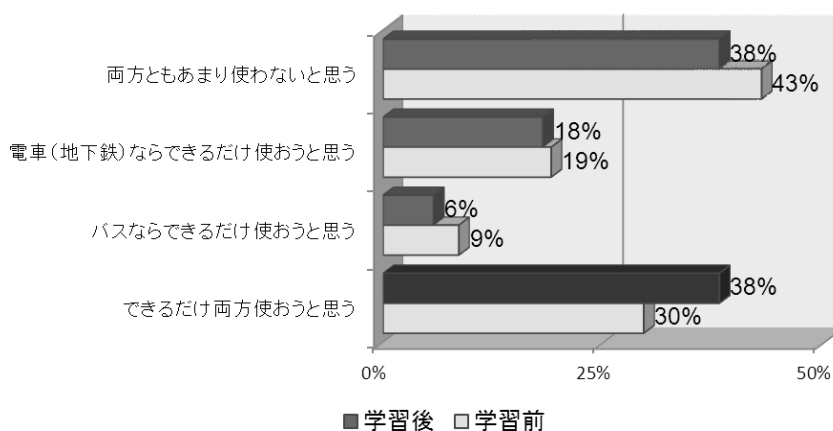
表 2-2 外部講師対応 団体リスト

団体名	住所	連絡先	料金	対応可能な内容
○○…				
●●…				

3 どんな学習効果があるの？

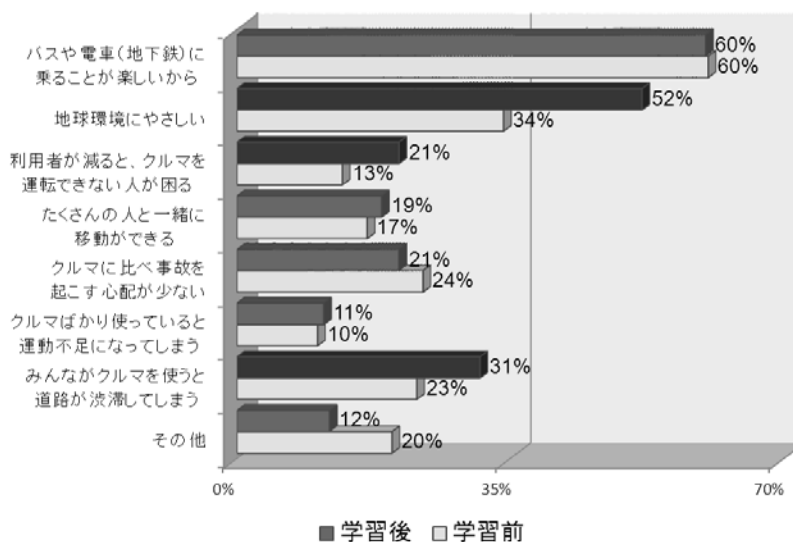
交通環境学習の実施前後に実施したアンケート調査結果を比較した結果、以下のような学習の効果が確認されています。

- 環境のことを考え、公共交通を使おうとする意識が高まる。
- 公共交通の役割や利点【環境にやさしいこと、車を運転できない人の移動手段であることなど】や自動車利用に頼ることの弊害【渋滞が増えることなど】について理解できる。
- 公共交通が不便なものだという認識に変化が生まれる。



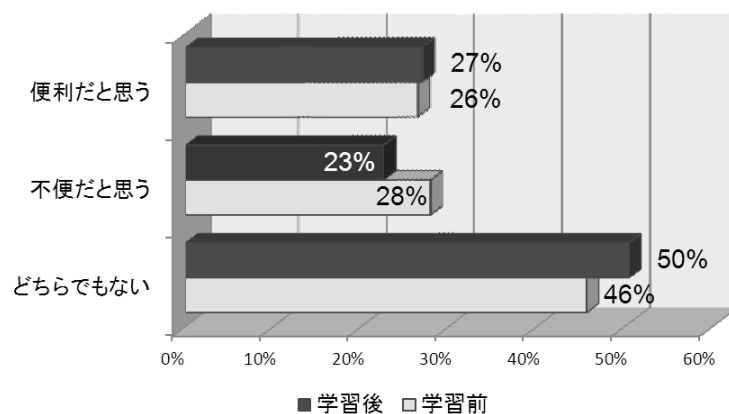
※小学校モデル授業実施校の児童アンケート結果 (N=210)

図 3-1 公共交通を家族との外出時に使おうと思うかどうか



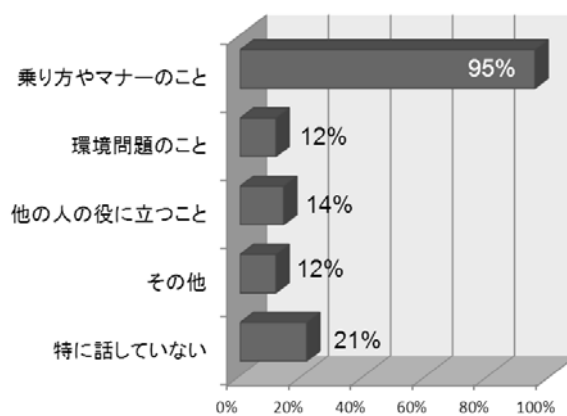
※小学校モデル授業実施校の児童アンケート結果 (N=210)

図 3-2 公共交通を使おうと思うと回答した理由
(学習前 N=126、学習後 N=135)



※小学校モデル授業実施校の児童アンケート結果 (N=210)

図 3-3 バスや地下鉄はクルマより便利か不便か



※小学校モデル授業実施校の保護者アンケート結果 (N=121)

図 3-4 学習後に家庭で子どもと話をした内容は何か

4 どんな教材があるの？

交通環境を学習するための教材は、仙台市都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 HP からダウンロードできる電子教材、バスや地下鉄の乗車練習用の模擬運賃箱・模擬改札等の他、二酸化炭素排出量を重さで体感するエネルギーバッグ等(他団体保有、P15 参照)があります。

表 4-1 仙台市で保有する教材一覧

	教材名	内容
4.1	① バスノート(低学年用)	・バスの乗り方、降り方、乗車中のマナー 等
	② バスノート(中学年用)	・低学年用の内容に加え、運賃表の見方 等
	③ 位置関係と行程	・学校の位置、校外学習の行き先、利用するバスが通るルート、運賃表 等
	④ 地下鉄に乗ってでかけよう	・地下鉄の乗り方、降り方、切符の買い方、乗車中のマナー 等
	⑤ 交通と地球温暖化	・交通と地球温暖化の関係、車と公共交通のCO ₂ 排出量の違い 等
	⑥ 紙芝居	・クルマとバスのメリットデメリット等 紙芝居形式
	⑦ 公共交通について(中学年用)	・公共交通とはどんなものがあるか、自家用車・公共交通はどこどころが違うか 等
	⑧ 公共交通について(高学年用)	・仙台市の地下鉄やバスのデータ(乗客数、車両数、運行本数)、市のデータ(人口・高齢者数)
	⑨ バスの時刻調べ(テキスト)	・仙台市交通局ホームページ上での地下鉄・バスの時刻や料金の調べ方 等
	⑩ バスの時刻調べ(ワークシート)	・テキストを用いて移動計画を立てる際の記入シート、二酸化炭素排出量の簡易的計算 等
	⑪ 討論会用データ集	・仙台市の高齢者数や乗客数の推移、運賃収入等の討論用の素材となるデータ
	⑫ 地球環境に関するデータ集	・温暖化による気温の推移、海面上昇の予測値 等
4.2	⑬ 模擬運賃箱・改札・券売機	・バスや地下鉄の乗り方降り方を練習する際に用いる模擬乗車体験用教材
4.3	⑭ もてるかな?～エネルギーのかばん～ (外部団体保有)	・二酸化炭素排出量の違いを重さで体感する鞆形式の教材

仙台市のホームページ(http://www.city.sendai.jp/sumiyoi/kotsu/smart/1195111_1593.html)より電子教材(Microsoft 社の Word・PowerPoint 形式)をダウンロードすることが可能です。

中身を全てご覧になる場合は仙台市ホームページより、教材をダウンロードの上ご覧ください。



▲HP の QR コード

4.1 電子教材

各教室の電子黒板に映したり、テキストとして印刷したりして使えます、内容は各学校の方針や地域特性に合わせて、適宜修正して使用してください。

- ① バスノート(低学年用)
- ② バスノート(中学年用)
 - ・ バスノートはバスの乗り方降り方や、バスの中でのマナー等をまとめた教材です。
 - ・ 低学年・中学年向けにバスの乗り方降り方、マナーを学習する際の教材として利用できます。(中学年用には「料金表の読み方」の内容が追加されています。)

1. バスの のりかた・おりかた

③バスが ちがづいてきたら バスがきたら、どんなことをかくにんすればいいのかな？

バスの まえやよこにある「いきさき」をかくにんしてね。

1. バスの のりかた・おりかた

お金や整理券を入れるのはどこかな？

「整理券」といっしょに、運賃を運賃箱に入れて、おとりよ。

バスカードはここに 入れるよ。

2. バスでのやくそく

②ゆずりあいのせき おとしよりや、からだのふじゆうなかたにせきをゆずりましょう

2. 運賃表の見方

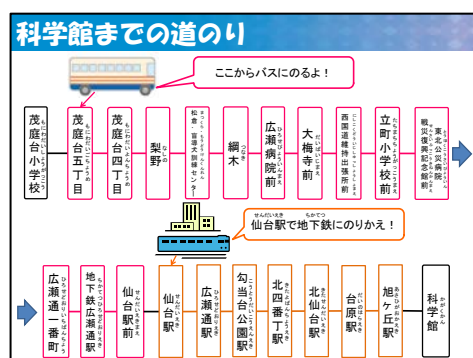
<クイズ!!> 整理券 10

次は 仙台駅前

整理券番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
バス	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
バス	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
地下鉄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
地下鉄	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
地下鉄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
地下鉄	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

いくららえばいいかわかるかな？

- ③ 位置関係と行程
 - ・ 低～中学年向け。
 - ・ 路線バスを利用させる際、停まるバス停の流れと、乗った後の実際の運賃表の変化を再現して、提示することができます。
 - ・ 各校の位置・行き先に応じ、バス停名・料金を修正する必要があります。



次は 東北公災病院戦災復興記念館前

整理券番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
バス	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
バス	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
地下鉄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
地下鉄	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
地下鉄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
地下鉄	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

- ④ 地下鉄に乗ってでかけよう
 - ・ 低～中学年向け。
 - ・ バスノートの地下鉄版です。
 - ・ 地下鉄の乗り方降り方や、切符の買い方、ホームでの待ち方などを学習できます。

1. 地下鉄の でん車は どんな のりもの？

②地下鉄の でん車の中

地下鉄の でん車に入は どれくらい のれるの？

うんてんせきは どうなってるの？

いちどに やく800人の 人が のれるんだよ。

うんてんしゅさんが ひとりで うんてんして いるんだよ。

2. 地下鉄の でん車の すごいところ

①はやい！じかんどおり！

②まちじかんが みじかい！

③ちきゅうに やさしい！

どうろじゅうたいや しんごうが ないから、はやいんだよ。

1日に やく170かい はしているんだよ。

たくさんの方が のれるから、 ちきゅうに やさしいんだよ。

3. 地下鉄の でん車の のりかた・おりかた

③きっぷの かいかた

地下鉄は のる まえに きっぷを かうんだね。

券売機で きっぷを かいましょう。

①お金を 入れよう！

②子供退賃の きっぷボタン を押そう！

③出てきた きっぷをとろう！

券売機

3. 地下鉄の でん車の のりかた・おりかた

④改札の とおりかた

きかいに きっぷを 入れて 改札を とおりましょう！

きっぷは わずれずに とろう

裏にして 入れてね！

- ⑤ 交通と地球温暖化
 - ・ 中～高学年向け。
 - ・ クルマと公共交通(バスを取り上げて)の二酸化炭素排出量の違いや、二酸化炭素と地球温暖化の関係を学び、地球環境を守るためにできることを考えます。

くるまでGO！

たくさんくるまが必要だね！

わたしたちのくらしはむかしよりべんりになりました

そのためにねんりょうをもちます

たくさんのがスが発生します。

CO₂

ふとんみたいな、おんしつこうかガス！

このおんしつこうかガスが、ちぎゅうをおおってふとんみ たいになる。

SLEEPING? NEW YEAR HOLIDAYS

Happy New Year

暑い、暑い！

太陽

南極などの氷が溶けて 海の水がふえ、 沈んでしまうところが多くなる！

早く 引っ越さなきゃ！

このままだと 沈んじゃうよー！

温暖化は極地域の 氷を溶かし、 海面水位の上昇を もたらします。

⑥ 紙芝居

- ・ 低～中学年向け。
- ・ クルマとバスを利用することのメリット・デメリットを紙芝居形式で教えることができます。



(バスのお姉さん)
「待ちなさい。ラビット男爵。あなたの話は、クルマの便利で良さそうところしか、説明していないのよ。」

(ラビット男爵)
「むむむむむむ……！」

「あなたの言うように、みんなが自分勝手に、クルマに乗って出かける、いろいろな問題がおきているのよ。」



(クイズ3)
さあ、クルマがいっぱいになると、ほかには、どんな問題があるでしょうか？

正解は
「排気ガス」です。

バスやクルマは、ガソリンなどの燃料を燃やして走っていますが、そのとき、燃えカスが残って、排気ガスになるんです。

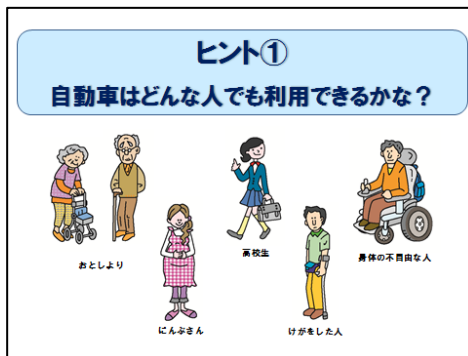
たくさんさんの車から、排気ガスが出ると……

(アリちゃん)
「ゴホ、ゴホ。体に悪いね。きっと、地球にも悪いよ。」

排気ガスは地球温暖化の原因の一つです。

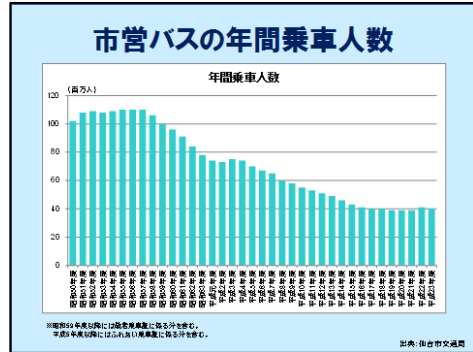
⑦ 公共交通について(中学年用)

- ・ 中学年向け。
- ・ 公共交通とは何か。また、自家用車と公共交通のそれぞれ「良いところ」と「良くないところ」を考えさせます。



⑧ 公共交通について(高学年用)

- ・ 高学年向け。
- ・ 仙台市営のバスと地下鉄に着目し、運行便数やルート、利用者数等の基礎情報を記載。
- ・ 利用者や運賃収入が減少し続ける中で、市が公共交通を運営し続ける理由を考える内容となっています。



仙台市がバスを運営し続ける理由を考えてみよう!

どんな人達がバスを待っているかな?

みんなが自動車で移動したらどうなるかな?

⑨ バスの時刻調べ(テキスト)

- ・ 中～高学年向け。
- ・ 印刷して児童に配布するタイプ(word データ)、電子教材としてスクリーンに映し出すタイプ(powerpoint データ)の 2 パターンがあります。
- ・ 仙台市交通局のホームページより、バス・地下鉄の時刻や経路の調べ方を学びます。

▼ word 版

⑩ “9時0分”が入ったら、その下にある“出発時刻指定”のラジオボタンをクリックします。

ここをクリック!

⑪ 全て入れ終わったら、「検索」ボタンをクリックします。
(これで「鶴巻小学校前バス停」を「平日」の「9時0分」より後に出発して「仙台駅前バス停」に行くバスを検索できます)

ここをクリック!

▼ powerpoint 版

バスの時刻調べ①

◆最初は仙台市営バス(市バス)に乗ります(仙台駅とごみ処理場の間は貸し切りバスで移動しますので鶴巻小と仙台駅の間のバスを調べましょう)
◆「仙台市交通局」のホームページを使ってバスの時刻調べましょう。
◆「鶴巻小学校前」から「仙台駅前」まで行きます。

ここをクリック!

仙台市交通局のホームページ画面

バスの時刻調べ①

市バスの時刻調べの完成

ルートのこうほが3つ表示されます。

例えば1番目のこうほは...
○9時2分出発
○仙台駅前には9時31分に到着(とうちゃく)
○料金は230円
○移動距離は10.4km
○というバスがあるということになります。

⑩ バスの時刻調べ(ワークシート)

- 校外学習の移動計画を立てる際、(9)バスの時刻調べ(テキスト)を用いて調べたバスや地下鉄の時刻を書き込むワークシートです。
- 仙台市ホームページでは、時刻・経路を調べると同時に移動距離も表示されることから、おおよその二酸化炭素排出量を試算(概算)することができます。
- 巻末付録の読み物を読むことで、二酸化炭素と地球温暖化の関係について学習することもできます。

ステップ2: 同じように調べてみよう!

2つめ以降の目的地までの最寄りのバス停、バスの時刻などを調べて書いてみよう。

移動手段	出発地 ※1	出発時刻	到着地 ※1	到着時刻	所要時間 ※2	移動距離
地下鉄 バス 徒歩	台原駅	:	仙台駅	:	8分	4.2km
地下鉄 バス 徒歩		:		:	分	km
地下鉄 バス 徒歩		:		:	分	km
地下鉄 バス 徒歩		:		:	分	km
地下鉄 バス 徒歩		:		:	分	km
地下鉄 バス 徒歩		:		:	分	km
地下鉄 バス 徒歩		:		:	分	km
地下鉄 バス 徒歩		:		:	分	km
地下鉄 バス 徒歩		:		:	分	km
地下鉄 バス 徒歩		:		:	分	km

※1: 出発、到着の「バス停名」や「地下鉄駅名」を書きましよう
 ※2: バス・地下鉄での移動のみ、仙台市交通局のホームページで調べた数字を書きましよう

**上手に調べる事ができたかな?
次は実際に外に出てみよう!!**

おまけステップ: 計算してみよう

○仙台駅についてからバスで移動した距離の合計は?
ワークシートに記入した移動距離を足してみましよう。

→ ① km

○①で計算した距離を使って、以下の計算をしてみましよう。

→ ① km × 60 = ②

→ ① km × 260 = ③

○あなたの班の人数を④に記入し計算をしてみましよう

→ ② × ④ 人 = ⑤

これおぼたい何の数字でしょう? 次のページを見ておましよう!

地球温暖化って知ってますか?

地球温暖化って何?

地球表面の空気や、海の温度が少しずつ上がっていく現象

どうしてそんなことが起こるの?

二酸化炭素を出す

地球の温度が上がり、地球温暖化!

地球温暖化のって知ってますか?

何が原因?

二酸化炭素は、みんながいつも使っている空気中にほんの少しだけ含まれている二酸化炭素という気体です

二酸化炭素は太陽から浴びる熱を吸収して、熱を返す働きをします

二酸化炭素が増えすぎると、地球は暖かくなりすぎてしまいます

しかし、二酸化炭素が増えすぎると、地球の温度が高くなっていきます

これが地球温暖化です

⑪ 討論会用データ集

- 高学年向け。
- 国語の単元で「公共交通の必要性について」というテーマにて討論会をする際に、主張の内容を補足するための基礎情報として使用できます。
- 討論会での使用に捉われず、公共交通について学習する際の基礎資料としても使えます。

仙台市のバスの補助金で買えるもの

ドッジボール (2,000円) **149万個**

サッカーゴール (15万円) **19,500個**

グランドピアノ (152万円) **1,960台**

※平成23年度の補助金(資料: 仙台市交通局)

1km走って出す二酸化炭素の量

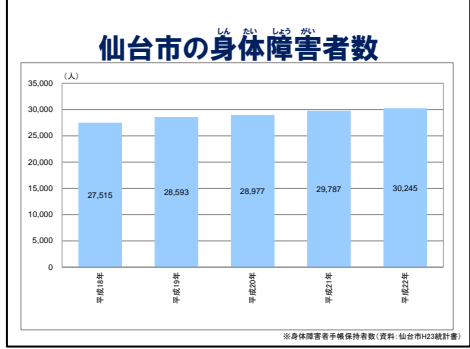
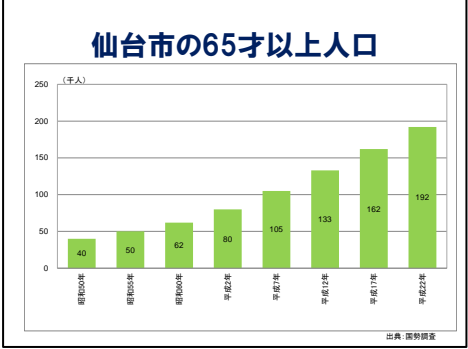
※30人でお出かけする場合(バスはみんな1台に、自動車は1人で1台に乗るものとする)

バス 260g

自動車 1,800g (g-CO₂/km・30人)

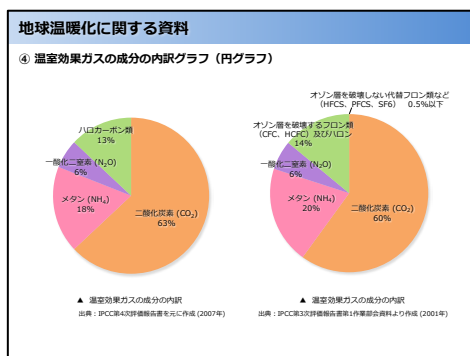
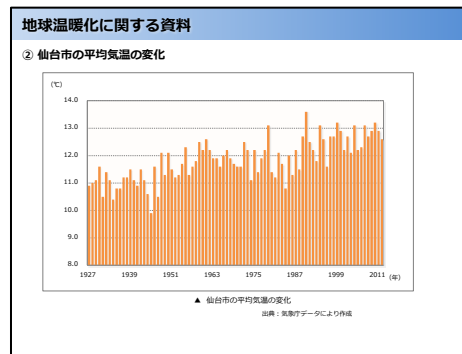
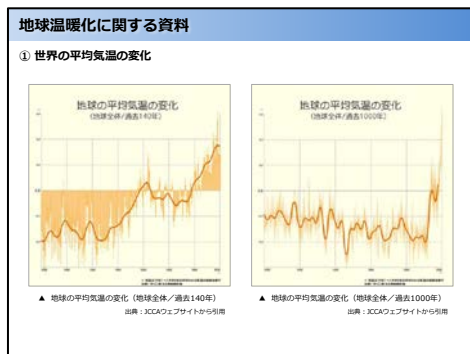
7倍

×30台



⑫ 地球環境に関するデータ集

- ・ 高学年向け。
- ・ 地球温暖化により、地球で起きている問題に関するデータ(気温の経年変化 等)や、問題に直面している国や地域の写真資料等があります。
- ・ 二酸化炭素と地球温暖化に関する基礎資料として使えます。



4.2 模擬乗車体験キット

本物そっくりの模擬運賃箱を用いて、バスの降り方(運賃の払い方)を練習することができます。

また、模擬券売機・模擬改札を用いて、地下鉄の切符の買い方や改札の通り方を練習することもできます。



▲模擬運賃箱



▲模擬券売機



▲模擬改札機

※模擬乗車体験キットは仙台市都市整備局 総合交通政策部公共交通推進課にて保管しております。ご利用を希望される場合は 022-214-8353 へお問い合わせください。

4.3 持てるかな?～エネルギーのかばん～

バッグの中のペットボトルに水を入れ、重さを調整するだけで使用できます。

日本と諸外国の「一人が一日に使うエネルギーの重さ」が入っているバッグを持ち上げ、重さの違いを体感させることのできる教材です。



※同じ距離を異なる交通手段で移動する際の、二酸化炭素量排出量の比較等、アレンジして使うことも可能です。

※持てるかな?～エネルギーのかばん～は「公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) ストップ温暖化センターみやぎ」にて保管しております。ご利用を希望される場合は以下へお問い合わせください。

TEL : 022-301-9145 E-mail : stop_gw@miyagi.jpn.org

URL : http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/

5 校外学習(体験学習)の準備・留意点は？

体験（校外）学習で公共交通を利用する時に留意すべき事項について示します。

5.1 公共交通の利用形態による特徴

- 体験（校外）学習で公共交通を利用する場合、バスを貸し切って専用的に利用する場合と一般路線バスに一般利用者と混乗して利用する場合(通常便・続行便)があり、それぞれに利点や注意点があるため、各校の事情を勘案の上、選択する必要があります。(次頁表参照)
- また、一般路線バスの通常便利用を希望しても、一般利用者が多い路線等では、事業者との協議・調整により、一般利用者と混乗しない続行便（増発便）扱いとならざるを得ないこともあります。

<用語の定義>

- ・ 一般路線バス(通常便) : 通常の路線バス(一般乗客が同乗する)
- ・ 一般路線バス(続行便) : 通常便のすぐ後に続いて、同様に走行する便のこと。
(1つの便に対し2号車、3号車...と続く)
専用利用となることが多い。
- ・ 貸切バス(臨時便) : 通常運行とは別に特別運行する便のこと。専用利用。

◆公共交通の利用形態毎の特徴

チェック項目	内容	利用形態別 対応表			
		一般路線バス (通常便)	一般路線バス (続行便) (専用利用)	貸切バス (臨時便) (専用利用)	鉄道・地下鉄
・児童が 学習できること	・ 時刻表、行き先表示板の見かた(乗車車両の区別)	○			-
	・ 車両マナー等の実践、他の乗客との関わりの体験	○			○
	・ 車両の設備の観察			○	(希望する場合は別途要調整)
	・ 移動時間を活用しての学習(例:クイズ形式の授業等)		△(要調整)	○	
	・ 運賃支払いの体験	○	○		○
・実務上の利点	・ 児童の乗降車による遅延への対応が不要		○	○	○
	・ 事前予約が不要	△(連絡は必要)			○
	・ 時間(ダイヤ)的制約が少ない			○	
	・ 移動中の安全管理の容易さ			○	
	・ 定時制の高さ			○	○
・適応する状況 ・授業の狙い	・ 公共交通利用の実態に即した利用体験	○			○
	・ バスでの移動時間を有効活用したい		△(要調整)	○	
	・ 大人数での移動		○	○	○
	・ 学校の近くにバス停、駅が無い			○	

5.2 交通事業者の連絡先、確認・調整すべき事項

- ▶ 路線バス、鉄道(地下鉄)を活用して体験(校外)学習をする場合、最低でも利用しようとする日の2週間前までには交通事業者に予約確認を行う必要があります。
- ▶ 一般利用客への影響もあるため、一般路線バス(通常便)を利用する際も、クラス単位程度の人数で乗車する場合には、事前に事業者へ連絡してください。(連絡先は平成26年1月現在)

	一般路線バス (通常便)	一般路線バス (続行便)	貸切バス (臨時便)	鉄道(地下鉄)
連絡期限	最低利用予定日の2週間前までの確認が必要です。			
連絡先	<ul style="list-style-type: none"> ●仙台市交通局自動車部輸送課 Tel:022-712-8321 Fax:022-224-5506 ●宮城交通株式会社支配人室(市内北部・南西部) Tel:022-771-5331 Fax:022-771-5455 ●愛子観光バス株式会社(青葉区錦が丘～仙台駅) Tel:022-392-6355 Fax:022-392-5495 			<ul style="list-style-type: none"> ●仙台市交通局 高速電車部営業課 Tel:022-712-8329 Fax:022-224-4559
確認・調整事項	<input type="checkbox"/> 利用日 <input type="checkbox"/> 利用路線 <input type="checkbox"/> 乗車・降車バス停 <input type="checkbox"/> 続行便対応の可否 <input type="checkbox"/> 利用児童数 <input type="checkbox"/> 引率・付添い人数 <input type="checkbox"/> 運賃 <input type="checkbox"/> 支払方法 <input type="checkbox"/> バス停の児童待機スペース <input type="checkbox"/> 利用予定の路線や便の平日及び荒天時の混雑(利用者数)の状況	<input type="checkbox"/> 利用日 <input type="checkbox"/> 利用路線 <input type="checkbox"/> 乗車・降車バス停 <input type="checkbox"/> 利用児童数 <input type="checkbox"/> 引率・付添い人数 <input type="checkbox"/> 運賃 <input type="checkbox"/> 支払方法 <input type="checkbox"/> バス停の児童待機スペース <input type="checkbox"/> 利用予定の路線や便の平日及び荒天時の混雑(利用者数)の状況	<input type="checkbox"/> 利用日 <input type="checkbox"/> 学校出発時間 <input type="checkbox"/> 行先・滞在時間 <input type="checkbox"/> 学校帰着時間 <input type="checkbox"/> 利用児童数 <input type="checkbox"/> 引率・付添い人数 <input type="checkbox"/> 費用 <input type="checkbox"/> 体験支払可否	<input type="checkbox"/> 利用日 <input type="checkbox"/> 乗車・降車駅 <input type="checkbox"/> 利用児童数 <input type="checkbox"/> 引率・付添い人数 <input type="checkbox"/> 運賃 <input type="checkbox"/> 自動券売機による切符購入可否 <input type="checkbox"/> 自動改札機の通行の可否 <input type="checkbox"/> 駅構内、ホームの児童待機スペース <input type="checkbox"/> 駅構内の動線 <input type="checkbox"/> 利用予定路線、便の平日及び荒天時の混雑(利用者数)の状況

5.3 体験（校外）学習実施時の協力者の確保

- 体験（校外）学習で、貸し切りバス以外の公共交通手段で移動する場合、利用バス停ならびにバス停周辺の歩道に児童が余裕をもって滞留（バス待ちの待機）できるスペースや、ガードレール・横断防止策等の安全施設が確保されていない道路を集団で歩行する際の、児童の安全確保のための十分な配慮が必要です。
- また、一般路線バス(通常便)を利用する場合は、運行に著しい遅延が生じないように速やかに乗降することが必要で、乗車後には車内でも詰め合わせて一般利用者とのトラブル発生を回避したりする注意も必要です。
- このような点から、保護者等の協力者確保の検討（協力を依頼するかどうか、また協力可能な保護者等がいるかどうか）も必要であると考えられます。

5.4 利用に関する下見

- 一般路線バス(通常便・続行便)、鉄道・地下鉄を利用する体験学習の場合、児童の安全確保と営業路線の安全かつ円滑な運行確保の観点から、実際に活動に参加する教員・スタッフによって下見を行って以下の点を確認することが望まれます。

- 学校からバス停、駅までの歩行空間の安全性は確保できるかどうか？

- ✓ 歩道の幅員は十分か、歩道と車道は分離しているか
- ✓ 信号交差点の位置、横断歩道はあるか
- ✓ 一方通行や大型車の交通規制はあるか
- ✓ 道路の交通量は多くないか
- ✓ 沿道の商店や施設、駐車場に出入りする車両は多くないか 等

- 乗車、降車バス停周辺の安全性は確保できるかどうか？

- ✓ バス停付近に児童がバスを待つスペースがあるか
- ✓ 待機スペースと車道はガードレールや横断防止策で区切られているか
- ✓ 待機スペースのそばの車両の出入りは多くないか 等

- 乗り継ぎを行う場合は、乗り継ぐバス停、駅間の移動時の安全性は確保できるか？

5.5 乗車体験学習における利用形態別の予想リスクと対策

➤ バス・地下鉄利用時に考えられる事故やトラブルのリスクと、考えられる対策や対応方針を利用形態別に整理したので参考としてください。

No	大項目	リスク内容	考えられる対策・対応方針	利用形態別の対応の必要性			
				一般路線バス 通常便	一般路線バス 続行便 (専用利用)	貸切バス 臨時便 (専用利用)	鉄道・ 地下鉄
1	全体	一般乗客からの苦情 【遅れに関して】	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線のバス停・駅にポスターを貼る ・運転手より車内アナウンス ・上記方法にて以下の事を乗客に伝える ⇒学校名・学年・利用人数・利用区間・利用日時。 ⇒利用区間、以降のバス停で到着が遅れる可能性。 	○	-	-	-
2		乗車バス運転手の 現場対応が不能	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にバス管理会社へ乗車の旨を連絡 	○	○	-	-
3	切符購入	券売機の占有 (団体利用では不要)	<ul style="list-style-type: none"> ・券売機の使い方を事前に教育 ・数台に限定して券売機を利用 	-	-	-	○
4	待ち時間 (降車後 も同様)	一般歩行者・自転車等 通行の阻害	<ul style="list-style-type: none"> ・引率者による整列指導 	○	○	△(乗車場 所による)	○
5		車道へのはみ出し	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 	○	○	△(乗車場 所による)	-
6		ホーム柵からの 乗り出し	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 	-	-	-	○
7	乗車時	歩行者・自転車との 錯綜	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車口に引率者を一人配置し、安全確認の上で乗車させる 	○	○	△(乗車場 所による)	-
8		転倒	<ul style="list-style-type: none"> ・上記引率者にて、注意をはらう 	○	○	○	○
9		整理券取り忘れ	<ul style="list-style-type: none"> ・引率者が先に乗車し、整理券取り忘れが無いかチェック 	○	○	-	-
10		後続車の渋滞	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに乗れるよう、事前にシミュレーション実施 ・「児童乗車中、ご迷惑おかけします」というようなボード等を用い、後続車両に知らせる 	○	○	△(乗車場 所による)	-
11	乗車中	揺れによる転倒	<ul style="list-style-type: none"> ・座席に座らせる、手すりに掴まるなどを事前に教育 ・当日も現場にて引率者がチェック 	○	○	○	○
12		一般乗客への迷惑行 為(おしゃべり等)	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーについて事前学習にて教育 ・当日も現場にて引率者がチェック 	○	-	-	○

13		トイレ	・乗車前にトイレに行っておくことの徹底	○	○	○	○
14		乗り物酔い	・体調を崩しやすい児童には、事前に酔い止めの服用を促す ・エチケット袋の携行 ※路線バスの揺れや匂いは観光バスや乗用車とは異なる	○	○	○	○
15	降車中	運賃忘れ、紛失	・運賃箱又は券売機横に引率者を一人配置し、その場で運賃を渡す(予備分を準備)	○	△(個別に支払う場合)	-	○(団体乗車券を利用しない場合)
16		切符紛失	・乗車前、乗車中の注意喚起	-	-	-	○
17		整理券紛失	・運賃箱横に引率者を一人配置し、その場で速やかに対応	○	△(個別に支払う場合)	-	-
18		運賃投入口間違い等	・事前学習での指導 ・引率者による現地指導	○	○	-	-
19		歩行者・自転車との錯綜	・降車口に引率者を配置し、安全確認の上降車させる	○	○	△(降車場所による)	○
20		転倒	・上記引率者にて、注意を払う	○	○	○	○

小学生交通環境学習の手引き
別冊
～実践事例集～
(案)

目次

(1)	パッケージ 1(広瀬小学校 2 年生の事例)	2
(2)	パッケージ 2(鶴巻小学校 2 年生の事例)	9
(3)	パッケージ 3(虹の丘小学校 2 年生の事例)	14
(4)	パッケージ 4(茂庭台小学校 3 年生の事例)	18
(5)	パッケージ 5(鶴巻小学校 4 年生の事例)	21
(6)	パッケージ 6(鶴巻小学校 4 年生の事例)	25
(7)	パッケージ 7(台原小学校 5 年生の事例)	29
(8)	パッケージ 8(虹の丘小学校 5 年生の事例)	30
(9)	パッケージ 9(虹の丘小学校 6 年生の事例)	39

実践事例

実線事例（授業パッケージ）の概要・使用教材・モデル授業を担当された先生方が作成した授業指導案（計画）を紹介します。

(1) パッケージ1（広瀬小学校2年生の事例）

パッケージ①

授業の取り組み概要

概要

モデル校/学年	広瀬小学校 / 2年生
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●バスとはどんなものか、バスの乗り方降り方、マナーについて学ぶことで、バスをより身近に感じられるようになる ●模擬乗車体験を通し、乗車から降車まで学習する。 ●バスが環境に良い乗り物であることを知る ●校外学習のカリキュラムにあわせ、実際にバスに乗り、学んだことを実践する
使用教材 (仙台市より提供)	①バスノート(PPT形式) ②模擬運賃箱(ダンボール製)
他使用機材等 (学校側で準備)	・テレビ、パソコン ・バス(路線バス貸切り)
実施教科	生活科
学習のタイプ	実践学習
標準時数	2(+校外学習2校時)

1

学習の構成および教材

STEP1: バスの乗り方降り方とマナー(事前学習①)
(1校時)

- ・教材①「バスノート」を使用し、バスの乗り方や降り方、乗車中のマナーについて知る
- ・模擬運賃箱を使って、バス料金の払い方をイメージする
- ・CNGバス等、バスの環境にやさしい工夫等を知る

STEP2: バスの乗り方と降り方(シミュレーション)(事前学習②)
(1校時)

- ・実際のバスを貸切り、校庭にて乗車から降車までの流れをシミュレーションする
- (・バスの運転手さんに、インタビュー形式でお仕事について等の質問をする)

STEP3: 校外学習(2校時)

- ・実際に走っている路線バスに乗ってみることで、学んだことを実践する

教材(仙台市より提供)

教材①「バスノート」

1. バスの のりかた・おりかた

2. バスでのやくそく

3. バスたんけん

3. バスたんけん

教材②「模擬運賃箱」

2

2

第2学年 生活科 学習指導案

指導者 1組担任 五十嵐姿子
2組担任 佐藤 千紘
3組担任 三塚 幸恵
4組担任 渡部 綾子

1 単元名 「どきどきわくわく まちたんけん」 (40時間)

2 単元の目標

広瀬の町に出かけ、様々な場所やものを調べたり、地域の人と繰り返しかかわったりすることを通して、地域のよさに気づき、地域の人や場所への愛着を深めるとともに、地域の人と適切に接したり、安全に楽しく生活したりすることができる。

3 単元について

(1) 学習指導要領の内容

本単元は、学習指導要領内容(3)(4)(8)を受けて、設定した。

(2) 児童の実態

児童は1年生の学校探検の学習では、学校にはいろいろな場所やものがあり、自分たちの学校生活を様々な思いをもって支えている人がいることに気付いた。

また、年間を通して幼小交流を行い、地域の身近な人と繰り返しかかわる体験をしている。1年生が入学した際には、「あの子が去年私とペアの子だったんだよ。」と話題にしたり、「1年生が早く小学校の生活に慣れてほしいな。」「1年生が学校でいっぱい笑顔になるように自分は応援したいな。」という思いをもったりする姿が見られた。

児童は友達と遊んだり、買い物をしたり、子供会の活動に参加したりするなどして、学校や家庭を中心とした生活から、地域へと生活の場が広がってきている。しかし、改めて広瀬の町のよさについて考える機会は少ない。さらに、防犯パトロールや読み聞かせの人など、身近に自分たちの生活を支えている地域の人がいるが、直接話をしたり、どんな思いでその活動をしているかを聞いたりする機会がなく、進んであいさつをしたり、話しかけたりするなど主体的に適切にかかわろうとすることは少ない。

(3) 教師の願い

上記のような児童の実態から、本単元では、広瀬の町に出かけることで、様々な人や場所との出会いをつくり、それらに親しみや愛着をもたせたいと考えた。

そのために、まず、広瀬の町に出かけるきっかけとして、校庭の春探しの後に、広瀬の町の春探しに出かけた。春探しに行く途中に、ぶらりホームセンターに立ち寄り、いろいろな野菜の苗を見せてもらうなど親切にかかわってもらった。その後、児童は野菜の苗を買いに行ったり、栽培活動で困ったときに学校に来てもらって相談したりする中で、これまで知らなかったお店やお店の人が身近な頼れる存在になり、地域の人とかかわる体験をした。

次に、春探しの後の「もっと他のところも探検したい。」「もっとちがうところのことも知りたい。」という児童の思いをもとに、「場所」や「もの」を発見させる「キョロキョロ探検」をさせたい。一斉に探検に行き、みんなで振り返ることで広瀬の町の「場所」や「もの」を大まかに共有させたい。ま

た、振り返りの活動の後で、疑問や次にこんなことをしたいという思いを発見カードに書かせることで、次の活動のきっかけにさせたい。

「キョロキョロ探検」で関心をもち、「もっと見たい。」「もっと聞いてみたい。」という思いをもとに、「もっともっと町探検」をさせた。この探検では、グループごとに行きたい場所を決めさせ、見てきたいことや聞きたいことを考えさせるだけではなく、場に合った挨拶や言葉遣い、安全面で気を付けることなどを考えさせる。見つけたことや聞いたこと伝え合う活動を通して、知らなかったことを知り親しみをもつだけではなく、さらに疑問を持ったり、もっとこんなことをしてみたいという思いをもつと思われる。

さらに、夏休み明けに児童が地域の図書館に出かけ、図書館で働く人や利用する人の思いを知ること、地域の人に対して関心をもち、「今度はこの人に会いたい。」という思いをもち、次の「にこにこ町探検」では、人の思いにより着目してインタビューし、その思いを受けて、地域の一員として何ができるかを考えられるようになるのではないかと考えた。

思いや願いを発展させる単元づくり

①価値ある学習材を用いた単元の立ち上げ

- ・ ホームセンターの人とのかかわりは、児童の栽培活動において必要不可欠なものになった。自分の野菜を育てるために、必然性をもってホームセンターに出かけたり、ホームセンターの人とかかわったりする。「地域の人と出会うってすてきなことだなあ。」という児童の思いを生かしながら、単元を立ち上げる。

②知的好奇心をふくらませることのできる体験活動の工夫

- ・ 児童は、広瀬の町に出かけたり、人に出会ったりするたびに、いろいろな発見をし、新たな疑問も生まれる。発見したことをカードに絵や文で書かせたり、それをもとに共有させたりする。さらに、「新たな疑問は何か」「次はどんなことをしたいか」をカードに書かせることで、「もっと知りたい」「もっと調べてみたい」という探求の方向性を自覚させられる。

③学習過程における「繰り返し」の意図的場面設定

- ・ キョロキョロ探検→もっともっと町探検→にこにこ町探検とねらいを変えて探検を設定し、「場所」「もの」「人」の発見から人の思いに段階的に気付くことができるようにする。
- ・ キョロキョロ探検を3回設定することで、どんなものを見つければいいのか、見つけたことをどのように絵や文、言葉で表せばいいのか分かるようにする。
- ・ もっともっと町探検の後に、公共施設へ行く活動を取り入れることで、次のにこにこ町探検では、働く人のことや利用する人のことを意識させ、より自分が地域の一員として何ができるかを考えるきっかけになるような質問をさせたい。
- ・ 地域には物を売っているところやみんなが利用している施設などがあり、繰り返し、そういった場に出かけ、人とかかわることで、場に合わせて行動したり、人と適切に接したりすることが身に付いていくようにする。
- ・ 学習活動の最後にこれから自分ができることを考えさせることにより、地域にかかわり続けようとする児童の意欲を喚起させ、掲示物などの工夫により、意欲が持続できるようにする。

4 単元の評価規準

	生活への関心・意欲・ 態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
単元の 評価規準	・地域の場所やもの、人に 関心をもち、ルールを守り 、安全に気を付けて、見たり、 調べたりしようとしている。	・行きたい場所や会いたい 人を決め、相手や場に合っ た行動を考えながら、活動 の計画を立て、町探検をす るとともに、それらを振り 返って自分なりに表現し ている。	・地域には様々な店や公共 施 設などの場所やものがあり、 いろいろな人が自分たちの 生活を支えていることに気 付いている。
学習活動 (単元)に おける評 価規準	1 ①地域の場所やものに関心 をもち、町探検をしよう としている。	①「キョロキョロ探検」で 見つけたことを絵や文で 表している。	①地域には様々な場所やも のがあることに気付いてい る。
	2 ②グループで決めた場所に 関心をもち、ルールやマ ナーを守って、町探検をし ようとしている。 ③公共物や公共施設を大切 にし、安全に気をつけて 正しく利用しようとして いる。	②「もつともつと町探検」 で見たり、聞いたりして、 みんなに伝えたいことを 適切な伝え方を選んで伝 えている。	②地域には様々な場所があ り、そこには、いろい ろな 人がいることに気付いてい る。
	3 ④これまでにかかわった地 域の人に関心をもち、繰 り返しかかわろうとして いる。	③「にこにこ町探検」で会 いたい人を決めている。 ④「にこにこ町探検」で愛 着をもった場所や親しく なった人のことを振り返 り、内容に合った伝え方 を選んで伝えている。	③地域にはたくさんのよさ があることに気付くととも に、地域で生活したり、働 いたりしている人が、地 域に抱いている思いに気 付いている。 ④地域への親しみや愛着が 増したり、地域の人と適 切に接したりすることが できるようになったりし た自分に気付いている。

5 指導と評価の計画 (40時間 本時26/40)

次(時)	「小単元名」 ○主な学習活動	評価規準(評価方法)	
第1次 (8時)	<p>「キョロキョロ探検」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〔小単元の目標〕身近な地域に関心を持ち、探検への意欲をもつことができる。</p> </div> <p>①キョロキョロ探検1回目 学校の南側を一斉に探検する。 ②探検して見つけたことをまとめる。</p> <p>③キョロキョロ探検2回目 学校の東側を一斉に探検する。 ④探検して見つけたことをまとめる。</p> <p>⑤⑥キョロキョロ探検3回目 学校の西側を一斉に探検する。 ⑦探検して見つけたことをまとめる。</p> <p>⑧キョロキョロ探検を振り返って、自分が考えたことやもっと見つけたいことや知りたいたいことを話し合う。</p>	<p>関一①</p> <p>思一①</p> <p>気一①</p>	<p>○さまざまな場所やものに関心を持ち、五感を使って広瀬の町を探検しようとしている。 (行動観察・対話)</p> <p>○キョロキョロ探検で見つけたことを絵や文で表している。 (学習カード)</p> <p>○キョロキョロ探検で分かったことを言葉で表している。 (発表・つぶやき)</p> <p>○もっと見たいことや知りたいたいことをカードに書いたり、発表したりしている。 (学習カード・発表)</p> <p>○広瀬の町には、様々なお店や施設、公園などの場所や歩道橋、カーブミラーなどのものがあることに気付いている。 (学習カード)</p>
第2次 (17時)	<p>「もっともっと町探検」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〔小単元の目標〕広瀬の町には様々な「場所」や「もの」がありいろいろな「人」がいることを知ることができる。</p> </div> <p>⑨行きたい場所を決める。 ⑩探検に行ってみたいものや調べたいこと、確かめたいことを考える。 ⑪探検の計画を立てる。 ⑫⑬⑭もっともっと町探検</p> <p>⑮探検して見つけたことや聞いたことをカードにまとめ、グループで交流する。</p>	<p>関一②</p> <p>思一②</p>	<p>○町探検の計画を立て、準備をしようとしている。 (行動観察)</p> <p>○町探検で出会った人に挨拶や質問をしようとしている。(行動観察)</p> <p>○探検で見たいものや調べたいこと、確かめたいことをカードに書いていく。 (学習カード)</p> <p>○探検して見つけたことや聞いたことを絵や文で表している。 (学習カード)</p>

	<p>⑩探検で見つけたことや聞いたことの中からみんなに伝えたいことを選ぶ。</p> <p>⑪⑫⑬伝えたい内容に合わせた表現方法を話し合い、伝えることをまとめ、伝え合う準備をする。</p> <p>⑭⑮見つけたことや聞いたことを伝え合う。</p> <p>⑯探検でお世話になった人に手紙を書く。</p> <p>⑰夏休みに行った公共施設について話し合い、それをもとに地域の図書館や駅に行く計画を立てる。</p> <p>⑱図書館や駅で働く人や利用者にインタビューをする。</p> <p>⑲図書館や駅に出かけ、人々にかかわって気付いたことを伝え合う。</p>	<p>思一②</p> <p>関一③</p> <p>気一②</p>	<p>○探検で見つけたことや聞いたことをグループの友達と話し合い、その中からみんなに伝えたいことを決めている。(行動観察・対話)</p> <p>○探検でお世話になった人に手紙を書き、感謝の気持ちを伝えている。(手紙)</p> <p>○バスの利用の仕方を知り、安全や周りの人のことを考えて利用しようとしている。(行動観察)</p> <p>○広瀬の町には様々な場所があり、そこにはいろいろな人がいたり、かかわったりしていることに気付いている。(学習カード)</p>
<p>第3次(12時)</p>	<p>「にこにこ町探検」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[小単元の目標] 地域の人と繰り返しかわり、地域によさに気づき、地域の人や場所への愛着を深めることができる。</p> </div> <p>⑳これまでの探検を振り返り、また会いたい人について話し合う。(本時)</p> <p>㉑次の探検で聞きたいことや確認したいことをまとめる。</p> <p>㉒㉓㉔にこにこ町探検</p> <p>㉕行った場所や仲良くなった人のことを振り返り、伝えたいことを考える。</p> <p>㉖伝えたいことに合わせた表現方法を</p>	<p>関一④</p> <p>思一③</p> <p>思一④</p>	<p>○これまでににこにこ町探検で出会った人に新たな思いや疑問をもち、また会いたい人や聞きたいことを考えようとしている。(学習カード・発言)</p> <p>○にこにこ町探検に向けて準備してきたことをもとに、聞きたいことを質問しようとしている。(行動観察)</p> <p>○次の探検で会いたい人を選んだり、その理由を考えたりしている。(学習カード・行動観察)</p> <p>○自分の伝えたいことに適した発表方法を選び、まとめている。(作品・行動観察)</p>

<p>考え，伝え合う。</p> <p>㉓伝えたいことをまとめる。</p> <p>㉔㉕にここ町探検を通して伝えたいことを発表する。</p> <p>㉖どんな人と仲良くなれたのかやどんなところが広瀬の町のよさなのかを振り返る。</p> <p>㉗㉘㉙広瀬の町のすてきを伝え合う。</p> <p>㉚これまでの活動を振り返り，地域の一員として自分ができることを考える。</p>	<p>気ー③</p> <p>気ー④</p>	<p>○広瀬の町には，たくさんのよさがあることや地域の人々の地域や地域の人々に対する思いに気付いている。</p> <p>(学習カード・発言)</p> <p>○町探検で出会った人の思いを受け，自分も地域の一員としてできることがあることに気付いている。</p> <p>(学習カード・発言)</p>
--	-----------------------	--

(2) パッケージ2 (鶴巻小学校 2年生の事例)

Sendai SMART パッケージ② 授業の取り組み概要	
概要	
モデル校/学年	鶴巻小学校 / 2年生
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●バスの乗り方降り方、マナーについて学ぶことで、バスをより身近に感じられるようになる ●校外学習のカリキュラムにあわせ、実際にバスに乗り、学んだことを実践する ●地球温暖化と交通には関係があることを知り、バス利用が環境を守る事にもつながることを知る
使用教材 (仙台市より提供)	①バスノート(PPT形式) ②模擬運賃箱(ダンボール製) ③シロクマたちを助けよう(仙台市からは動物たちが困っている写真のみ提供)(PPT形式)
他使用機材等 (学校側で準備)	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、パソコン ・教材③の作成、写真の加工等(PPT形式) ・模擬発券機(ダンボール製)
実施教科	生活科、道徳
学習のタイプ	実践学習、座学
標準時数	2(+校外学習)

3



4

単元 生活「科学かんに出かけよう」(13時間)
 学習指導要領 内容(4)公共物や公共施設の利用

ねらい ☆バスについて働きやつくり、役割を知る。
 ☆バスに乗って、校外にある施設を見学し、教科の学習に役立てる。

○公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることなどがわ かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

活動計画

小単元	主な学習内容	評価規準
地域の科学館に関心を持ち、どんな施設か、どんな人がいるか興味をもとうとする。	1. 科学館ってどんなところ？ 科学館に行ったことのある子どもの情報を聞いたり、写真を見たりしながら、科学館について知りたいこと、利用したいこと、聞きたいことを話し合う。 2. 科学館の利用の仕方を話し合おう 科学館の写真を見て、利用するときのルールやマナーを知る。	○公共物や公共施設に関心をもって利用しようとしている。 ☆多くの人が公共物や公共施設を利用していることに気付いている。
科学館に行く計画を立てようとする。	3. 科学館に行く計画を立てよう 科学館を利用するための交通手段を考える。 4. バスの乗り方を知ろう バスを使って科学館へ行くために、バスの利用の仕方を知る。	○ルールやマナーを大切に、公共物や公共施設を利用しようとしている。 □ルールやマナーを考えて、科学館やバスの利用の仕方をノートなどに書き表している。
地球環境のことを考えようとする。	5. シロクマたちを助けよう 公共交通機関を利用することで北極や南極の状況を変えられることを知る。	○地球環境を守るために、自分たちできることを考えようとしている。 ☆温暖化を防ぐ方法の一つとして公共交通機関を利用することが分かっている。
バスに乗って科学館を利用しようとする。	6～9. バスに乗って科学館を利用しよう バスに乗って科学館へ行く。科学館で展示物を見たり体験したりする。 10. 科学館の様子を思い出そう 科学館を利用して気が付いたことをカードに書く。	○ルールやマナーを大切に、公共物や公共施設を利用しようとしている。 □公共物や公共施設などを利用したことや利用して楽しかったことなどを表現している。
みんなに伝えようとする。	11～12. 利用してきたことをみんなに伝えよう 各自が体験してきたことを友達に伝えるために、表現方法を選び、作る。 13. 紹介し合おう グループごとに紹介し合う。	□公共物や公共施設などを利用したことや利用して気が付いたことを振り返り、表現している。 ☆公共施設にはそれを支えている人々がいることが分かっている。

○生活科への関心・意欲・態度 □活動や体験についての思考・表現 ☆身近な環境や自分についての気付き

環境教育

○道徳(日本標準「みんなで考える道徳」『どうぶつたちがいない』)とリンク

第2学年 生活科学習指導案

仙台市立鶴巻小学校

- 1 単元名「科学かんに出かけよう」
小単元「科学かんに行く計画を立てよう」（3／13時間）
- 2 目標
科学館を利用するための方法や交通手段を考え、公共物や公共施設に関心をもって利用しようとしている。

3 本時の展開

展開	学習内容	準備物など
1 科学館に行くにはどうしたらよいのか考える	<p>○科学館の行き方について聞いてきたことを発表させる。 ※事前に家族にインタビューさせる。</p> <p>○地図を見ながら、科学館には、バスや地下鉄を利用して行くことを知らせる。</p> <p>○バスの利用の仕方を知るためにバス停に行くことも知らせる。 ※バス停のどこを見るかを示す。 ・バス停の名前 ・バス停に書かれていること ・バスを待っている人の様子 ・バスの乗り降りの様子</p>	<p>○科学館の写真 ○科学館のパンフレット</p>
2 バス停に行って利用の仕方を調べる	<p>○バス停にクラスで出かける。 ※バスの発着時刻に合わせて見学する。</p> <p>○バス停で利用の仕方を調べる。</p> <p>○バス停では他の人達の迷惑にならないように指導しておく。</p> <p>○時刻表を見ながら、疑問を出させる。 ※時刻表の見方などの事前指導はしない。</p>	
3 バス停でわかったことを書こう	<p>○バス停にいて、分かったことをカードに書く。</p> <p>○調べてみてバス停だけではわからなかったことや聞きたいことも書いていく。</p>	<p>○記録カード 【評価】 バス停で調べたことをカードに書き表している。</p>

第2学年 生活科学習指導案

仙台市立鶴巻小学校

1 単元名「科学かんに出かけよう」
小単元「バスの乗り方を知ろう」（4 / 13時間）

2 目標

- ・バス停に行って調べたことやバスの中の映像を見て、バスに乗る際のルールやマナーについて考えようとする。
- ・バスの利用の仕方を進んで聞き、ルールやマナーを大切に、公共交通機関を正しく安全に利用しようとする。

3 本時の展開

展開	学習内容	準備物など
1 バス停で調べてきたことを発表する	○前時のカードをもとに、話バス停でわかったこと、分からなかったことを整理する。	○前時のカード
2 デジタル資料を見ながら利用の仕方について知る	○デジタル資料を見ながら利用の仕方を聞く。 ①バス停について確かめること ・時刻表で「行き先」と「時刻」 ②バスの待ち方 ・1列に並ぶ ③バスが近づいてきたら ・「行き先」を確認する ④バスに乗るとき ・「入口」「出口」 ⑤バスに乗ったら ・「整理券」をとる ⑥バスの中では ・いすに座る ・手すりをつかむ ⑦マナー ・「優先席」 ⑧バスを降りるとき ・降りるバス停か確かめる ・「運賃表」で運賃の確認 ・「ボタン」をおす ・「運賃箱」にお金と整理券を入れる	○バスノート デジタル資料 【評価】 バスの利用の仕方について進んで聞こうとする。
3 運賃箱にお金と整理券を入れる練習をする	○運賃箱の模型を使って実践する。	○運賃箱の模型
4 わかったことや感想を発表したり、記録カードに書いたりする	○わかったことや感想を発表する。 ○わかったことや心に残ったことを記録カードに書く。	○バスノート

第2学年 生活科学習指導案

仙台市立鶴巻小学校

1 単元名「科学かんに出かけよう」
小単元「シロクマたちをたすけよう」（5 / 13時間）



2 目標

- ・北極や南極の映像を見て，温暖化について考えようとする。
- ・公共交通機関の役割を知り，地球環境に役立っていることに気付き，関心をもつようにする。


3 本時の展開

展開	学習内容	準備物など
1 写真からわかることを話し合う	○シロクマやペンギンの写真や映像を見ながら，気付いたことやわからないことを出し合う。	○シロクマ，ペンギンの写真
2 デジタル資料を見ながら温暖化について考える	○デジタル資料を見ながら温暖化について聞く。 ○自分たちでできることを話し合う。	○温暖化のデジタル資料 ○記録カード 【評価】 温暖化を防ぐ方法を考えながら，バスの役割に気付いている。
3 バスの役割を知る	○バスに乗ることで温暖化を軽減できることを知る。	
4 わかったことや感想を発表したり，記録カードに書いたりする	○わかったことや感想を発表する。 ○わかったことや心に残ったことを記録カードに書く。	○記録カード


(3) パッケージ3 (虹の丘小学校 2年生の事例)

 パッケージ③ <h2 style="margin-left: 100px;">授業の取り組み概要</h2> 	
概要	
モデル校/学年	虹の丘小学校 / 2年生
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●地下鉄の乗り方降り方、マナーについて学ぶことで、地下鉄をより身近に感じられるようになる ●校外学習のカリキュラムにあわせ、実際に地下鉄に乗り、学んだことを実践する ●地球温暖化と交通には関係があることを知り、地下鉄等の公共交通利用が環境を守る事にもつながることを知る
使用教材 (仙台市より提供)	①地下鉄に乗ってでかけよう (PPT形式) ②交通と地球温暖化・シロクマたちを助けよう(必要部分を抜粋して使用、PPT形式)
他使用機材等 (学校側で準備)	・テレビ、パソコン ・模擬乗車体験セット(つり革、ドア、座席等)
実施教科	生活科、道徳
学習のタイプ	実践学習、座学
標準時数	2(+校外学習)

5



学習の構成および教材



学習の構成

STEP1: 校外学習の計画を立てる(事前学習①)
(1校時)

- ・地底の森ミュージアムへ行く計画を立てる。
- ・地底の森ミュージアムへの行き方を知る。


STEP2: 地下鉄の乗り方と降り方(シミュレーション)(事前学習②)
(1校時)

- ・地下鉄に乗ってでかけよう(教材①)を用いて、地下鉄の乗り方・降り方や、マナーを学習する
- ・地下鉄のドアや座席を再現して、模擬的に乗り方等をシミュレートする。

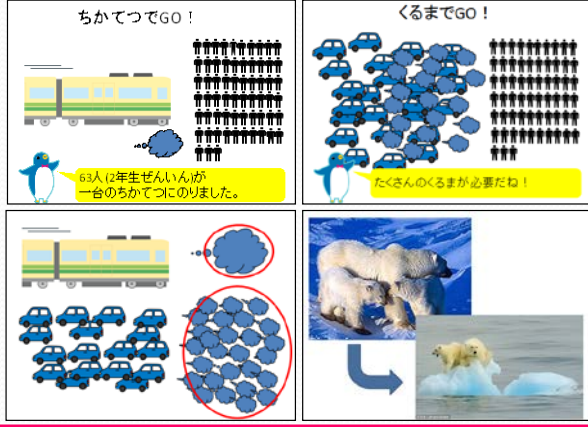
校外学習

教材(仙台市より提供)

教材①「地下鉄に乗ってでかけよう」



教材②「交通と地球温暖化」「シロクマたちを助けよう」



6

単元 生活「みんなで行こうよつかおうよ」

学習指導要領 内容（4）

公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

ねらい

- ・地下鉄の役割や工夫に関心を持ち、安全に気を付けて利用することができる。
- ・地下鉄に乗って、校外にある施設を見学し、ルールやマナーを守って公共施設を利用すると自分たちの生活が楽しく豊かになることに気付くことができる。

活動計画

小単元	主な学習内容	評価規準
地域の施設や公共交通機関のことを話そう	1. どこに何でいこうかな？ 9月に科学館に歩いて行ったときのことを振り返り、地域の公共の施設や交通機関について知っていることやもっと知りたいことを話し合う。	○身近な公共の施設や交通機関に関心をもっている。 □みんなで使うものについて考え、話し合っている。
地底の森ミュージアムに行く計画を立てよう	2. 地底の森ミュージアムに行こう 施設を利用するときのルールやマナーを考える。 施設の位置と交通手段について考える。 3. 地下鉄に乗って行こう 地下鉄の利用の仕方を知る。	○公共の施設や交通機関を正しく安全に利用しようとしている。 ☆公共の施設や交通機関には、ルールやマナーがあることに気付いている。
地下鉄のよさについて考えよう	4. 地下鉄のことをもっと知ろう 地下鉄の車両や車内、特長を知る。 公共交通利用が環境にも良いことを知る。 シロクマの氷が解けていることを知る。	○地下鉄の役割や工夫に関心をもつ。 ☆公共交通機関の利用と温暖化防止の繋がりについて考えている。
地底の森ミュージアムに行こう	5～7. 地下鉄や地底の森ミュージアムで、人やものを発見しよう 地下鉄に乗って地底の森ミュージアムに行く。	○公共物を大切に利用しようとしている。 ☆施設を支えている人々がいることに気付いている。
みんなに伝えよう	8. 発見した人やものをみんなに伝えよう。 見学のしおりで振り返る。	□公共の施設や交通機関で発見したことをすなおに表現している。

○生活への関心・意欲・態度 □活動や体験についての思考・表現 ☆身近な環境や自分についての気付き

<環境教育>

◎道徳「ぼくが大きくなったらね」（東京書籍）を事後指導として実施。

1 単元名 「みんなで行こうよつかおうよ」

小単元 「地底の森ミュージアムに行く計画を立てよう」(3/8時間)

2 本時の指導

(1) 本時のねらい

- ・地下鉄の乗り方やマナーを知り，校外学習に生かそうとする。

(2) 指導過程

学習活動	・留意点	準備物など
1 地底の森ミュージアムに地下鉄で行くことを確認する。	・八乙女駅で乗車し，長町南駅で降車することを確認する。	入り口のマーク 路線図
2 地下鉄の待ち方や並ぶ場所について知り，練習する。	・待ち方では，ホームさくに寄りかからないこと，白線の内側に並ぶことを示す。 ・ドアの前に並ぶと，降りる人が困ることに気付かせ，青い色の部分で並ぶことを示す。 ・交代で練習させる。	ホームさくの模型 いす つり革の模型
3 優先席について話し合う。	・優先席のマークを示し，利用者への配慮について気付かせる。 ・席の譲り方を練習する。	優先席のマーク
4 校外学習で実践したいことをワークシートに記入し，発表する。	・数人に発表させ，校外学習への意欲につなげていく。	ワークシート

- 1 単元名 「みんなで行こうよつかおうよ」
 小単元 「地下鉄のよさについて考えよう」(4/8時間)

2 本時の指導



(1) 本時のねらい

- ・地下鉄の役割や工夫に関心をもつ。
- ・公共交通機関の利用と温暖化防止の繋がりについて考える。

(2) 指導過程

学習活動	・留意点	準備物など
1 前時の学習を振り返り, 地下鉄のことで知っていることを話す。	・地下鉄のルールやマナーについて確認する。	
2 地下鉄の車両や車内, 特長について知る。	・車両や車内についてクイズの答えを完成させていく形で, 地下鉄についての関心を高めていく。 ・速くて時間通り, 待ち時間が短いことを知らせる。	「地下鉄にのって出かけよう」写真
3 たくさんの人が乗れる乗り物が地球にやさしい訳を考える。	・地球に優しいということを北極の氷を解かさないということで理解させたい。 ・地下鉄には, 一度に約800人乗車できることを確認する。 ・地下鉄を使うことが動物を守ることに繋がっているとまとめる。	シロクマの写真
4 感想をワークシートに記入し, 発表する。	・友達の感想を聞いて考えを深め, 書き足したい場合は認める。	ワークシート

(4) パッケージ4 (茂庭台小学校3年生の事例)

 パッケージ④ <h2 style="display: inline;">授業の取り組み概要</h2> 	
概要	
モデル校/学年	茂庭台小学校 / 3年生
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●バスの乗り方降り方、マナーに加え、地下鉄の乗り方降り方・マナーについて学ぶ ●校外学習のカリキュラムにあわせ、バス・地下鉄に乗り、学んだことを実践する ●交通と地球温暖化の関係を学び、大人数の移動の際は公共交通の方が、地球にやさしいことを知る
使用教材 (①～③仙台市より提供 ④⑤: MELONさんより提供・貸与)	①バスノート(PPT形式) ②地下鉄にのってでかけよう(PPT形式) ③模擬乗車セット(模擬券売機・模擬改札機)(ダンボール製作) ④交通と地球温暖化(MELONさん作成)(PPT形式) ⑤エネルギーバッグ(MELONさん保有)
他使用機材等 (学校側で準備)	・テレビ、パソコン
実施教科	総合的な学習
学習のタイプ	実践学習
標準時数	3(事前学習)+校外学習1日+2(事後学習)

7



8

※教材⑤は、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク様より借用し、外部講師も依頼している。

財団 HP <http://www.melon.or.jp/melon/index.htm>

第3学年 総合的な学習の時間指導案

1 本時の目標

- ①模擬券売機、模擬改札機を使った活動を通して、地下鉄乗車券の購入の仕方や改札の通り方について知り、一人で行うことができるようにする。
- ②乗車マナーを身に付けるとともに、優先席の意味を知る。

2 本時の指導

(指導過程)

主な学習活動	指導・支援 (○) 手だて (・)	準備物
<p>1. 地下鉄の乗り方を知る。</p> <p>① 運賃表の見方 ② 券売機の使い方 ③ 改札の通り方 ④ ホームでの待ち方 ⑤ 乗車の仕方 ⑥ 車内での過ごし方 ⑦ 降車の仕方 ⑧ 下車時の改札の通り方</p>	<p>・切符購入から下車までの〈寸劇〉を見せる。 ○左記の①～⑧について正しく行動しているかどうか、考えさせる。</p> <p>〈寸劇の内容…左記項目〉</p> <p>①運賃表の見方が分からない。大人の運賃にしか目がいかない。 ②大人の乗車券を購入する。 ③改札を走る。…おもしろそうに。 ④ホームでふざける。 地下鉄が来たら、ドアの中央で待つ。 ⑤降車する人よりも先に乗り込む。 走って座席に座る。優先席に座り、席を譲らない。 ⑥おしゃべり、立ち歩き、食べる。 ⑦走って降りる。 ⑧改札を走る。…おもしろそうに。</p> <p>・左記の①～⑧について正しく行動しているかどうか、パワーポイント資料を使いながら問いかける。 ○大切な事柄について問いかけることで、理解を深めるようにする。</p>	<p>テレビ PC →運賃表を掲示 模擬券売機 模擬改札 模擬硬貨→学校 で準備 〈寸劇配役〉 *乗車2名 *もともと乗っ ているお客さ ん数名(児童) *優先席に座る 必要のある人 1名 *乗車券を出す 人 1名 *改札から乗車 券を出す人 1名</p>
<p>2. 実際にやってみる</p> <p>乗車券を購入～降車</p>	<p>1組女子→2組女子→1組男子→2組男子の順で実際に行う。</p> <p>・硬貨を入れる→ボタンを押す→乗車券を取り出す→改札を通る→ホームで待つ→乗車(マナー)→降車</p> <p>○友達の様子を見ながら、「良かったところ」について考えるように促す。</p>	<p>テレビ PC →運賃表を掲示 模擬券売機 模擬硬貨 模擬改札</p>
<p>3. 「優先席」についてのDVD 視聴 (NHK)</p>	<p>○優先席について意識を向けるよう働きかける。</p>	<p>DVD</p>
<p>4. まとめ</p>	<p>本時の活動を振り返り、次時の予定を知る。</p>	

第3学年 総合的な学習 指導案

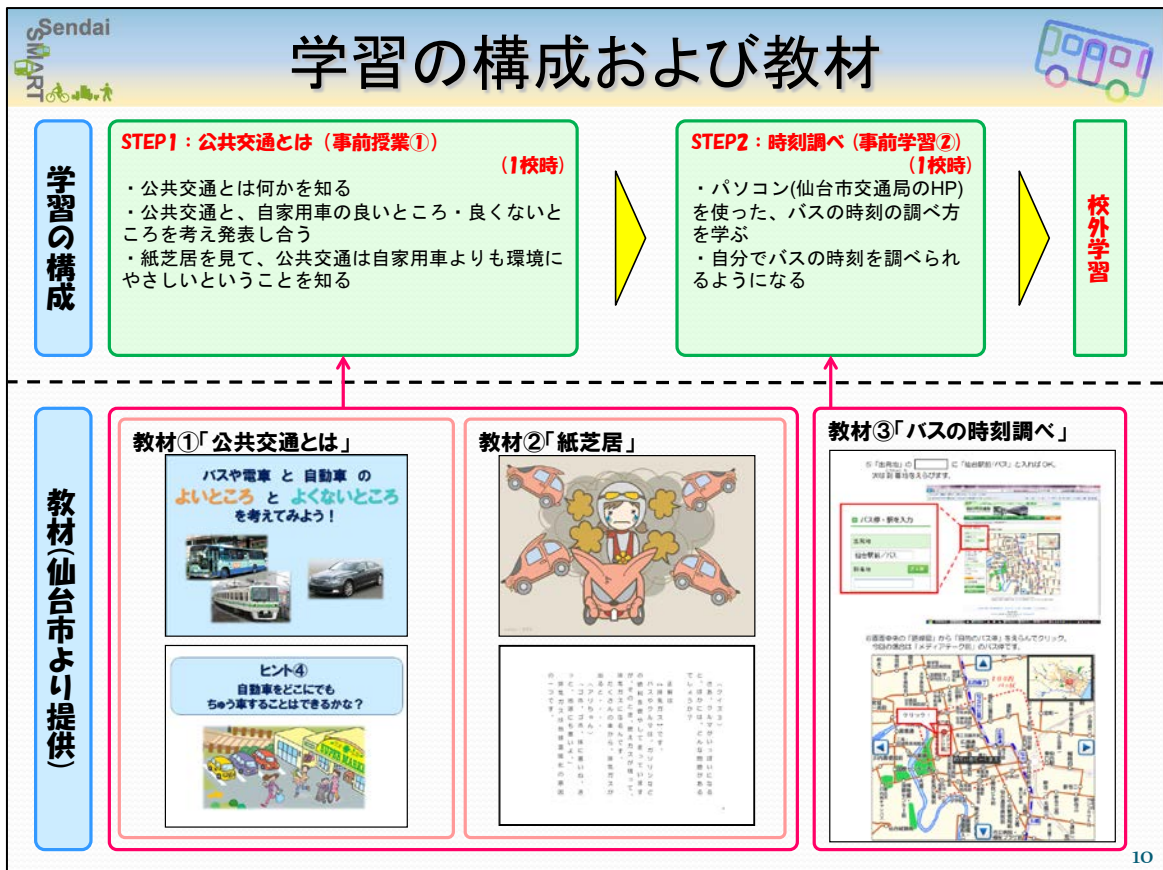
1. 本時の目標
路線バスの利用の仕方やマナーについて知る。
2. 本時の指導

主な学習活動	指導・支援 (○) 手立て (・)	準備物
<p>1. バスの乗り方や降り方を確認する。</p> <p>①行き先をたしかめる ②後ろのドアから乗る ③整理券を取る ④乗車中のマナー 静かに過ごす 歩き回らない ⑤運賃を払い、前のドアから降りる ・降りるときはボタンをおす。 ・運賃表を見て、整理券とお金を運賃箱に入れる。 ・前のドアから降りる。</p> <p>す。 運賃表の見方を確認する。</p> <p>4. 本時の活動を振り返り、次時の予定を知る。</p>	<p>○バスがきたら、どんなことを確認すればいいのかを考えさせる。 ・どこを見るのか。(行き先) ○優先席のマークを見せ、どんなマークなのかを考えさせる。 ○バスの中では、どのようにしていればいいのかを考えさせる。 ○バスから降りるときは、どうすればいいのかをかんがえさせる。</p> <p>○運賃表の見方を考えさせる。 ・整理券の番号と運賃表を見れば運賃が分かることに気付かせる。 ・子どもの運賃は、大人の半額であることに気付かせる。 ・練習問題をさせる。 ○どうしての運賃が分からないときは、運転手さんに聞くことを教える。</p>	<p>PC パワーポイント ①～⑤の写真 優先席のマークの写真 降車ボタンの写真</p> <p>PC パワーポイントの画面</p>

(5) パッケージ5 (鶴巻小学校 4年生の事例)

Sendai SMART		パッケージ⑤	授業の取り組み概要
概要			
モデル校/学年	鶴巻小学校 / 4年生		
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通とは何かを知る。 ●公共交通と自家用車を比べた時に、良い点、よくない点は何かを考える。 ●みんなが公共交通を利用することで、排気ガスを減らしたり、渋滞の緩和等に繋がることを知る。 ●バスの時刻の調べ方を知る。 		
使用教材 (仙台市より提供)	①公共交通について(PPT形式) ②紙芝居 ③バスの時刻調べ(テキスト)(配布用: word、説明用: PPT形式)		
他使用機材等 (学校側で準備)	テレビ、パソコン(インターネット環境)		
実施教科	総合的な学習		
学習のタイプ	実践学習		
標準時数	2(+校外学習分)		

9



10

第4学年 総合的な学習の時間指導案

1. 単元名「公共交通を使って出かけよう」

2. 単元の目標

- 公共交通を利用して移動するために必要な情報を調べることができる。
- 公共交通を利用して目的地まで校外学習に出かけることができる。

3. 学習計画（全5時間）

時	学習内容	教師の指導・支援
1 本 時	<p>★公共交通の役割を考えよう。</p> <p>①本単元の学習内容について知る。 ②身近な移動手段にはどんなものがあるか考える。 ③自動車と電車・バスの長短を考え比較する。 ④公共交通が環境に及ぼす影響について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習に公共交通を利用して出かけることを伝え、児童の興味を引き出す。 ・自動車と電車・バスの両方の良さを認めながらも、環境という視点だと電車・バスが優位であることに着目させる。
2	<p>★バスの時刻・運賃を調べよう。</p> <p>①バスを利用して目的地へ行くために必要な情報を考える。 ②バスの時刻・運賃の調べ方を知る。 ③バスの往路の時刻・運賃を調べる。 ④バスの復路の時刻・運賃を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の日程を伝え、日程通りに行動するにはどの便に乗る必要があるかを考えさせる。 ・グループごとに取り組ませ、調べた情報をグループ内で共有できるようにする。
3 4	<p>★校外学習へ出かけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①バスを利用して校外学習へ出かける。 ②自分たちの調べた時刻・運賃で目的地に行けることを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を利用しその良さについて実感することができるようにする。 ・利用するときのマナーを事前に指導する。
5	<p>★公共交通を利用した体験を振り返ろう。</p> <p>①本単元の学習内容を振り返り、感想を書く。 ②感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用意し、まとめさせる。

4. 本時の指導

(1) 本時のねらい

○自動車と電車・バスの長短を考え、公共交通の役割について知ることができる。

(2) 本時の指導計画(1/5時)

段階	主な学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点・評価	
導入 (5分)	1. 公共交通について知る。 「今回の校外学習では、公共交通を使って出かけます。みなさんは公共交通とはどんなものか知っていますか。」 全体	○知らない ○バス ○電車 ○地下鉄 ○モノレール ○飛行機 ○フェリー など	・公共交通の良さとして、一度に大勢の人が移動できることを押さえておく。	
展開 (30分)	2. 本時の学習内容を知る。 自動車と電車・バスのいいところとよくないところを考えよう。			
	3. 自動車と電車・バスの長所と短所を考え、ワークシートに書く。 「自動車のいいところは、どんなところだろう。」 全体 「他のところについても考えてみよう。」 グループ		いいところ	よくないところ
		自動車	○出発時間、到着時間が自由 ○行き先が自由 ○料金(運賃)がかからない ○他人は乗らない ○荷物をたくさんつめる。	△渋滞する △ガソリン代がかかる △車を買う必要がある △免許がいる △一度に数人しか乗せられない △駐車場が必要
4. グループで考えた長所と短所を発表する。 全体	電車・バス	○渋滞しない(電車) ○時間通りに到着する ○免許が必要ない ○一度に大勢を乗せられる ○エコである(排気ガス) ○駐車場の心配がない	△時間が決まっている △行き先が不自由 △料金が必要 △駅や停留所まで遠いことがある △天気に左右される △他人が乗っている △少しの荷物しか運べない	
	5. 自動車と電車・バスの長所と短所を見比べながら、公共交通の役割について知る。 「電車やバスが環境に優しいと言われるのはなぜだろう。」 全体	○たくさんの人が利用すれば、渋滞が減るから。 ○たくさんの人が利用すれば、排気ガスが減るから。		【評価】自動車と電車・バスの長所と短所を考えることができる。(ワークシート) ・自動車と電車・バスの両方の良さを認めながらも、環境という視点だと電車・バスが優位であることに着目させる。

まとめ (10分)	6. バスを利用することが渋滞緩和や温暖化対策につながることを知る。 全体 ・紙芝居「バスのマメちゃんとラビットだんしゃく」	○紙芝居を見て、バスを利用する利点を理解する。	・紙芝居を通して、公共交通を利用することが環境によい影響を及ぼすことを理解させ、次時の学習へつなげる。
--------------	--	-------------------------	---

(3) 準備物

教師：ワークシート、紙芝居「バスのマメちゃんとラビットだんしゃく」

児童：筆記用具

(4) 板書計画

自動車と電車・バスのいいところとよくないところを考えよう。


○公共交通とは…

- ・バス
- ・電車
- ・地下鉄
- ・モノレール
- ・飛行機
- ・フェリー など


	いいところ	よくないところ
自動車	○出発時間、到着時間が自由 ○行き先が自由 ○料金（運賃）がかからない ○他人は乗らない ○荷物をたくさんつめる。	△渋滞する △ガソリン代がかかる △車を買う必要がある △免許がいる △一度に数人しか乗せられない △駐車場が必要
電車・バス	○渋滞しない（電車） ○時間通りに到着する ○免許が必要ない ○一度に大勢を乗せられる ○エコである（排気ガス） ○駐車場の心配がない	△時間が決まっている △行き先が不自由 △料金が必要 △駅や停留所まで遠いことがある △天気に左右される △他人が乗っている △少しの荷物しか運べない

電車・バスを利用することは、エコになる！

(6) パッケージ6 (鶴巻小学校 4年生の事例)



授業の取り組み概要



パッケージ⑥

概要

モデル校/学年	鶴巻小学校 / 4年生
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通とは何かを知る。 ●公共交通と自家用車を比べた時に、良い点、よくない点は何かを考える。 ●みんなが公共交通を利用することで、排気ガスを減らしたり、渋滞の緩和等に繋がることを知る。
使用教材 (仙台市より提供)	①公共交通について(PPT形式) ②紙芝居
他使用機材等 (学校側で準備)	テレビ、パソコン
実施教科	総合的な学習
学習のタイプ	実践学習
標準時数	1(+校外学習分)

11



学習の構成および教材



学習の構成

STEP1: 公共交通とは (事前授業) (1校時)

- ・公共交通とは何かを知る
- ・公共交通と、自家用車の良いところ・良くないところを考え発表し合う
- ・紙芝居を見て、公共交通は自家用車よりも環境にやさしいということを知る

校外学習

教材(仙台市より提供)

教材①「公共交通とは」

バスや電車と自動車の
よいところと**よくないところ**
を考えてみよう!



ヒント①
自動車はどんな人でも利用できるかな?



ヒント②
バスや電車はどれくらいの人が乗れるかな?
自動車はどれくらいの人が乗れるかな?



ヒント④
自動車をどこにでも
ちゅう車することはできるかな?



教材②「紙芝居」



公共交通とは何かを知る。

公共交通と自家用車を比べた時に、良い点、よくない点は何かを考える。

12

25

第4学年 総合的な学習の時間指導案

1. 単元名「公共交通を使って出かけよう」

2. 単元の目標

- 公共交通を利用して移動するために必要な情報を調べることができる。
- 公共交通を利用して目的地まで校外学習に出かけることができる。

3. 学習計画（全5時間）

時	学習内容	教師の指導・支援
1 本 時	<p>★公共交通の役割を考えよう。</p> <p>①本単元の学習内容について知る。 ②身近な移動手段にはどんなものがあるか考える。 ③自動車と電車・バスの長短を考え比較する。 ④公共交通が環境に及ぼす影響について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習に公共交通を利用して出かけることを伝え、児童の興味を引き出す。 ・自動車と電車・バスの両方の良さを認めながらも、環境という視点だと電車・バスが優位であることに着目させる。
2 3	<p>★校外学習へ出かけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①バスを利用して校外学習へ出かける。 ②自分たちの調べた時刻・運賃で目的地に行けることを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を利用しその良さについて実感することができるようにする。 ・利用するときのマナーを事前に指導する。
4	<p>★公共交通を利用した体験を振り返ろう。</p> <p>①本単元の学習内容を振り返り、感想を書く。 ②感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用意し、まとめさせる。

4. 本時の指導

(1) 本時のねらい

○自動車と電車・バスの長短を考え、公共交通の役割について知ることができる。

(2) 本時の指導計画(1/5時)

段階	主な学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点・評価							
導入 (5分)	1. 公共交通について知る。 「今回の校外学習では、公共交通を使って出かけます。みなさんは公共交通とはどんなものか知っていますか。」 全体	○知らない ○バス ○電車 ○地下鉄 ○モノレール ○飛行機 ○フェリー など	・公共交通の良さとして、一度に大勢の人が移動できることを押さえておく。							
展開 (30分)	2. 本時の学習内容を知る。 自動車と電車・バスのいいところとよくないところを考えよう。									
	3. 自動車と電車・バスの長所と短所を考え、ワークシートに書く。 「自動車のいいところは、どんなところだろう。」 全体 「他のところについても考えてみよう。」 グループ									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>いいところ</th> <th>よくないところ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車</td> <td>○出発時間、到着時間が自由 ○行き先が自由 ○料金(運賃)がかからない ○他人は乗らない ○荷物をたくさんつめる。</td> <td>△渋滞する △ガソリン代がかかる △車を買う必要がある △免許がいる △一度に数人しか乗せられない △駐車場が必要</td> </tr> <tr> <td>電車・バス</td> <td>○渋滞しない(電車) ○時間通りに到着する ○免許が必要ない ○一度に大勢を乗せられる ○エコである(排気ガス) ○駐車場の心配がない</td> <td>△時間が決まっている △行き先が不自由 △料金が必要 △駅や停留所まで遠いことがある △天気に左右される △他人が乗っている △少しの荷物しか運べない</td> </tr> </tbody> </table>		いいところ	よくないところ	自動車	○出発時間、到着時間が自由 ○行き先が自由 ○料金(運賃)がかからない ○他人は乗らない ○荷物をたくさんつめる。	△渋滞する △ガソリン代がかかる △車を買う必要がある △免許がいる △一度に数人しか乗せられない △駐車場が必要	電車・バス	○渋滞しない(電車) ○時間通りに到着する ○免許が必要ない ○一度に大勢を乗せられる ○エコである(排気ガス) ○駐車場の心配がない
	いいところ	よくないところ								
自動車	○出発時間、到着時間が自由 ○行き先が自由 ○料金(運賃)がかからない ○他人は乗らない ○荷物をたくさんつめる。	△渋滞する △ガソリン代がかかる △車を買う必要がある △免許がいる △一度に数人しか乗せられない △駐車場が必要								
電車・バス	○渋滞しない(電車) ○時間通りに到着する ○免許が必要ない ○一度に大勢を乗せられる ○エコである(排気ガス) ○駐車場の心配がない	△時間が決まっている △行き先が不自由 △料金が必要 △駅や停留所まで遠いことがある △天気に左右される △他人が乗っている △少しの荷物しか運べない								
4. グループで考えた長所と短所を発表する。 全体										
5. 自動車と電車・バスの長所と短所を見比べながら、公共交通の役割について知る。 「電車やバスが環境に優しいと言われるのはなぜだろう。」 全体	○たくさんの人が利用すれば、渋滞が減るから。 ○たくさんの人が利用すれば、排気ガスが減るから。	<p>【評価】自動車と電車・バスの長所と短所を考えることができる。(ワークシート)</p> <p>・自動車と電車・バスの両方の良さを認めながらも、環境という視点だと電車・バスが優位であることに着目させる。</p>								

まとめ (10分)	6. バスを利用することが渋滞緩和や温暖化対策につながることを知る。 全体 ・紙芝居「バスのマメちゃんとラビットだんしゃく」	○紙芝居を見て、バスを利用する利点を理解する。	・紙芝居を通して、公共交通を利用することが環境によい影響を及ぼすことを理解させ、次時の学習へつなげる。
--------------	--	-------------------------	---

(3) 準備物

教師：ワークシート、紙芝居「バスのマメちゃんとラビットだんしゃく」

児童：筆記用具

(4) 板書計画

自動車と電車・バスのいいところとよくないところを考えよう。


○公共交通とは…

- ・バス
- ・電車
- ・地下鉄
- ・モノレール
- ・飛行機
- ・フェリー など

	いいところ	よくないところ
自動車	○出発時間、到着時間が自由 ○行き先が自由 ○料金（運賃）がかからない ○他人は乗らない ○荷物をたくさんつめる。	△渋滞する △ガソリン代がかかる △車を買う必要がある △免許がいる △一度に数人しか乗せられない △駐車場が必要
電車・バス	○渋滞しない（電車） ○時間通りに到着する ○免許が必要ない ○一度に大勢を乗せられる ○エコである（排気ガス） ○駐車場の心配がない	△時間が決まっている △行き先が不自由 △料金が必要 △駅や停留所まで遠いことがある △天気に左右される △他人が乗っている △少しの荷物しか運べない


電車・バスを利用することは、エコになる！

(7) パッケージ7 (台原小学校 5年生の事例)



パッケージ⑦


授業の取り組み概要




概要

モデル校/学年	台原小学校 / 5年生
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●校外学習(社会科見学等)のカリキュラムにあわせ、市内の公共交通を利用。その経路・時刻の調べ方を知る。 ●自家用車と公共交通を利用した場合の二酸化炭素排出量の違いを知り、交通・二酸化炭素・温暖化の関係を理解する。
使用教材 (仙台市より提供)	①バスの時刻調べ(テキスト)(配布用: word、説明用: PPT形式) ②バスの時刻調べ(worksheet)(word形式)
他使用機材等 (学校側で準備)	テレビ、パソコン(インターネット環境)
実施教科	社会科
学習のタイプ	実践学習
標準時数	4(+校外学習分)

13



学習の構成および教材



学習の構成

STEP1: 行程計画 (1校時)

- ・校外学習の行程を班ごとに作成

STEP2: 時刻調べ(事前学習①) (1校時)

- ・パソコン(仙台市交通局のHP)を使った、バスの経路・時刻の調べ方を学ぶ

STEP3: 時刻調べ(事前学習②) (1校時)


- ・実際の行程に合わせて、バスの経路・時刻を調べ、行動計画を作成する
- ・簡便的な計算を用い、今回の課外学習において自動車を使った場合と、バスを使った場合の二酸化炭素排出量を試算し、比較する
- ・巻末のコラムを読んで、二酸化炭素の排出と環境(温暖化)について知る

校外学習

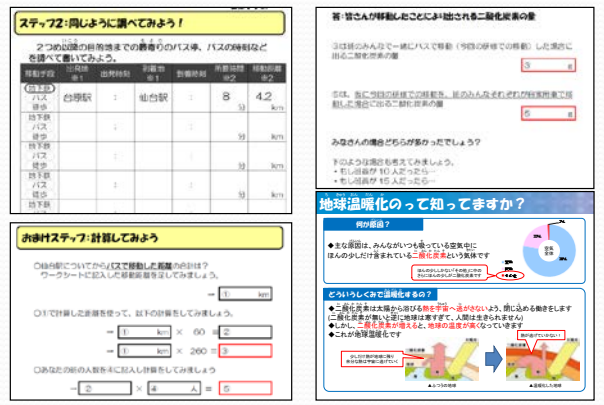
STEP4: 総括(1校時)

- ・校外学習をもとに新聞を作成する。

教材①「バスの時刻調べ(テキスト)」



教材②「バスの時刻調べ(worksheet)」



教材(仙台市より提供)

14

(8) パッケージ8 (虹の丘小学校5年生の事例)

Sendai SMART パッケージ⑧ 授業の取り組み概要	
概要	
モデル校/学年	虹の丘小学校 / 5年生
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通と、自家用車の現状・違いを知り、根拠を明確にして公共交通の必要性について考える ●パネル討論会を通して自分の考えの深まり、変化を確認するとともに、環境面、社会貢献面から見た、公共交通のメリット・デメリットを理解する
使用教材 (仙台市より提供)	①公共交通とは(PPT形式) ②市営バス、市営地下鉄の統計データ(PPT形式)
他使用機材等 (学校側で準備)	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、パソコン ・教材②を加工、取捨選択等したもの (説明用：グラフの加工、PPT上での見栄えの調整等) (討論用：児童がプレゼン時に使いやすいよう各々PPT上で加工)
実施教科	国語
学習のタイプ	討論学習
標準時数	5

15

Sendai SMART 学習の構成および教材

学習の構成

STEP1: 導入 (1時間)

- ・パネル討論会とは何か知る
- ・パネルディスカッションの進め方について知る

STEP2: 公共交通とは(事前学習) (1時間)

- ・パネル討論会テーマとなる公共交通とは何か、公共交通の現状について知る
- ・教材の内容をヒントに、公共交通の必要性について自分の考えを持つ

STEP3: 討論会 (準備+討論会2回=3時間)

- ・公共交通必要派(理由によって複数班)と不要派に分かれ、各班の主張に応じ、必要なデータを用いて討論会を行う
- ・必要派の理由の中で「環境面」や「交通弱者への配慮」等公共交通が果たす役割について学ぶ

教材(仙台市より提供)

教材①「公共交通とは」

教材②「市バスに関するデータ」

16

第5学年 国語科学習指導案

1 単元名 パネル討論会をしよう

2 単元の目標

- ・ テーマについて自分の考えを明確にして、興味を持ってパネル討論に参加しようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・ 立場を明確にして、理由や具体例を添えて意見を述べている。(話す・聞く)
- ・ 異なる意見や対立する意見に対して、その根拠となる考えを理解しようとして聞き、自分の意見との関係を考えている。(話す・聞く)
- ・ パネル討論の形式を利用し、お互いの考えの違いを尊重しながら、話題への考えを深める話し合いをしている。(話す・聞く)

3 指導について

(1) 単元について

本単元はパネル討論という言語活動を通して、以下の三点を理解させたい。

- ①あらかじめテーマに対して自分の考えを明確にして、意見を持って話し合いに臨むことが必要であること。
- ②話し合いでは、一つの考えに収束していくのではなく、テーマに対する考えを深めていけばよいこと。
- ③話し合いの形態は話者(パネリスト)同士、話者と他(フロア)と相互方向が広がっていること
さらに、理由や具体例を添えて、意見を述べる力を身につけさせ、相手の意図を考えながら聞くことで、その良い点を取り入れたり意見を変えたりして、テーマに対する考えを深めていくことができるようにさせたいと考え、本単元を設定した。

(2) 児童について

本学級の児童は説明的活動を好む児童が多い。しかし、39名の全体がそうではなく教科によって多少の違いはあるが、発表する児童が同じである傾向がある。また、自分の意見を持つことはできても、指名されるのを待っている児童も多くいる。

児童は既に様々な話し合いの場を経験している。それは、一つの話題に対し質問や感想を自由に出し合う拡散方の話し合いや、いくつかの意見を一つにしぼる収束型の話し合いであり、形態は一对全体である。今回のように話者同士の話をフロアが聞いたり、フロアと話者が意見を交わし合う形態の話し合いは初めてである。

(3) 指導にあたって

本校の校内研究の研究主題「自ら考え、表現し、共に学び合う子供の育成」との関連をはかることとした。校内研究の視点に沿って指導の手立てを以下のように立て指導に当たることとした。

- ① 思考力・判断力・表現力を育むための指導のあり方はどのようにしたらよいか。

意見の拠り所となる客観的なデータを多く用意する。

「グラフ」「写真資料」「保護者や児童からの聞き取り」など、多くの資料を用意し、自分の

意見を他の人に納得してもらうためにはどの資料をどのように使って話すと良いかを考えさせることで思考力が育まれると考える。また、自分の意見の拠り所がはっきりしているので、自信を持って、発表し、表現力が向上すると考える。

② 児童の交流が深まるような授業をつくるにはどのようにしたらよいか。

最後にフロアからの感想を述べる場を用意する。

聞き役であるフロアに、全ての発表を聞き終わった後に「心に残った発言」や「自分の考えがどのように変わったか」「それはだれの意見を聞いてか」などを発表させる場を設定する。こうすることで、パネラーの児童は、フロアからの評価を意識した発表をするようになり、フロアの児童も比較の観点で主観的に聞くようになり、児童の交流が深まると考える。

	学 習 内 容	留 意 点
第 1 時	<p>学習内容を知る。</p> <p>○ 教科書の「パネルディスカッションをしよう」を読み合わせ、「パネルディスカッション」の方法について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な立場の人が意見を語り合うパネルディスカッションの方法について知り、進んで取り組もうとする意欲を育てる。
第 2 時	<p>パネルディスカッションのテーマについて知る。</p> <p>(1) 公共交通機関とは何かについて知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道、バス、地下鉄、飛行機など、運賃を支払うなどすれば誰でも利用できる交通機関のこと。 ・ 利用した経験について振り返り、バスや地下鉄、鉄道が最も身近な公共交通機関であることに気づく。 <p>(2) 仙台市で運営している公共交通機関について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市で運営している公共交通機関には、市営バスと市営地下鉄があることを知る。 ・ 利用した経験（いつ、どんなときに）を話し合う。 ・ 市バスの総台数、一日の総乗客数、停留所の数、路線、虹の丘入り口時刻表 等 ・ 地下鉄の路線、一日の乗客数、八乙女の時刻表 等 <p>(3) 市営バスの現状について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者は増えているか？ → グラフ ・ 収入は増えているか？ → グラフ <p>(4) 市営バスの現状について考える。</p> <p>○ 乗客がだんだん減ってきているのはなぜだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車で移動する人が増えている ・ その場所の近くまでいけるけれど、その場所までは行けないから不便。 ・ 自転車やバイクが増えている。 ・ 近くにスーパーや病院ができてから移動しなくても良い。 <p>○ 利用者が減少しているのに仙台市が運営し続けている理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車を運転できない、学生や子供、お年寄りのためには必要。 ・ バスがなくなって自家用車だけになると渋滞が起きる。空気が汚れる。ガソリンをたくさん使う。 ・ バスがなくなって自家用車だけだと駐車場もたくさん必要になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーポイントを用いて公共交通機関、仙台市が運営するバス、地下鉄について知らせる。 ・ 市バスの路線図や一日の総乗客数を知ること、市民に広く利用されている「市民の足」となっていることを知る。また、遠足等で利用した経験を思い出して、バスは同じ目的地に一度に大勢を運ぶのに便利であることを知る。(自家用車との違い) ・ 市バスの利用者減少がモータリゼーションの変化が一因であることを児童なりに予想させる。 ・ バスと自家用車のメリット、デメリットについてとらえさせる。 ・ バスは、渋滞解消、環境の観点、交通弱者のためにも必要。一方では利用者が減少しているという問題もあることをとらえさせ、市バスについてと改善点についての意見を持たせるきっかけとする。
第	(1) 仙台市営バスの現状と課題について確認する。	

3
時

市営バス
○自動車を運転できない人のために必要
○一度に多くの人を運べる
○渋滞しにくい
○ガソリンの節約
○排気ガスが減る。
△目的地まで直接行けない
△停留所があって遅い。

自家用車
○家から目的地まで直接行ける。
○駐車場が必要
△みんなが乗るとガソリンを多く使い排気ガスもたくさん出る。
△車を運転できない人が困る。



- ・だんだん利用者が減っている。
- ・足りない分は仙台市がお金を出している。

(2) 仙台市営バスについての自分の意見を書いてみよう
仙台市に市営バスは必要だと思うか。
そう考える理由は。
必要であれば乗客を増やすためにどんな工夫が必要か。
自分の考えを原稿用紙に書く

第
4
時

- (1) 似ている考えの人がグループになる。
- ① 必要 交通弱者のために
 - ② 必要 環境のために
 - ③ 必要 渋滞解消のために
 - ④ 必要 その他
 - ⑤ 不必要
- (2) お互いの作文を読み合う。
- (3) パネルディスカッション用の原稿を作る。
資料に根拠をおいて、聞き手を意識した原稿を書くこと

<p>第 五 時 本 時</p>	<p>パネルディスカッションをしよう</p> <p>(1) 司会の指示でそれぞれの立場から意見を述べ合う。</p> <p>① 必要 交通弱者のために</p> <p>② 必要 環境のために</p> <p>③ 必要 渋滞解消のために</p> <p>④ 必要 その他</p> <p>⑤ 不必要</p> <p>(2) フロアがそれぞれの意見を聞いて考えたことを述べ合う。</p>	<p>学級としての結論を求めるものではない。公共交通機関において様々な視点からの見方ができるようになることがねらい。</p>
----------------------------------	---	--

第2時
指導過程

学習活動	・留意点 ○資料 ※評価
<p>1 本時のめあてを確かめ、討論は自分の考えと他の人の考えを比べながら聞いたり、意見の違うグループの立場に立って、自分の意見を主張したりしながらおこなうことをとらえさせる。 (3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今日のめあて パネル討論をしたり、その様子を聞いたりして、自分の考えを深めよう。</p> </div> <p>2 テーマ : 仙台市の市営バスの必要性とその理由 仙台市に市営バスは必要でしょうか。それでも必要ないでしょうか。その理由も付けて自分たちの考えを發表しましょう。 まずA班からお願いします。(20分)</p> <p>(1) A班 意見 仙台市のバスは無くても良い。 理由 税金をたくさん使う。 根拠 運賃収入の減少のグラフ、補助金額の変化のグラフ 補助金と同じ額でどんなことができるか考えた例。</p> <p>(2) B班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方が良い。 理由 子供や老人等が利用するために必要 根拠 仙台市の人口変化と人口構成のグラフによると、これからも、仙台市の人口は増え続けるし、老人の割合が増えるから。 まとめ これからの仙台市の人口増加と老人の割合が増えることから、これからもバスが必要。</p> <p>(3) C班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方が良い。 理由 体の不自由な人が利用するため 根拠 仙台の街に設置されている点字ブロックや音声式横断歩道、低床のバスの写真</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話すときには「相手に伝わるように自分の考えを述べること。」、聞くときには「相手の意見の良いと思うところ、納得したところ、自分の考えとは違うところを比べながら聞くこと」と具体的にめあてを持たせる。 ・ フロアにも聞く責任があることを話す。 ・ 話し合いに集中させるために教員が司会を行い、円滑に話し合いを進める。 <ul style="list-style-type: none"> ○人口増加のグラフ ○乗客数減少のグラフ ○運賃収入の減少のグラフ(昭和50年から現在までの5年単位の棒グラフ) ○補助金と同額でできることのリスト ○仙台市の人口変化のグラフ(昭和50年から現在までの5年単位の棒グラフ) ○人口構成のグラフ(昭和50年から現在までの10年単位の帯グラフ) ○ 仙台の街に設置されている点字ブロックの写真 ○ 音声式横断歩道の写真 ○ 低床のバスの写真

<p>(4) D班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方がよい。 理由 自家用車が増えると空気が汚れるから 根拠 NOx 調査の結果の比較 バス一台と自動車 30 台分</p> <p>(5) E班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方がよい 理由 自家用車が増えると渋滞が増えるから 根拠 朝の虹の丘団地前の交通渋滞の様子の写真 マイカー通勤している保護者への聞き取り</p> <p>(6) F班 意見 これからも仙台市にはバスがあった方がよい 理由 団地に住んでいる人たちが困るから。 根拠 市バス通勤をしている保護者の声を紹介、習い事などでバスを使っている子供の声を紹介 仙台市には多くの団地があることを紹介。 団地からのバス利用者が多いことをグラフで紹介。</p> <p>4 では、ここからパネリスト同士で質問したり、意見を述べたりしてください。</p> <p>Q A班に質問です。バスがないと、運転できない人や団地に住んでいる人は困ると思います。</p> <p>A バスを全てなくすのではなく、今よりもバスを減らすということであれば、困ることはないと思います。</p> <p>Q これからもバスが必要だというグループに質問です。お金が赤字にならないようにするための工夫は何かありますか。</p> <p>A ・ 運賃を高くするといいと思います。 ・ もっとたくさんの方がバスを使うように働きかけるといいと思います。</p> <p>5 ここまでの意見を整理します。 車の運転ができない人や、団地に住んでいる人のためには市営バスはあった方が便利です。大勢の人が自家用車を使うよりもみんなバスを利用した方が、環境にも優しいし、渋滞の問題や駐車場の混雑もおきません。しかし一方では問題もあります。運賃だけでは、運営ができず、赤字になり、仙</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 排気ガスを出して走る車の写真 ○ 市バス1台と乗用車30台の酸化窒素の比較グラフ ○ 朝の虹の丘団地前の交通渋滞の様子の写真 ○ マイカー通勤している保護者の渋滞の大変さを語る作文 ○仙台市の地図と各団地でバスを利用している人の人口の棒グラフ。 ○バスを利用して習い事にいっている子供の声。 ・ 質問は事前に考えておく。また、各グループには質問を予想し、それに対する答えを考えさせておく。 ・ はじめに持っていた自分の意見が、今日パネラーの意見を聞いて、どのように変わったかを振り返らせる。 ※ 自分の立場を明確にして、理由や具体例を添えて意見を主張したり、相手
--	---

<p>台市から補助金をもらって運営しています。</p> <p>これに対しては、運賃を高くしたり、もっとたくさんの方がバスを利用するように働きかけたりすると良いとの意見が出されました。</p> <p>また、バスそのものの台数を減らすという意見も出されました。</p> <p>5 ここまでのパネル討論を聞いて「心に残った発言、発表」「それを聞いて考えたこと」をワークシートに書きましよう。(5分)</p> <p>6 パネル討論を聞いて、考えたことを発表しましょう。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4班の意見が心に残っています。自家用車通勤が増えるところなのに空気が汚れるなんてびっくりしました。 ・ 私ははじめ市営バスにたくさんの税金が使われていると聞いて、もったいないと思いましたが、○班の意見を聞いて、バスはやっぱり必要だと思いました。 ・ ○○くんがバスを使って習いごとに行っているのを聞いて、運転できない人のためにやっぱりバスは必要なのだと改めて思いました。 	<p>の意見を理解しながら聞いたりできたか。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の観点 <ul style="list-style-type: none"> 「感想のみ」 「提示された資料に触れた感想」 「複数を比較しての感想」 「自分の意見の振り返りを述べている」の観点で評価していく。
--	--

(3) 評価

自分の立場を明確にして、理由や具体例を添えて意見を主張したり、相手の意見を理解しながら聞いたりできたか。(発見, ワークシート)

(9) パッケージ9（虹の丘小学校6年生の事例）

Sendai SMART

授業の取り組み概要

パッケージ⑨

概要

モデル校/学年	虹の丘小学校 / 6年生
取り組みの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化により起きている、地球上の問題について知る ●地球温暖化の主な原因は二酸化炭素であり、二酸化炭素の温室効果について、実験を通して学ぶ ●自家用車とバスの一人当たりの二酸化炭素排出量の違いを、エネルギーバッグを用いて体感する ●自家用車とバスの使い分けについて考える
使用教材 (仙台市より提供)	①ポスター「夜の地球」(MELONさんより借用) ②地球環境に関するデータ集 ③エネルギーバッグ(MELONさんより借用)
他使用機材等 (学校側で準備)	・テレビ、パソコン ・実験器具(ペットボトル、温度計)
実施教科	理科
学習のタイプ	実践学習
標準時数	3

17

Sendai SMART

学習の構成および教材

学習の構成

STEP1：二酸化炭素の温室効果について
(2枚時(実験準備含む))

- ・ペットボトルに二酸化炭素と窒素を溜め、ライトをあてて温度の変化を調べる。
- ・二酸化炭素の方が温度上昇が高いことを確認する。
- ・二酸化炭素と地球温暖化の関係について学び、二酸化炭素を減らすために何が出来るか考える。

STEP2：車からの二酸化炭素排出量を知る (1枚時)

- ・車の排気ガスにはどのくらい二酸化炭素が含まれるのかを実験を通して学ぶ
- ・電気自動車を実際に見て、排気ガスを出さない車もあることを知る。

STEP3：二酸化炭素を減らすためにできること(1枚時)

- ・大勢でバスを利用すれば一人当たりの二酸化炭素排出量が減ることを知り、その差をエネルギーバッグで体感して学ぶ。
- ・車とバスをどのように使い分ければ良いか考える。

教材(仙台市より提供)

教材①「夜の地球」

教材③「エネルギーバッグ」

教材②「地球環境に関するデータ集」

仙台市小学校6年生 電子教材 収録資料

1. 世界の平均気温の変化

仙台市小学校6年生 電子教材 収録資料

2. 世界の平均気温の変化(対数グラフ)

仙台市小学校6年生 電子教材 収録資料

3. 自動車とバスによる二酸化炭素排出量の比較

仙台市小学校6年生 電子教材 収録資料

4. 1人当たりの二酸化炭素排出量の比較(対数棒グラフ)

18

※教材①③は、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク様より借用
 財団 HP <http://www.melon.or.jp/melon/index.htm>

39

第6学年 理科学習指導案

1 単元名 人と環境

2 単元の目標

ここでは生物と環境の関わりについて興味・関心を持って追求する活動を通して、生物と環境、人と環境の関わりについて推論する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、環境を保全する態度を育て、生物と環境の関わりについての見方や考え方を持つことができるようにする。

3 指導にあたって

本単元は学習指導要領の内容、第6学年B(3)アに基づいて設定したものであり、第3学年「B(2)身近な自然の観察」の学習を踏まえて「生命」についての基本的な見方や考え方を柱とした内容のうちの「生命と環境のかかわり」にかかわるものである。ここでは、地球上の水が循環していることや、生物が空気を通して周囲の環境とかかわって生きていることをとらえられるようにする。これらの内容について、本時では、持続可能な社会の構築という観点から水や空気に関する環境問題との関連で扱っていく。

児童数39名の元気いっぱいのクラスである。全体的に理科に対する興味・関心は高い。また、昨年度国語のパネル討論会で交通環境をテーマに話し合いを行い、交通機関が環境に及ぼす影響についても関心を持っている児童が多いと考えられる。

本単元は、実験・観察が行いにくい内容であるが、気体検知管や石灰水を用いて二酸化炭素の検出をしたり、映像や図を活用したりして、児童の理解の充実をはかっていきたい。また、グラフや表をもとに児童が自ら考察し、自分の意見を持てるような展開をしていきたい。

4 指導計画

第1次 人と空気

第1時 人と環境の関わりについて調べる計画を立てる

第2時 人は空気とどのようにかかわり、その結果どのような影響を及ぼしているのかを知る★

第3・4時 空気の環境保全に対する取組について考える★

第2次 人と水

第5時 人は水とどのようにかかわり、その結果どのような影響を及ぼしているのかを知る。

第6時 空気の環境保全に対する取組について調べる

第3次 私たちにできることを考えよう

第7時 自分たちの生活を振り返り、環境保全のためにできることを考える。

第8時 生き物と環境との関わりについてまとめる。

(★印は交通環境学習と関連するところ)

4 - (1) 本時の指導 (第2時)

(1) 本時のねらい

二酸化炭素の温室効果について調べ、地球温暖化の原因や現象、及び「1人当たりの二酸化炭素排出量」について理解する。

(2) 指導課程

段階	主な教師の働きかけ	予想される児童の反応	留意点・評価
導入	1 教科書169ページの地球の気温についての読み物を読む。		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球温暖化という言葉を知っていますか。またそれについてどんなことを知っていますか。 ○ 教科書169ページを読んで、地球温暖化について整理して見ましょう。(いつ頃から気温が上がっていますか。原因は何だと言われていましたか。どんな影響が出ると考えられていますか。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原因は二酸化炭素 ・ 気温が高くなる ・ 海面が上昇する。 ・ 100年ほど前から化石燃料が使われ初めて空気中の二酸化炭素が急激に増えてきていることと関係していると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化象について、あらかじめ知っていることを話し合い、原因・現象・被害に学習の視点を整理していく。
	2 二酸化炭素温室効果ガスの効果について実験を通して確かめる。 ○ 前時にセットした実験セットを回収し、結果を確認する。	(予想) ・ 大きく変わらないと思う。 ・ 気温が低いしそんな違いはない。 (結果) 窒素 プラス1度 二酸化炭素 プラス3度 (まとめ) 二酸化炭素は熱を逃がしにくい	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットボトルに温度計を刺した物二つを用意し、一方は窒素、他方は二酸化炭素を水上置換で充填し二十分間日光に当てる。
まとめ	3 地球温暖化によってどんな被害が起きるか予想する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北極や南極の水が溶けて海面が上昇する。 ・ 水が減り飲み水に困る ・ 干ばつになりやすくなる。 ・ 食べ物も取れにくくなる。 	
	4 実際にどんな被害が起きるのか、現に起きているのかをスライドで確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二酸化炭素は1人当たりの排出量で表されることがあることを知り、生活のどんな場面で二酸化炭素が多く出されるかを資料を通して知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三菱重工の Web からの資料と寿都町の Web 資料を活用。
	5 「1人当たりの二酸化炭素排出量」と言う言葉について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気温が何度か上がるだけで、地球に大きな影響が出ることが分かった。 ・ 二酸化炭素にほんとうに温室効果があることが分かった。 ・ 自分たちが生活することでたくさんの二酸化炭素が出ていることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球温暖化の原因と現象について理解できたか。(ノート記述)
	6 今日の授業で分かったこと、考えたことを発表する。		

(3) 評価

地球温暖化の原因や現象、及び「1人当たりの二酸化炭素排出量」について理解できたか。

4 - (2) 本時の指導 (第3時)

(1) ねらい

- ・ 排気ガスに含まれる二酸化炭素の割合を実際に測定し、測定結果から二酸化炭素排出量を減らすための手段について考えられる。

段階	主な教師の働きかけ	予想される児童の反応	留意点・評価												
導入 展開 まとめ	<p>1 前時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (何人かの感想を紹介した後)「1人当たりの二酸化炭素排出量」の中で、最も大きな割合を占めているものは何だったでしょう。 <p>2 実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 色々な自動車の二酸化炭素の排出量の割合を測ってみよう。 <p>3 結果の整理</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>車種</th> <th>CO₂の割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハリアー</td> <td>1.8%</td> </tr> <tr> <td>プリウス</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td>(軽自動車)</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>(電気自動車)</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>※ バス</td> <td>1.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ バスは可能な場合実施。難しい場合は教師があらかじめ測定した数値を使う。</p> <p>4 考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実験をして、気付いたことを話し合おう。 <p>5 車から出される二酸化炭素を減らすために自分たちできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 車から出される二酸化炭素を減らすために私たちにできることはどんなことでしょうか。 <p>6 次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時は公共交通機関を賢く使う方法を考えましょう。 	車種	CO ₂ の割合	ハリアー	1.8%	プリウス	1.1%	(軽自動車)	0%	(電気自動車)	0%	※ バス	1.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車からの排出の割合が大きかった。 ・ 気体検知管を用いてアイドリング時の二酸化炭素濃度を測る。 ・ 結果を表に表す。複数の班の結果を照らし合わせて再現性を確認し、だいたいの数値を把握する。 ・ ガソリン車の排気ガスの二酸化炭素濃度は約20%。 ・ ハイブリッド車は二酸化炭素濃度も低い。 ・ バスの排気ガスの二酸化炭素濃度はそんなに高くない。 ・ できるだけ歩く ・ 自転車などを使う ・ バスや地下鉄で移動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何人かの感想や気づきを紹介し、前時の学習内容を想起させる。 ・ 車の排気ガスをあらかじめ採種しておき、二酸化炭素の濃度を気体検知管で測定する。 ・ 空気中の濃度と比べて大幅に高くなっていることが確認できれば良いとする。 ・ 児童の意見を「近い距離の移動」「遠い距離の移動」の観点で整理する。
車種	CO ₂ の割合														
ハリアー	1.8%														
プリウス	1.1%														
(軽自動車)	0%														
(電気自動車)	0%														
※ バス	1.8%														

(3) 評価

排気ガスに含まれる二酸化炭素の割合を実際に測定できたか。測定結果から二酸化炭素排出量を減らすための手段について考えられたか。

4 - (3) 本時の指導 (第4時)

(1) ねらい

自動車から出される二酸化炭素量とバスから出される二酸化炭素量を比較し、公共交通機関の有効な使い方について考える。

段階	主な教師の働きかけ	予想される児童の反応	留意点・評価
導入	<p>1 前時の振り返り</p> <p>○ 私たちが出す二酸化炭素で最も多かったのは何による物でしたか。</p> <p>2 自動車とバスの二酸化炭素排出量を比較する。</p> <p>○ 一人一人が 3km 移動するとき自動車から出される二酸化炭素量とバスから出される二酸化炭素量はどのように違うのでしょうか。重さで比べてみましょう。</p> <p>水を入れた容器で体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス 5 1g×37 人×3 km=6kg (ペットボトル 3 本) ・自動車 170g×37 人×3 km=20kg (ペットボトル約 10 本) <p>○ まとめ</p> <p>大勢で同じ場所に移動するときは公共交通機関を使った方が二酸化炭素の排出量が少ない。</p> <p>3 考える</p> <p>○ 自家用車は確かに便利ですが、二酸化炭素の排出を抑えるためには公共交通機関も上手に利用することが大切です。一方では、自動車を利用した方が大変便利な場合もあります。</p> <p>虹の丘小から次の場所に移動するときにはどのような交通機関を利用すると良いでしょう。</p> <p>○ 冬休みの家族旅行などの際にも移動手段について環境の視点で家族と話し合ってみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車 ・ ハイブリット車は二酸化炭素濃度も低かった。 ・ バスと乗用車の二酸化炭素濃度はあまり変わらない ・ バスは自動車に比べて軽い。(一人あたりの二酸化炭素排出量が少ない。) ・ バスに比べると車は重い。 ・ バスに乗る人数が少なくなると、バスの二酸化炭素量も多くなる。 ・ 仙台スタジアムにサッカーの試合を見に行く。(回答例 徒歩, 自転車) ・ クリネックススタジアムに楽天の試合を見に行く。(徒歩→地下鉄→JR または徒歩) ・ 仙台市体育館に 89's の試合を見に行く。(徒歩→地下鉄) ・ 八木山動物園 (徒歩→地下鉄→バス, 自家用車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人あたりの二酸化炭素排出量を減らすためには交通機関の見直しが有効であることを想起させる。 ・ 水を入れたペットボトルで二酸化炭素量を比較させ体感的に比較させる。 ・ 5 年生の時の学習である、公共交通機関の利便性も想起させる。(車で街中に行くと駐車場が必要。) ○ 交通手段からの二酸化炭素排出削減と利便性を考慮しながら適切な移動手段を考えられたか。

(3) 評価

自動車から出される二酸化炭素量とバスから出される二酸化炭素量を比較し、公共交通機関の有効な使い方について考えられたか。

小学生交通環境学習推進事業の普及に向けた取り組みについて

交通環境学習を市内小学校に普及させ、持続的に取り組んでもらえるようにするためには、小学校がその存在を知り、授業を実施し、その必要性を感じる事が重要と考えられます。今後、予定している普及に向けた取り組みは次のとおりです。

1. 公共交通に関する学習状況アンケートの実施（参考資料3）

小学校における公共交通に関する授業の実施状況を把握するためのアンケートを実施。昨年度作成したチラシにも目を通すよう誘導する質問を設け、「小学生交通環境学習」の存在を知ってもらう。（昨年12月実施済み）

2. チラシ「交通と環境に関する教材を使ってみませんか？」（資料1）

事務作業の増加等で教職員の負担が増えている中、年間学習指導計画に新しい学習を組込むことは容易ではなく、更には、他分野における数多くの学習題材から「小学生交通環境学習」を選択してもらうことは簡単ではない。

当事業でまとめた教材が、校外学習の事前学習（乗り方、マナー等）に使えることなど、どのような授業で活用できるのか、教科（単元）の事例を紹介し、授業に取り入れるときのイメージがしやすいようなチラシの内容とし、作成・配布する。（H25年度中）

3. 生活科・総合的な学習研究部会の全体会で紹介

私立含め、134校の小学校が所属している研究部会で、今年度実施したモデル授業を紹介する。（2/5（水）開催予定）

4. 仙台市ホームページを更新

現在掲載している当事業のページを最終的にとりまとめた教材、手引きのダウンロードができるページとして修正・更新する。先生からの意見・要望を随時募集する。（H26年度～）

5. 公共交通に関する学習状況アンケートを活用しPR

交通環境学習に興味を示した回答や、誤解をしているような回答などを選び、回答した学校または先生に、話を伺い、授業実施に至らない部分へのアドバイスをし、授業の実施を促し、支援していく。

また、毎年、交通環境学習の普及状況を把握しながら、教材等についての意見を吸い上げ、必要に応じ、小学生教育研究会の社会科部会及び生活科・総合的な学習部会の会員の先生方で構成する作業部会を設置し、教材等の見直し修正をしていく。

小学生交通環境学習 作業部会 議事概要

日時	2013.12.26 15:00～17:00	会場	仙台市青葉区役所4階会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・虹の丘小学校 飯野教諭 ・鶴巻小学校 関教諭 ・東北工業大学 菊池准教授 ・宮城教育大学 吉村教授 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市都市整備局公共交通推進課 丹野主任 小野寺技師 ・PCKK 磯崎 	

<冒頭>

○仙台市 丹野主任

- ・ 冒頭挨拶。

○参加者

- ・ 自己紹介

○仙台市 丹野主任

- ・ 今年度が小学生交通環境学習のとりまとめ年度であり、今後普及させていくにあたり、汎用性の確認を目的としてモデル授業を実施した。
- ・ 今後普及させていくため、交通環境学習実施の手引きを作る予定であり、そちらについてもご意見を頂きたい。

<モデル授業の説明>

○仙台市 丹野主任

- ・ 虹の丘小学校 2年生では、地下鉄の乗り方や降り方・マナーについて学習し、校外学習にて実践するということを目的として実施した。
- ・ また地球温暖化と交通には関係があることを知り、地下鉄等の公共交通の使用が環境を守ることにつながることも学習した。
- ・ 教材は、過年度の「地下鉄に乗ってでかけよう」「シロクマたちを助けよう」「交通と地球温暖化」を使用。
- ・ 実施した教科は、生活科と道徳。

○鶴巻小学校 関先生

- ・ 昨年度同様の授業を実施。
- ・ 公共交通が自家用車を使うよりも環境に良いということを学習した上で、校外学習でバスを使って出かけるという取り組みを実施。
- ・ 教材は「公共交通について」「紙芝居」を使用。
- ・ 学校の地理的な問題により、頭で車を使うよりも公共交通を利用した方が良いということが分かっていても、休日に何を使って出かけるのかというと、だいたいクルマという風になってしまうことが課題だった。

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 理科の科目で実施。
- ・ 1 時間目に、実験を通して二酸化炭素には温室効果があり、それによって地球に様々な問題が引き起こされているという問題を把握する。
- ・ 2 時間目に、様々な種類のクルマの排気ガス測定。
- ・ 3 時間目にエネルギーバッグを使用し、修学旅行にて行った岩手県まで自動車で移動する場合とバスで移動する場合の二酸化炭素排出量の違いを体感。

<意見交換>

○仙台市 丹野主任

- ・ 実際にモデル授業を実施して、準備・計画の段階で困ったこと、違和感があったこと等はなかったか？

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 交通環境学習の「交通環境」の捉え方が、「地球環境」なのか、「広く交通状況等も含めた交通環境(整備状況等)」なのかが分からなかった
- ・ 小学校でやるとすると、環境学習が理科か総合的な学習にて取り組めるが、整備状況等となると難しい。

○仙台市 丹野主任

- ・ 整備状況という言葉は、バスの運行頻度とか路線の有無などを意味し、その状況によっては、交通弱者が困るといった内容の学習も実施してはどうかという意味である。

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 小学校の学習内容の中にはそういった内容の単元が無い。

○鶴巻小学校 関先生

- ・ 最初何をすれば良いのかイメージがわかなかった。
- ・ 色々な公共交通について小学生のうちから学習することは、すごく大事な学習であると思った。

○仙台市 丹野主任

- ・ 交通環境という言葉が明確にイメージできるものがあると分かりやすいということか？

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 学習指導要領と関連させ、どの単元でやるかも明確にしてもらえるとやりやすい。

○仙台市 丹野主任

- ・ 村松先生からも「この教科にも組み込める」というよりも、「この教科で使うと良い」と最初から

指定してもらった方が、取り入れやすいという意見を頂いていた。

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 仙台市の教育部で防災教育プロットという冊子を作った。
- ・ 防災教育もどの教科領域にも無いが、どの教科でやるか又はどの時間でやるのかを明記している。

○仙台市 丹野主任

- ・ 年間の指導計画を立てる時期というのは？

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 4月から始めて1年間。
- ・ 今年度を踏まえながら来年度の方針を決めていくが、学習自体は大きくは変わらない。

○仙台市 丹野主任

- ・ 交通環境学習を盛り込んで頂くには、年内・年度内、若しくはもっと早い時期に案内が必要ということか？

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 先生方は必須授業の年間計画を立てるだけで精一杯であり、早い時期に案内があったとしても、盛り込めるとは限らない。

○仙台市 丹野主任

- ・ こちらからの積極的なアプローチが無いと、年間計画に取り入れていくというのは難しいということか。
- ・ どこの学校でも年間計画を立てるスケジュールは同じなのか？

○鶴巻小学校 関先生

- ・ 概ね同じである。

○仙台市 丹野主任

- ・ 交通環境学習のモデル授業が、周囲の先生に興味を持たれたりするケースはあったか？

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 話題に出したことはある。
- ・ よほど強く必要性を感じない限り、先生方が自主的に取り入れることは無いように思う。
- ・ さらに学習指導要領に沿ったものである必要がある。

○仙台市 丹野主任

- ・情報が足りなかった・こんな教材があればこんなことができたのに、というようなことはあったか？
- ・また今回使った教材の有効性等についてはどうか？

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・エネルギーバッグが非常に有効。
- ・夜の地球も非常に有効。
- ・二酸化炭素による温室効果について調べる実験方法がなかなか見つからなかった。精度が高く、なお且つ小学校でもできるような良い実験方法があれば、環境の学習とピッタリ合い、6年生の理科の授業に組み込んでいけると感じた。

○鶴巻小学校 関先生

- ・紙芝居が分かりやすかった。
- ・次やるとすれば、実際に二酸化炭素の排出量が違うのだよということを体感すること。
- ・何の教科と結びつけていいかというところで非常に迷った。総合の枠で実施したが、地球環境となると、結びつけられる学年とそうでない学年が出てくる。

○仙台市 丹野主任

- ・アンケートをパッケージに含め、復習確認するための教材の一つとして取り扱うことについてどう考えるか？

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・集計はどうするのか？

○仙台市 丹野主任

- ・授業の内容によって質問の内容が変わってくるため、カスタマイズする必要がある。

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・効果測定のためであれば、有効かと思う。
- ・アンケートを学習評価に使うということは難しい。

○仙台市 小野寺技師

- ・昨年のお話であるが、授業参観でモデル授業を実施し、保護者会はその授業に対する反応として何かあったか？

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・子供と一緒に話題にしたという意見が多く、親に対して広めていくという上での効果は高いかと思う。

○仙台市 丹野主任

- ・ アンケートの中に、補足説明が必要な難しい質問は無かったか？

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 特に無かった。
- ・ 保護者アンケートについては、児童の話を聞いて推測しながら回答をしているので、正確に伝わっているかどうか不安なところ。

○仙台市 丹野主任

- ・ 鶴巻小学校 4 年生について、バスに乗った後の印象が、去年と同様「つらい」「嫌い」「つまらない」という方へ傾いているが、そのあたりについてはどうか？

○鶴巻小学校 関先生

- ・ 今年は 2 台用意して頂いたので、去年よりはつらいということは無いと思う。
- ・ 環境について、かなり子供の中ではバスや電車の方が環境にはやさしいということが伝わっているなどという感じはする。

○仙台市 丹野主任

- ・ 手引き案についてはどうか？
- ・ 家電製品の取扱説明書のように、分厚い説明書と最初に使うための 1 枚ものの簡略版というような形式にブラッシュアップを図ろうとは考えている。

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 1 枚ものというのは？

○仙台市 丹野主任

- ・ お配りしたチラシのようなもの。

○仙台市 小野寺技師

- ・ これは各学校へ 2 回くらい送っている。

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ こんなことをやっていますよという案内なのか、こういうことをやってみませんかという呼びかけなのかが明確ではない。
- ・ 文字情報は少なくして、パッと印象付けた方が良い。
- ・ 回覧の量が半端ではなく、休み時間の 5 分とか 10 分くらいの間に見るため、基本的には目を通さない。分量が多ければなおさら。

○鶴巻小学校 関先生

- ・ 私も回覧が結構あるが、やはりあまり見ない。

○虹の丘小学校 飯野先生

- ・ 効果が大きく載っていて、そこに写真とグラフが載っていると。それで数行詳細が書いてあるという程度が良いと思う。
- ・ 例えば、「地球環境についてより深く理解できる」と冒頭にあり、「効果測定のグラフ」があって、「地球環境について学習している写真」を添付すれば、そういう学習なんだと一発で分かる。

○仙台市 丹野主任

- ・ 菊池先生、吉村先生からは何か無いかな？

○吉村先生

- ・ 狙いを明確にするということ。
- ・ これをやるとうとう効果があるか、どんなメリットがあるのか等も示していけたらと思う。
- ・ 現行の指導要領の内容とどうつながるか、冊子を利用して案内すべき。

○仙台市 丹野主任

- ・ 菊池先生の方から何か無いかな？

○菊池先生

- ・ 小学校の先生方に広報する時には、「交通環境学習」タイトルの学習というのを取りたい。
- ・ 例えば「交通環境の教材を使ってみませんか？」という形にして、どこで使えるのかなというのが中に書く。
- ・ 交通環境＝地球環境と交通、という内容に絞るべき。町の持続可能性という意味の環境は小学校の単元に結びつけるのは厳しい。
- ・ 目次を工夫し、逆引き的に使えるものはどうか。
- ・ 自動車への依存問題に関しては手引きからは抜くべき。若しくは最後の付録程度にすべき。

○仙台市 丹野主任

- ・ 手引きの改良版を1月の委員会の方でお示しできればと考えている。
- ・ 全般的なところで意見、質問はあるかな？

○菊池先生

- ・ アンケート結果の載せ方については相談させて欲しい。
- ・ 場合によってはデータを使わせて頂きたい。

○仙台市 丹野主任

- ・ 終了の挨拶。

【参考資料】児童・保護者アンケート調査票及び結果

1. 虹の丘小学校(2年生)

1) 使用した調査票
(1) 児童用

地下てつ についてのクイズ

2年 組 (なまえ)

1. 下のしゃしんは、券売機(きっぷを買うきかい)です。お金を入れるところは○△口のうちどこかな?こたえのところに書いてみよう。



こたえ


2. 下のしゃしんは、地下てつの改札です?マークのところにマークがでます。とおれるマークは、①番と②番どっちかな?こたえのところに正しいと思うばんごうを書いてみよう。



①番



②番



こたえ

3. 運賃表が下のようになっています。地底の森ミュージアムへ行くには八乙女駅から長町南駅まで地下てつにのるよ。みんな(こども)がはらう運賃はいくらかな?

地下鉄運賃表

泉中央	200 [100]	バス 310 [160]
八乙女 (当駅)	200 [100]	
黒松	200 [100]	バス 310 [160]
旭ヶ丘	240 [120]	バス 350 [180]
台原	240 [120]	バス 350 [180]
北仙台	240 [120]	バス 350 [180]
北四番丁	240 [120]	
勾当台公園	290 [150]	
広瀬通	290 [150]	
仙台	290 [150]	
五橋	290 [150]	
愛宕橋	290 [150]	
河原町	320 [160]	
長町一丁目	320 [160]	
長町	320 [160]	バス 430 [220]
長町南	350 [180]	バス 460 [230]
富沢	350 [180]	

[] はこども運賃
 はバスのりつき運賃

こたえ 円

4. 電車（地下てつ）ではどうするのかな？

やってよいことには ○ を やってはいけないことには × をつけよう。

電車（地下てつ）の ゆうせんせき では？



こたえ

電車に のるときは？



こたえ

5. 北きよくや、南きよくにいるシロクマやペンギンについての下の文をよみ、それが正しいばあい

○ を、まちがっているばあいには × をつけよう。

5-1. 氷がとけ、住むところが少なくなってしまう、

シロクマやペンギンが困っている。

こたえ

5-2. クルマなどののりものから出る排気ガスがわるさをして、

地球の気温が上がり、氷がとけている。

こたえ



6. みんなのことについてききます。

6-1 休みの日によく使うのりものは何ですか？1 つえらんで○をつけよう。

クルマ ・ バス ・ 電車（地下てつ） ・ じてんしゃ ・ 使わない（歩く）

6-2 「バスや電車（地下てつ）での いどう」は好きですか？

答： とても好き ・ 好き ・ どちらでもない ・ きらい ・ とてもきらい

6-3 おうちの人といっしょに地下てつでおでかけしたいかな？1 つえらんで○をつけよう。

① おでかけしたい ② ちょっとむずかしい ③ おでかけしたくない

(2) 保護者用

虹の丘小学校 保護者各位

小学校における交通環境学習に関するアンケート調査

仙台市交通環境学習推進委員会では交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受け、公共交通を利用した快適なまちづくりを実現するために、小学生への交通環境学習の普及を検討しております。この度は虹の丘小学校のご厚意のもと、授業の一環としまして小学校への交通環境学習プログラムを実施させていただきました。

今回の虹の丘小学校での取組をさらに全市的な取組として発展させるためにも、ご家族の皆さまにアンケート調査を実施させていただき、今後の授業の改善に活用していきたいと考えております。

お忙しい所、恐れ入りますがご協力くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

仙台市交通環境学習推進委員会

委員長 菊池 輝

東北工業大学 工学部 准教授

○本日の授業内容について、お子様とどのようなお話をされましたか？

該当する番号全てに○をつけてください。

1. 電車(地下鉄)の乗り方・降り方

2. 電車(地下鉄)のマナー

3. 電車(地下鉄)のすごいところ

4. シロクマやペンギンの状況について。

5. 電車(地下鉄)でのおでかけ

6. その他

7. 特に話さなかった

○お子様とのおでかけでのバスや電車、クルマの利用状況を教えてください。

該当する番号1つに○をつけてください。

バス：(①毎日 ②週に1~2回 ③月に1~2回 ④年に1回以下)

電車：(①毎日 ②週に1~2回 ③月に1~2回 ④年に1回以下)

クルマ：(①毎日 ②週に1~2回 ③月に1~2回 ④年に1回以下)

○今回校外学習でバスを利用したことで、今後お子様とのバスや電車に乗車する機会は増えると思いますか？

1. 増えると思う

2. 少し増えると思う

3. 変わらない

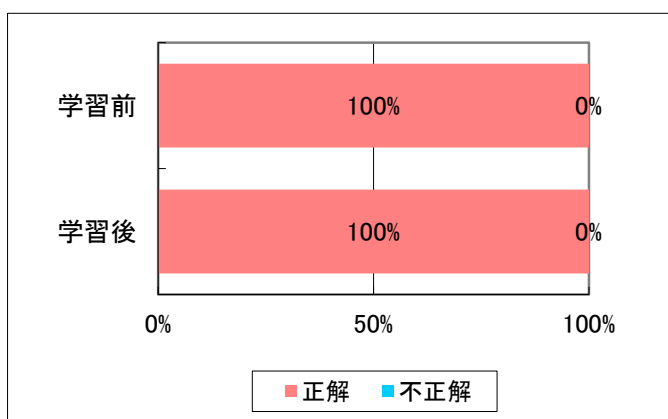
4. 減ると思う

2) 分析結果

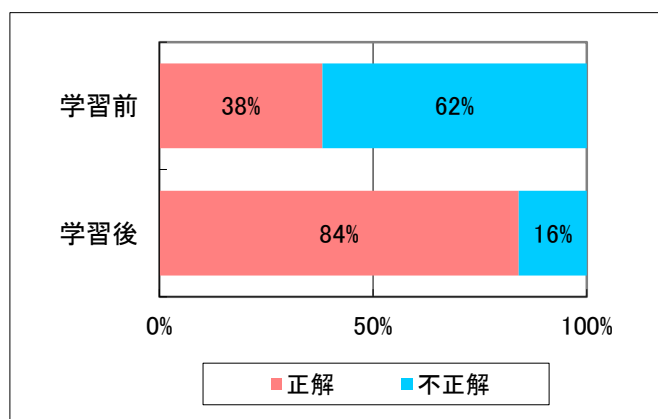
(1) 児童

- ・ バスのリテラシー、特に運賃箱のどこに運賃を入れるかというところでは、授業後に大きく理解度が向上している。
- ・ バスマナーに関しては、授業以前より理解があり、授業による理解度の向上はみられない。
- ・ 今後おうちの人とバスを使ってお出かけしたいかという利用意欲は、授業前後で大きく変わらなかったが、内訳をみると、バスが環境にやさしいと理解している児童ほど意欲は高く、環境についての授業実施による利用意欲向上が見込める。

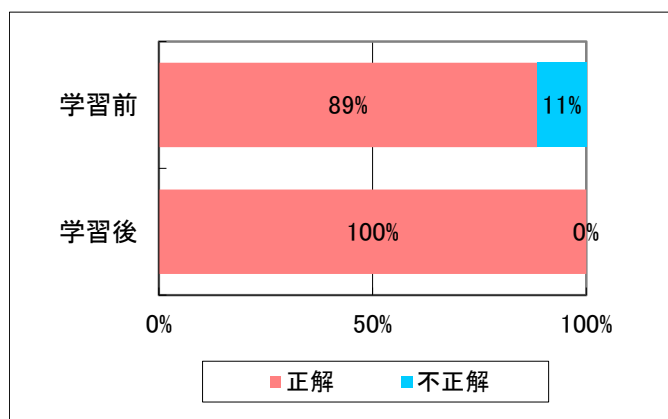
問 1. お金を入れるところはどこかな？



問 3. みんな（こども）がはらう運賃はいくらかな？

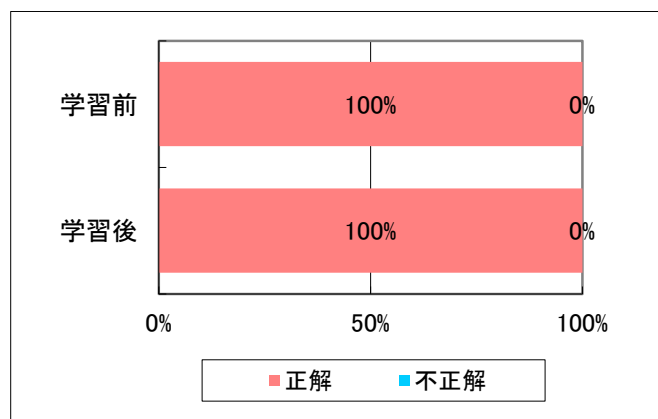


問 2. とおれるマークはどっちかな？

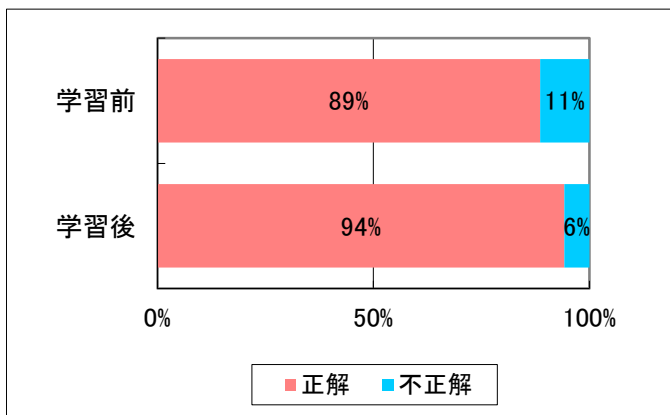


問 4. でん車ではどうするのかな？

でん車（地下てつ）のゆうせんせきでは？

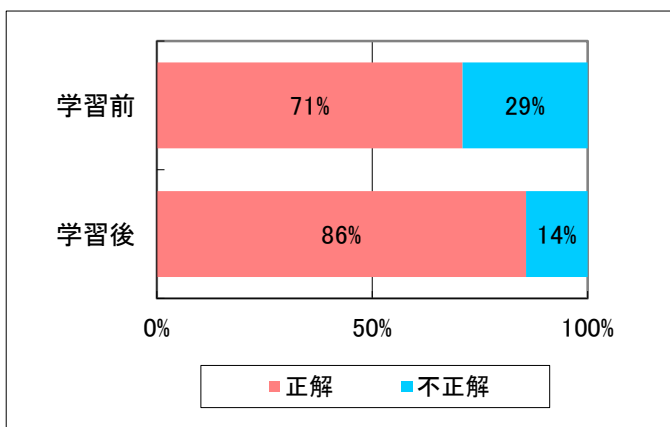


でん車にのるときは？

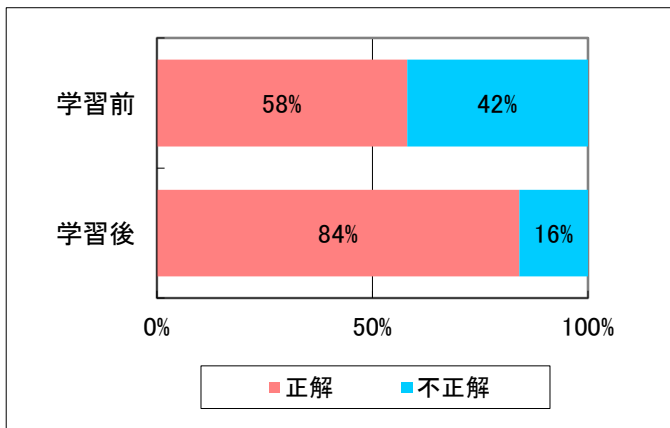


問 5. シロクマやペンギンについて

① 氷がとけ、住むところが少なくなってしまい、シロクマやペンギンが困っている。

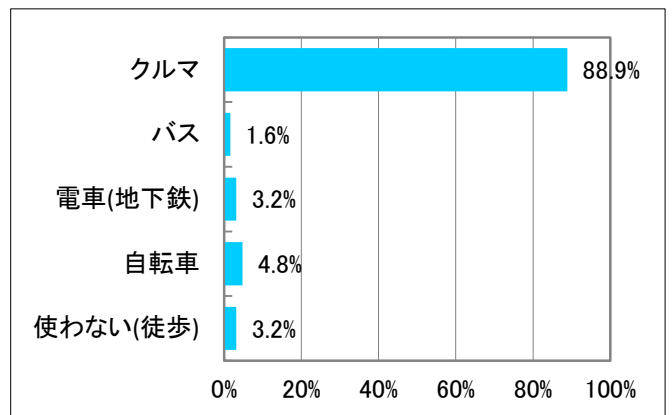


② 排気ガスがわるさをして、地球の気温が上がり、氷がとけている。

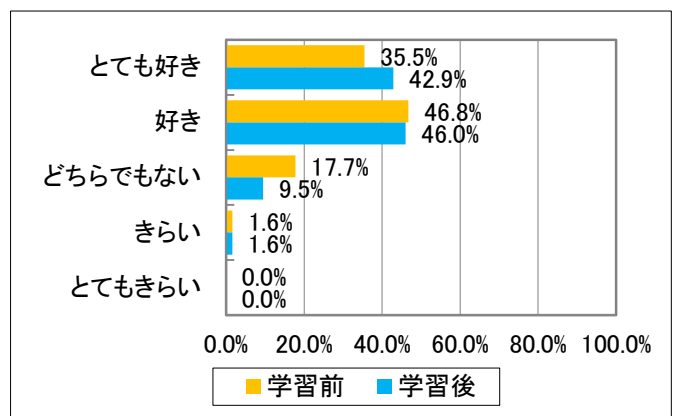


問 6. みんなのことについてききます。

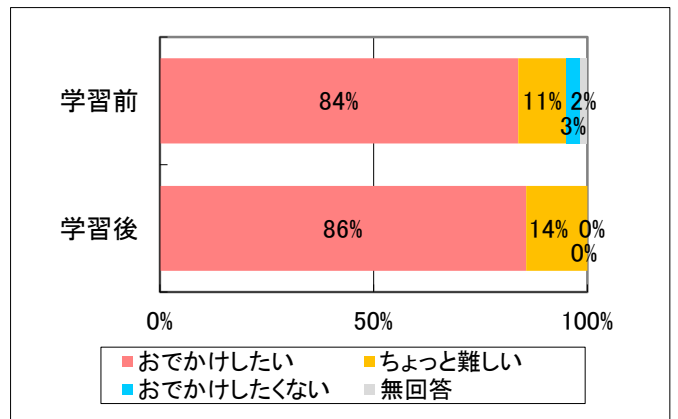
① 休みの日によく使うのりものは何ですか？



② 「バスやでんしゃ(地下鉄)でのいどう」は好きですか？

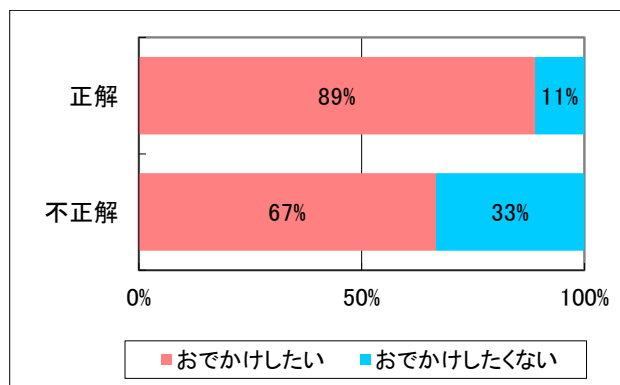


③ おうちの人といっしょにバスでおでかけしたいかな？

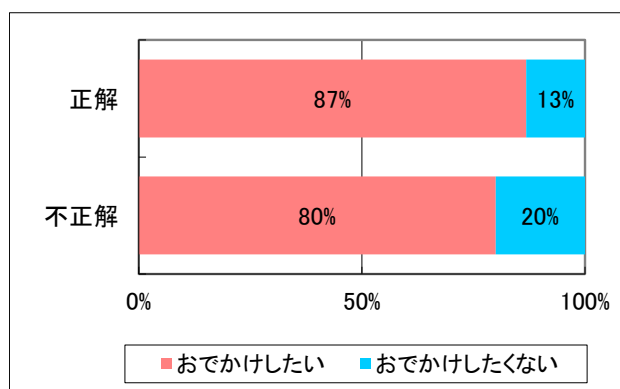


【クロス集計】

問5.①「シロクマやペンギンが困っている」の正誤別に見た、今後のバス利用意欲



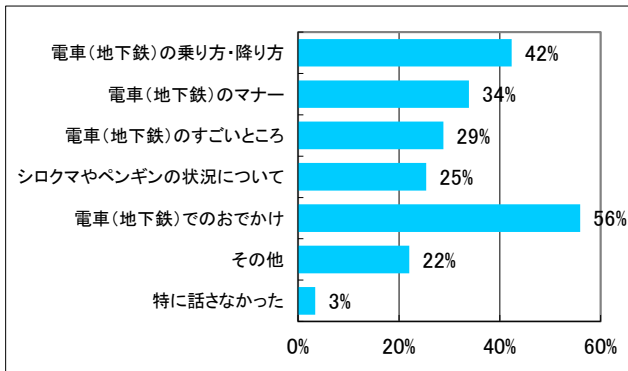
問5.②「地球の気温が上がり、氷がとけている」の正誤別に見た、今後のバス利用意欲



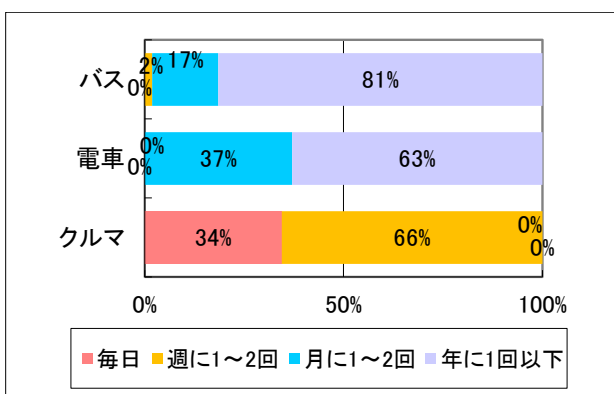
(2) 保護者

- ・ 電車(地下鉄)でのおでかけについて話をしたという家庭が約6割と最も多い
- ・ 次いで電車(地下鉄)の乗り方・降り方について約4割と多い
- ・ 特に話さなかったと回答した家庭は3%と少ない
- ・ 授業後子供と何かしら話をしている保護者は、今後公共交通利用機会が増えるであろうと回答する割合が高くなっている

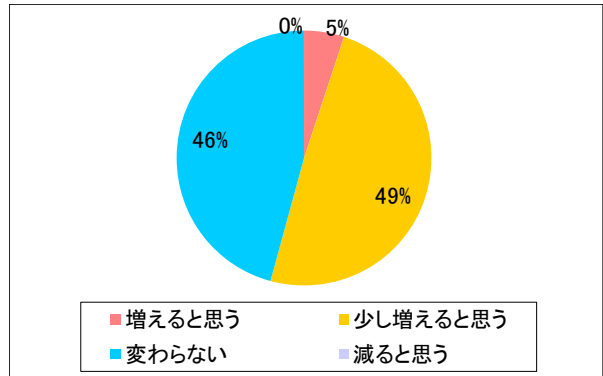
問1. 交通環境学習を終えて、お子様とどのようなお話をされましたか？



問2. お子様とのおでかけでのバスや電車、クルマの利用状況

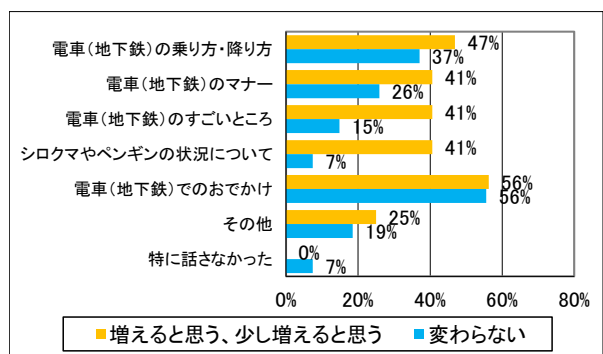


問3. 今後お子様との外出時における、バスや電車に乗る機会



【クロス集計】

① 学習後に子供とした話の内容別、今後の公共交通利用機会



2. 鶴巻小学校(4年生)

1) 使用した調査票

(1) 児童用

鶴巻小学校(4年生)用

公共交通(バス・地下鉄)についてのアンケート

4 年 組 (名前) _____

1. あなたのことにについて聞きます。それぞれの質問で、あてはまる答えに○を付けてください。

① 普段のお休みの日によく使う移動手段はなんですか？(クルマとは、自由に乗って移動できるような、主に自家用車のことをいいます。)

答: クルマ ・ バス ・ 電車(地下鉄) ・ 自転車 ・ 使わない(徒歩)

② 「クルマでの移動」は好きですか？

答: とても好き ・ 好き ・ どちらでもない ・ 嫌い ・ とても嫌い

③ 「クルマでの移動」は楽しいですか？

答: とても楽しい ・ 楽しい ・ どちらでもない ・ つまらない ・ とてもつまらない

④ 「クルマでの移動」は快適ですか？

答: とても快適 ・ 快適 ・ どちらでもない ・ つらい ・ とてもつらい

⑤ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は好きですか？

答: とても好き ・ 好き ・ どちらでもない ・ 嫌い ・ とても嫌い

⑥ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は楽しいですか？

答: とても楽しい ・ 楽しい ・ どちらでもない ・ つまらない ・ とてもつまらない

⑦ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は快適ですか？

答: とても快適 ・ 快適 ・ どちらでもない ・ つらい ・ とてもつらい

⑧ 家の近くにバス停や電車(地下鉄)の駅はありますか？

答: 両方ある ・ バス停がある ・ 駅がある ・ どちらもない

⑨ 一人でバスや電車(地下鉄)に乗ることができますか？

答: はい ・ いいえ

2. 以下の地球環境^{ちきゅうかんぎょう}についての話を知っていますか？それぞれあてはまるものをひとつえらんで○をつけてください。(※聞いたことがある＝内容は知らないが話だけは聞いたことがある)

2-1. みんながバスなどの公共交通を使えば、クルマの数が減り、道が渋滞^{じゅうたい}しにくくなる。

よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない

2-2. クルマ、バスなどを動かす時には、排気ガス^{はいきガス}が出る。

よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない

2-3. 排気ガス^{はいき}は、地球温暖化^{ちきゅうわんげんか}の原因の一つである。

よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない

2-4. クルマに比べ、バスや電車(地下鉄)は一度に大勢の人を運べるので、一人あたりの排気ガス^{はいき}を出す量は少なくなり、環境^{かんぎょう}にやさしい。

よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない

裏面につづく

※設問2については①～④について、「よく知っている」から順に1, 2, 3, 4と点数を付し、合計点が6点以下を「よく知っている」、7～10点を「少し知っている」、11～13点を「聞いたことはある」、14点以上を「知らない」と分類し、集計している

3. 地球温暖化が進むと、身の回りでどのようなことが起こるでしょうか？あてはまるものの番号に○をつけてください。いくつ選んでもかまいません。

- ①暑い日が増えて、熱中症にかかりやすくなる。
- ②ミカンやお米がおいしくなくなる（育たなくなる）。
- ③暑い地域では育つことができない植物もあるため、森林が減少する。
- ④外国にしかなかったような病気が日本でも流行する。
- ⑤激しい風雨が増加し、洪水が起こりやすくなる。

4. 今後、家族とお出かけする時のことについて聞きます。

4-1. バスや電車（地下鉄）を使おうと思いますか？ひとつえらんで番号に○をつけてください。

- ①できるだけ両方とも使おうと思う
- ②バスならできるだけ使おうと思う
- ③電車（地下鉄）ならできるだけ使おうと思う
- ④両方ともあまり使わないと思う

4-2. 質問4-1で①～③を選んだ人に聞きます。理由はなぜですか？あてはまるものの番号に○をつけてください。いくつ選んでもかまいません。

- ① バスに乗ることが楽しいから。
- ② 電車（地下鉄）に乗ることが楽しいから。
- ③ 地球環境にやさしいから。
- ④ 利用者が減ると、バスや電車（地下鉄）も減り、お年寄り・子供・けが人など、自分で車を運転できない人が困るから。
- ⑤ たくさんの人が一緒に移動できるから。
- ⑥ クルマに比べ事故をおこす心配が少ないから。
- ⑦ クルマばかり使っていると運動不足になってしまうから。
- ⑧ みんながクルマを使うと、クルマの数が増え道路が渋滞してしまうから。
- ⑨ その他（ _____ ）

4-3. 質問4-1で④を選んだ人に聞きます。理由はなぜですか？あてはまるものの番号に○をつけてください。いくつ選んでもかまいません。

- ① バス停や駅でしか乗り降りできず、好きなところに行けないから。
- ② お金がかかるから。
- ③ バス停や駅が遠いところしかないから。
- ④ 乗り方が難しいから。
- ⑤ 出発時刻を選べないから。
- ⑥ 知らない人がたくさん乗ってくるから。
- ⑦ マナーを守らなければいけないから。
- ⑧ その他（ _____ ）

5. あなたはバスや電車（地下鉄）はクルマよりも便利だと思えますか？不便だと思えますか？あてはまるものに○をつけてください。

便利だと思う ・ 不便だと思う ・ どちらでもない

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

事後のみ

5. 今回の課外学習を終えてからのことについて聞きます。

5-1. 今回の課外学習について、お家の人と話をしましたか？ 答： はい ・ いいえ

5-2. 質問5-1で「はい」を選んだ人に聞きます。おうちの人とどんなことを話しましたか？

あてはまるものの番号に○をつけてください。 いくつ選んでもかまいません。

- ① バスや電車（地下鉄）の乗り方、降り方について。
- ② バスや電車（地下鉄）でのマナーについて。
- ③ バスや電車（地下鉄）でのお出かけについて。
- ④ 車・バス・電車（地下鉄）と、地球の環境問題（かきくわんたい）の関係について。
- ⑤ バスや電車（地下鉄）を利用している（利用していた）人たちについて。
- ⑥ その他（ _____ ）

(2) 保護者用

鶴巻小学校(4年生)用

鶴巻小学校 保護者各位

小学校における交通環境学習に関するアンケート調査

仙台市交通環境学習推進委員会では交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受け、公共交通を利用した快適なまちづくりを実現するために、小学生への交通環境学習の普及を検討しております。この度は鶴巻小学校のご厚意のもと、授業の一環としまして小学校への交通環境学習プログラムを実施させていただきました。

今回の鶴巻小学校での取組をさらに全市的な取組として発展させるためにも、ご家族の皆さまにアンケート調査を実施させていただき、今後の授業の改善に活用していきたいと考えております。

お忙しい所、恐れ入りますがご協力くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

仙台市交通環境学習推進委員会

委員長 菊池 輝

東北工業大学 工学部 准教授

○交通環境学習(事前・事後学習、体験学習)を終えて、お子様とどのようなお話をされましたか？

該当する番号全てに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1.バスや地下鉄の乗り方・降り方 | 2.バスや地下鉄でのマナー |
| 3.バスや地下鉄でのおでかけ | 4.地球温暖化について |
| 5.バスや地下鉄がどういう人の役に立っているか | |
| 6.その他 | |

7.特に話さなかった

○お子様とのおでかけでのバスや電車(地下鉄含む)、クルマの利用状況を教えてください。

該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|---------|---------|-----------|
| バ ス：(①毎日 | ②週に1~2回 | ③月に1~2回 | ④年に1回以下) |
| 電 車：(①毎日 | ②週に1~2回 | ③月に1~2回 | ④年に1回以下) |
| ク ル マ：(①毎日 | ②週に1~2回 | ③月に1~2回 | ④年に1回以下) |

○今回校外学習でバスを利用したことで、今後お子様とのバスや電車(地下鉄含む)に乗車する機会は増えると思いますか？

- | | | | |
|----------|------------|---------|---------|
| 1.増えると思う | 2.少し増えると思う | 3.変わらない | 4.減ると思う |
|----------|------------|---------|---------|

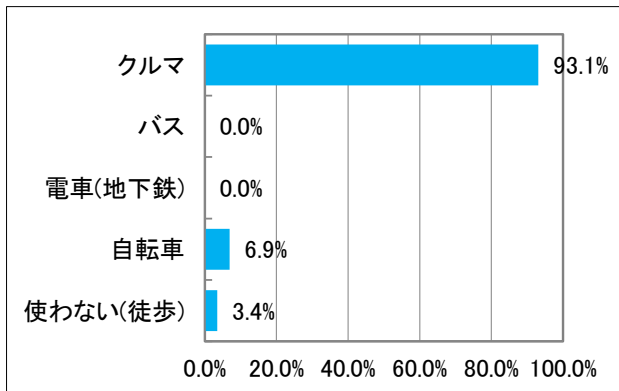
2) 分析結果

(1) 児童

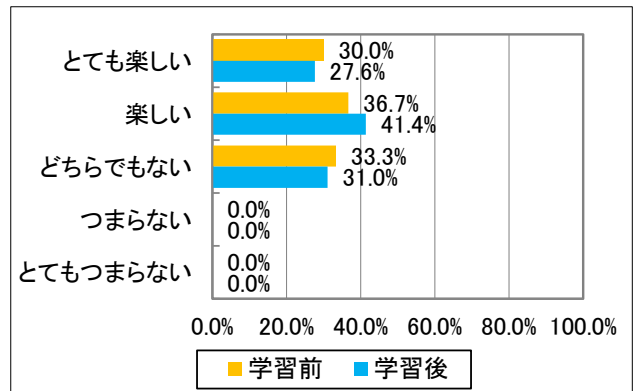
- ・ 公共交通を利用した移動について、学習後に「嫌い」「つらい」「つまらない」という回答が増加している。マナーを守らなければならない、大人数で乗ることで自由度が下がる等ということがマイナスの印象を与えていると考えられる。
- ・ 一方で、学習後できるだけ公共交通を使おうと思う児童が増加している。
- ・ 地球環境や、街中の渋滞についての理解度が増加しており、その理解度が高い児童ほど、今後の公共交通利用意欲が高い結果となっている。公共交通に対し「つらい」「つまらない」とは感じつつも、現在の環境問題を理解した上で、利用しようと考えられるようになったのではないかと考えられる。
- ・ 家庭で家の人と話した内容についても「環境問題について」が約7割で最も多い。

問1. 個人属性について

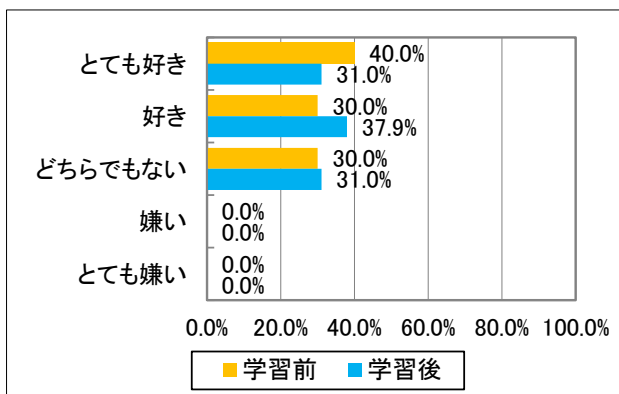
① 休日よく使う交通手段は？



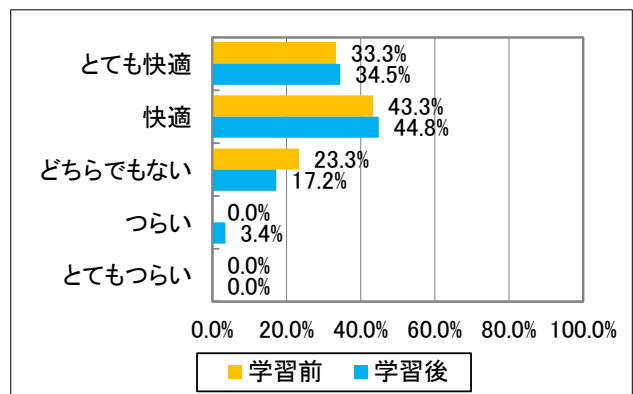
③ クルマでの移動は楽しい？



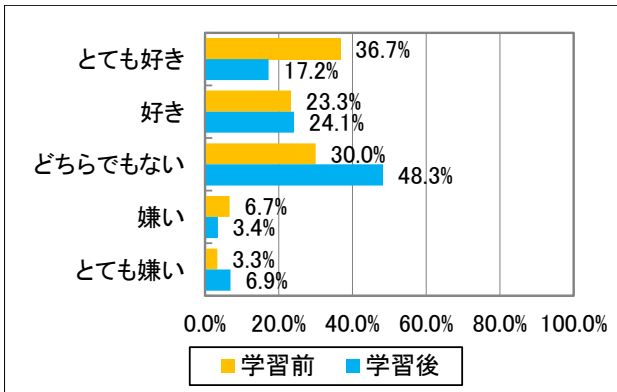
② クルマでの移動が好き？



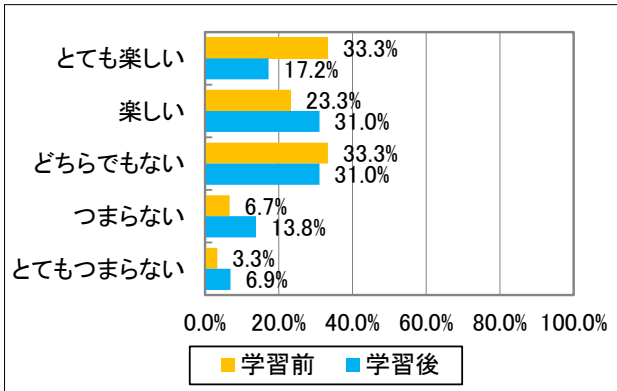
④ クルマでの移動は快適？



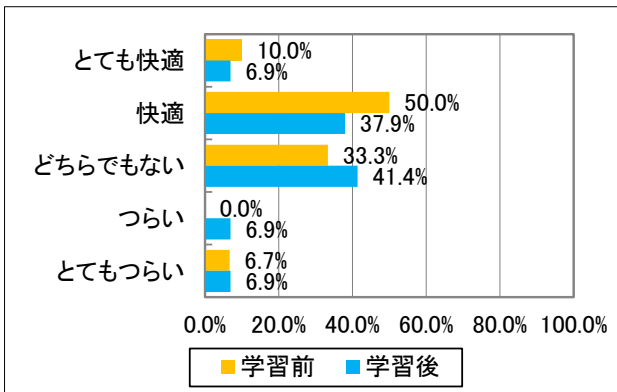
⑤ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は好き？



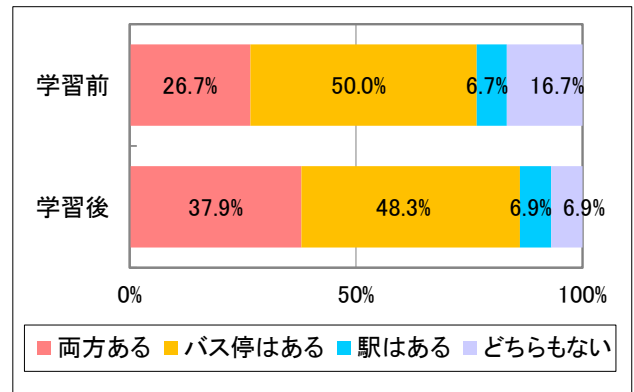
⑥ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は楽しい？



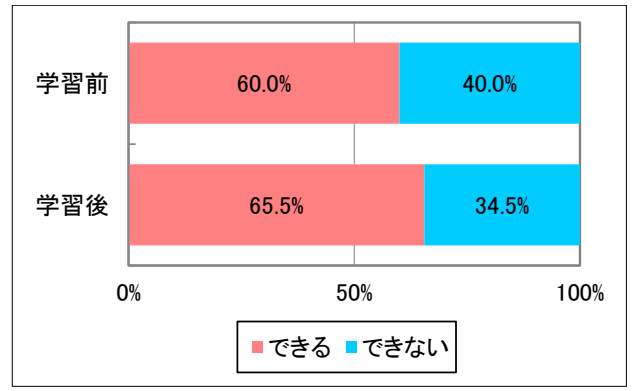
⑦ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は快適？



⑧ 家の近くにバス停や電車(地下鉄)の駅はある？

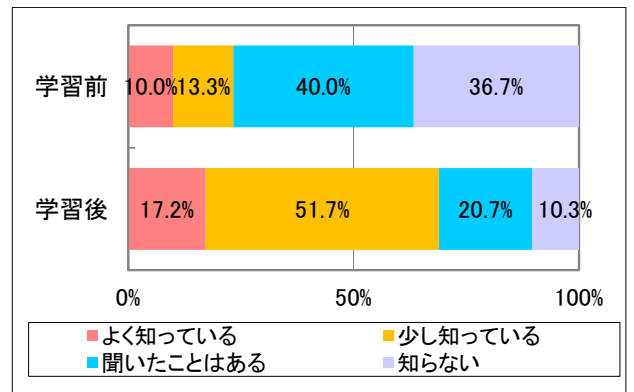


⑨ 一人でバスや電車(地下鉄)に乗ることができる？

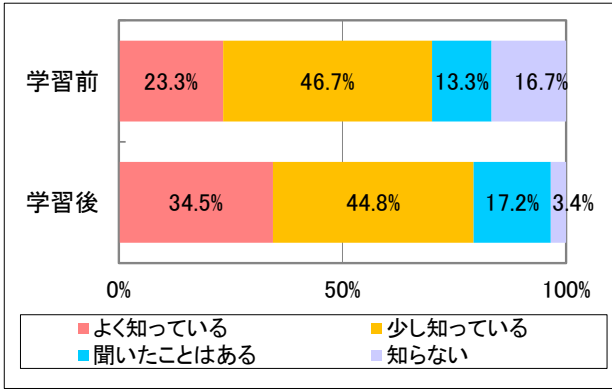


問2. 環境問題について

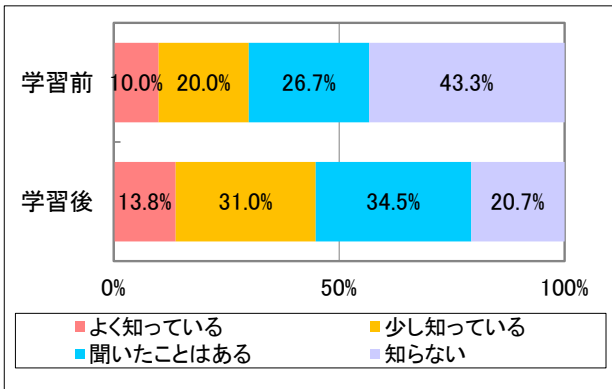
① 公共交通を使えば、道が渋滞しにくくなる。



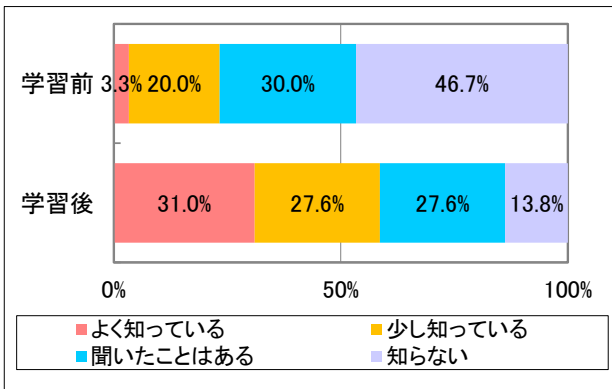
② クルマ、バスなどを動かす時には、排気ガスが出る。



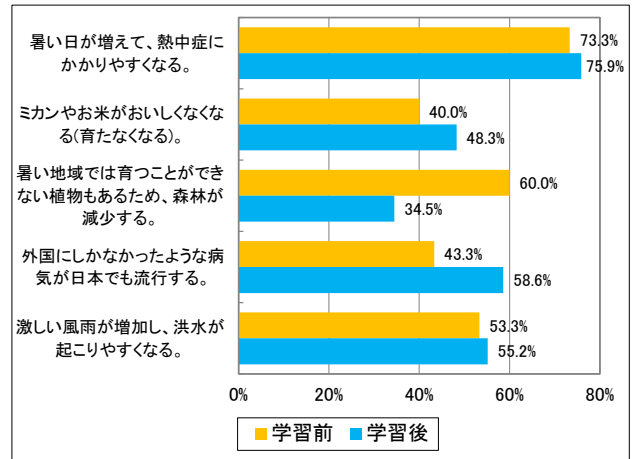
③ 排気ガスは、地球温暖化の原因の一つである。



④ バスや電車(地下鉄)は一度に大勢の人を運べるので、一人あたりの排気ガスを出す量は少なくなり、環境にやさしい。

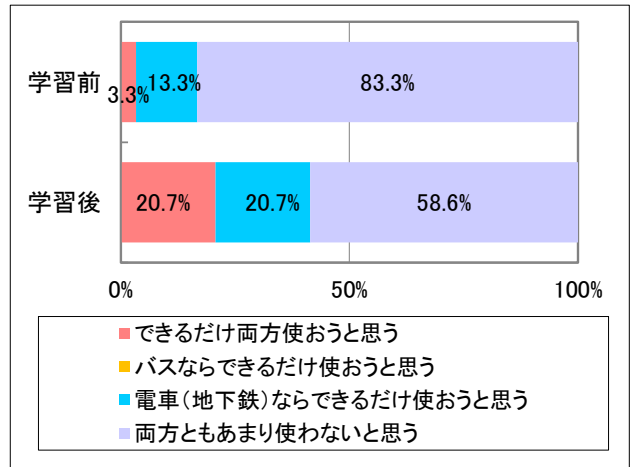


問 3. 地球温暖化が進むと、身の回りでどのような事が起こるでしょうか？

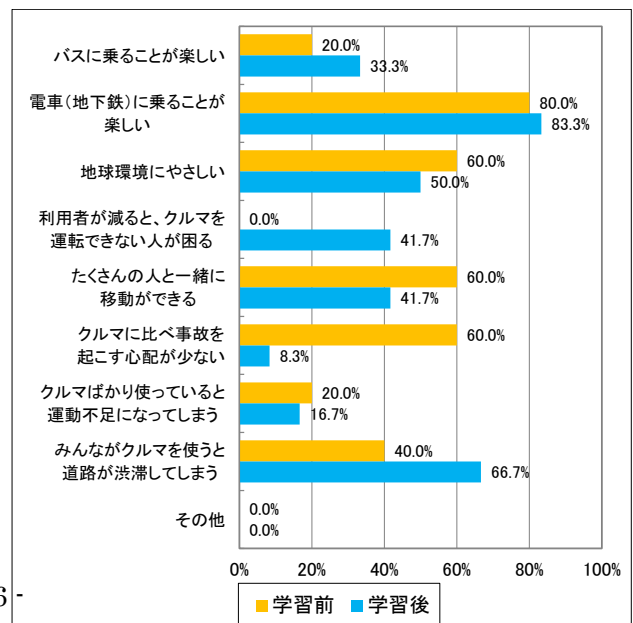


問 4. 今後、家族とお出かけする時について

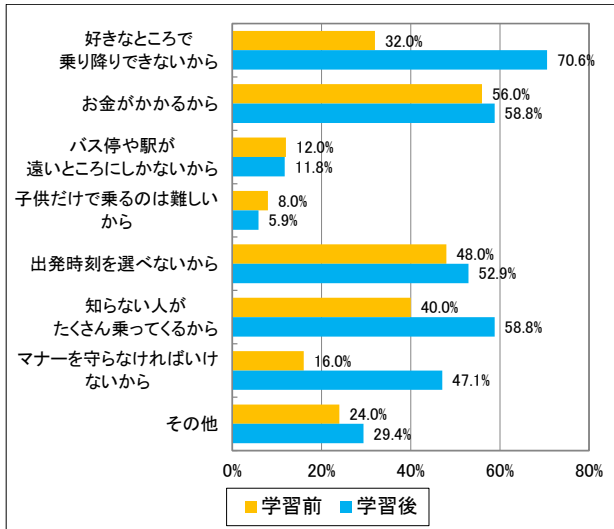
① バスや電車(地下鉄)を使おうと思う？



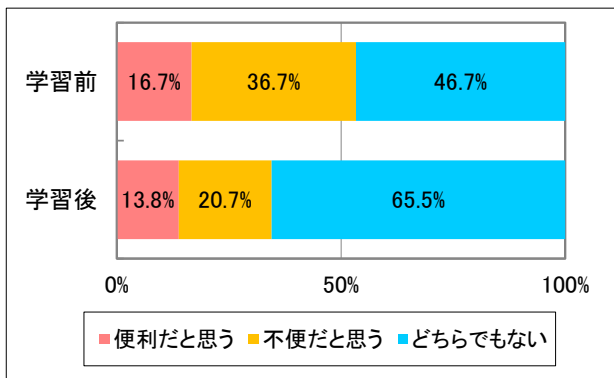
② ①で少なくともどちらかは使おうと思うと答えた理由は？



③ ①でどちらとも使わないと答えた理由は？



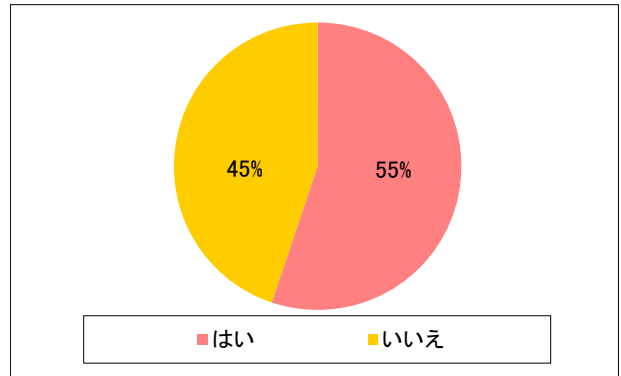
④ バスや電車(地下鉄)はクルマよりも不便だと思うか？



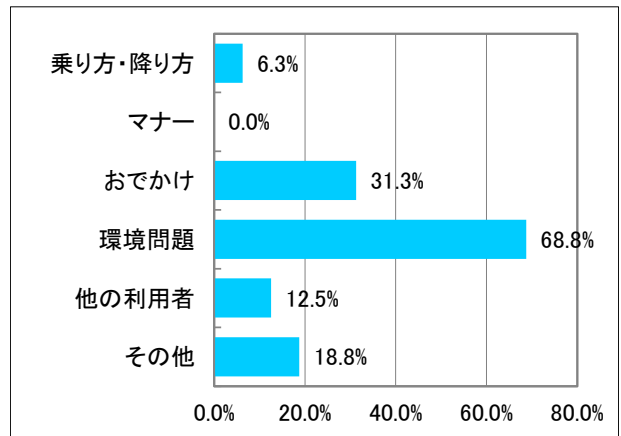
【事後のみ】

問5. 課外学習を終えてからについて

① 今回の課外学習について、お家の人と話をしましたか？

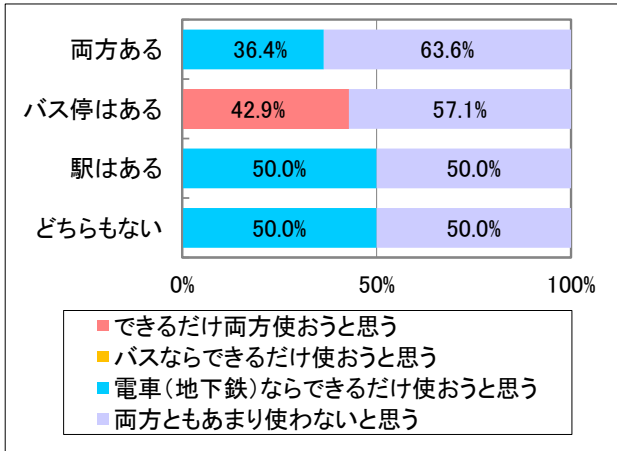


② ①で「はい」を選んだ人は、どんなことを話しましたか？

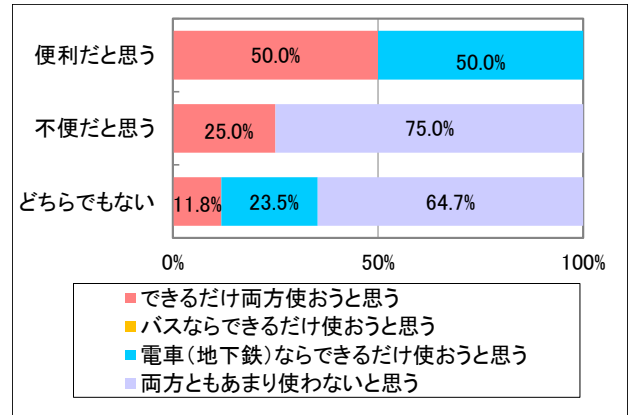


【クロス集計】

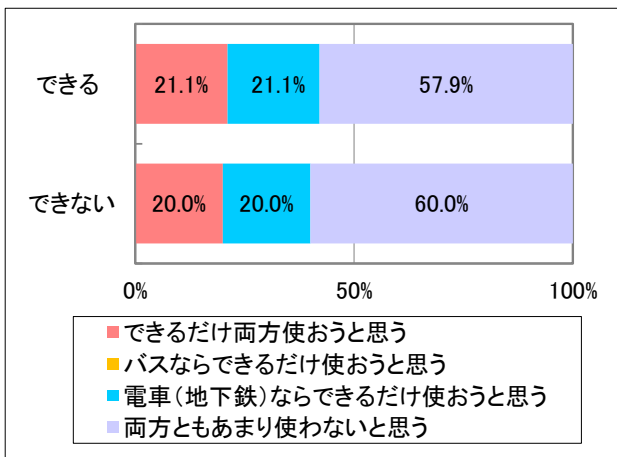
① 居住地周辺の公共交通利便性と利用意欲の関係



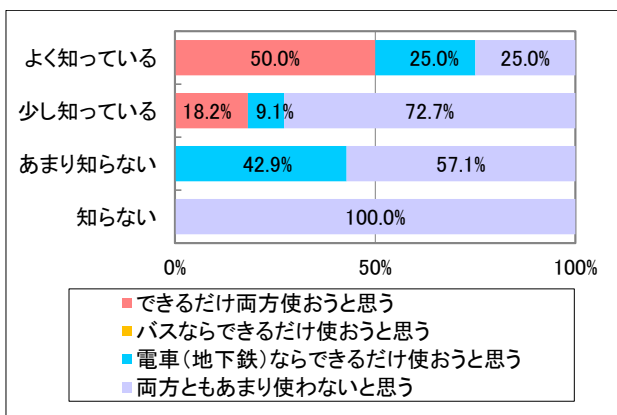
④ 公共交通の利便性の認識と、利用意欲の関係



② 自力で乗車できる・できない別にみた、今後の公共交通利用意欲



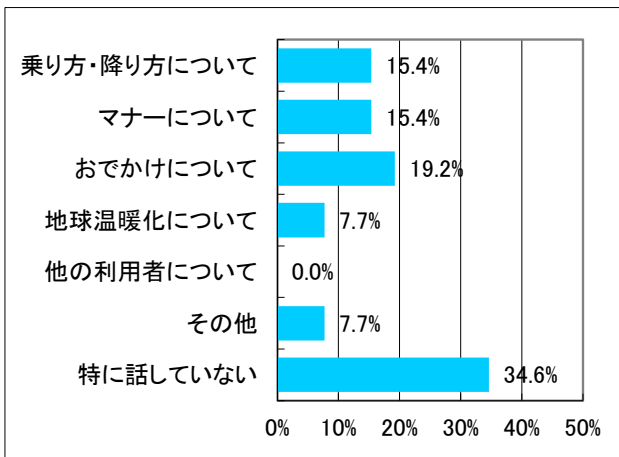
③ 環境に関する知識の有無による、今後の公共交通利用意欲



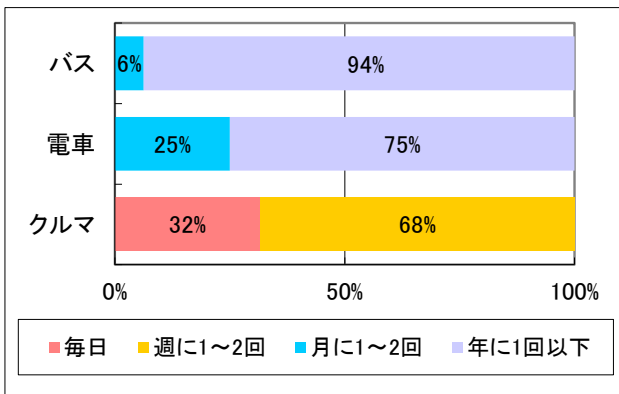
(2) 保護者

- ・ 授業後に何か児童と話をしたという回答が約7割となっている。
- ・ 児童の回答とは異なり、環境面で何か話をしたという保護者の全員が、今後も公共交通の利用状況は変わらないと回答している。
- ・ 一方で今回のバスを利用した葛岡ごみ処理場へのお出かけについて話したという家庭については約4割が今後、公共交通の利用が増えると思うと回答。

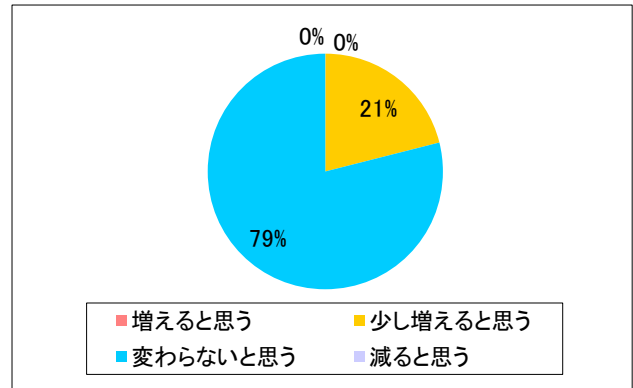
問1. 交通環境学習を終えて、お子様とどのような話をされましたか？



問2. お子様とのお出かけでのバスや電車、クルマの利用状況

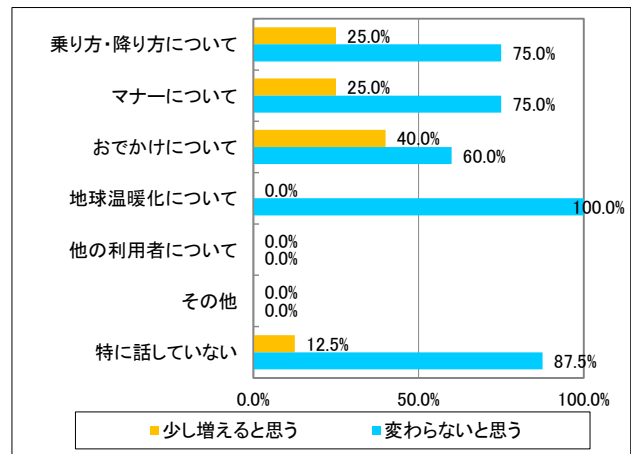


問3. 今後お子様との外出時における、バスや電車に乗る機会



【クロス集計】

① 学習後に子供とした話の内容別、今後の公共交通利用機会



3. 虹の丘小学校(6年生) ※事後のみ回収

1) 使用した調査票

(1) 児童用

公共交通(バス・地下鉄)についてのアンケート

6 年 組 (名前)

1. あなたの事について聞きます。それぞれの質問で、あてはまるものに○を付けてください。

- ① 普段のお休みの日によく使う移動手段はなんですか？(クルマとは、自由に乗って移動できるような、主に自家用車のことをいいます。)

答: クルマ ・ バス ・ 電車(地下鉄) ・ 自転車 ・ 使わない(徒歩)

- ② 「クルマでの移動」は好きですか？

答: とても好き ・ 好き ・ どちらでもない ・ 嫌い ・ とても嫌い

- ③ 「クルマでの移動」は楽しいですか？

答: とても楽しい ・ 楽しい ・ どちらでもない ・ つまらない ・ とてもつまらない

- ④ 「クルマでの移動」は快適ですか？

答: とても快適 ・ 快適 ・ どちらでもない ・ つらい ・ とてもつらい

- ⑤ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は好きですか？

答: とても好き ・ 好き ・ どちらでもない ・ 嫌い ・ とても嫌い

- ⑥ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は楽しいですか？

答: とても楽しい ・ 楽しい ・ どちらでもない ・ つまらない ・ とてもつまらない

- ⑦ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は快適ですか？

答: とても快適 ・ 快適 ・ どちらでもない ・ つらい ・ とてもつらい

- ⑧ 家の近くにバス停や電車(地下鉄)の駅はありますか？

答: 両方ある ・ バス停がある ・ 駅がある ・ どちらもない

- ⑨ 一人でバスや電車(地下鉄)に乗ることができますか？

答: はい ・ いいえ

2. 以下の地球温暖化ちきゅうおんだんかについての話を知っていますか？それぞれあてはまるものをひとつえらんで○をつけてください。(※聞いたことがある=内容は知らないが話だけは聞いたことがある)

- ① 地球温暖化ちきゅうおんだんかという現象について知っている。

よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない

- ② 温室効果ガスというものが地球を取り巻き、宇宙に逃げていく熱を閉じ込め、地球を温めている。

よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない

- ③ クルマやバスから出る二酸化炭素にきゅうあんだんかが、温室効果ガスの一つであると言われている。

よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない

裏面につづく

- ④ 地球温暖化により、2100年までに地球全体の気温は1.1～6.4℃上昇すると予測されている。
よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない
- ⑤ 日本の年平均気温は、1900年頃から上昇してきている。
よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない
- ⑥ 地球温暖化が進むと、氷河などが融けて海面が上昇し、島国では高潮の被害が増えたりするなどの問題がおきる。
よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない
- ⑦ クルマに比べ、バスや電車(地下鉄)は一度に大勢の人を運べるので、大勢で乗ると一人あたりの二酸化炭素を出す量は少なくなり、環境にやさしい。
よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない
- ⑧ バスや電車(地下鉄)でも、乗車人数が少ないと一人あたりの二酸化炭素を出す量は多くなり、環境にやさしいとは言えない。
よく知っている ・ 少し知っている ・ 聞いたことはある ・ 知らない

3. 今後、家族とお出かけする時のことについて聞きます。

3-1. バスや電車(地下鉄)を使おうと思いますか？ひとつえらんで番号に○をつけてください。

- ①. できるだけ両方とも使おうと思う ②. バスならできるだけ使おうと思う
③. 電車(地下鉄)ならできるだけ使おうと思う ④. 両方ともあまり使わないと思う

3-2. 質問3-1で①～③を選んだ人に聞きます。理由はなぜですか？あてはまるものの番号に○をつけてください。いくつ選んでもかまいません。

- ① バスに乗ることが楽しいから。
② 電車(地下鉄)に乗ることが楽しいから。
③ 地球環境にやさしいから。
④ 利用者が減ると、バスや電車(地下鉄)も減り、お年寄り・子供・けが人など、自分でクルマを運転できない人が困るから。
⑤ たくさんの人と一緒に移動できるから。
⑥ クルマに比べ事故をおこす心配が少ないから。
⑦ クルマばかり使っていると運動不足になってしまうから。
⑧ みんながクルマを使うと、クルマの数が増え道路が渋滞してしまうから。
⑨ その他 (_____)

3-3. 質問3-1で④を選んだ人に聞きます。理由はなぜですか？あてはまるものの番号に○をつけてください。いくつ選んでもかまいません。

- ① バス停や駅でしか乗り降りできず、好きなところに行けないから。
- ② お金がかかるから。
- ③ バス停や駅が遠いところにしかないから。
- ④ 乗り方が難しいから。
- ⑤ 出発時刻を選べないから。
- ⑥ 知らない人がたくさん乗ってくるから。
- ⑦ マナーを守らなければいけないから。
- ⑧ その他（ _____ ）

4. あなたはバスや電車（地下鉄）はクルマと比べてどう思いますか？あてはまるものに○をつけてください。

便利だと思う ・ 不便だと思う ・ どちらともいえない

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

事後のみ

5. 今回の学習を終えてからのことについて聞きます。

5-1. 今回の課外学習について、お家の人と話をしましたか？ 答： はい ・ いいえ

5-2. 質問5-1で「はい」を選んだ人に聞きます。おうちの人とどんなことを話しましたか？

あてはまるものの番号に○をつけてください。いくつ選んでもかまいません。

- ① 地球温暖化の原因・現象・被害について。
- ② バスや電車(地下鉄)と地球温暖化の関係について。
- ③ ガソリン車とバスの1人当たり二酸化炭素排出量の違いについて。
- ④ 私たちの暮らしの中で二酸化炭素排出量を削減する方法について。
- ⑤ その他（ _____ ）
- ⑥ 特に話さなかった。

※設問2については①～⑧について、「よく知っている」から順に1,2,3,4と点数を付し、合計点が12点以下を「よく知っている」、13～18点を「少し知っている」、19～25点を「聞いたことはある」、25点以上を「知らない」と分類し、集計している

(2) 保護者用

虹の丘小学校 保護者各位

小学校における交通環境学習に関するアンケート調査

仙台市交通環境学習推進委員会では交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受け、公共交通を利用した快適なまちづくりを実現するために、小学生への交通環境学習の普及を検討しております。この度は虹の丘小学校のご厚意のもと、授業の一環としまして小学校への交通環境学習プログラムを実施させていただきました。

今回の虹の丘小学校での取組をさらに全市的な取組として発展させるためにも、ご家族の皆さまにアンケート調査を実施させていただき、今後の授業の改善に活用していきたいと考えております。

お忙しい所、恐れ入りますがご協力くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

仙台市交通環境学習推進委員会

委員長 菊池 輝

東北工業大学 工学部 准教授

○交通環境学習を終えて、お子様とどのようなお話をされましたか？

該当する番号全てに○をつけてください。

1. 地球温暖化の原因・現象・被害について
2. バスや電車(地下鉄)と地球温暖化の関係について
3. ガソリン車とバスの1人当たり二酸化炭素排出量の違いについて
4. 私たちの暮らしの中で二酸化炭素排出量を削減する方法について
5. その他

6. 特に話さなかった

○お子様とのおでかけでのバスや電車（地下鉄含む）、クルマの利用状況を教えてください。

該当する番号1つに○をつけてください。

バス：(①毎日 ②週に1～2回 ③月に1～2回 ④2、3か月に1回 ⑤年に1回以下)

電車：(①毎日 ②週に1～2回 ③月に1～2回 ④2、3か月に1回 ⑤年に1回以下)

クルマ：(①毎日 ②週に1～2回 ③月に1～2回 ④2、3か月に1回 ⑤年に1回以下)

○今回公共交通についての学習を行ったことで、今後お子様とのバスや電車（地下鉄含む）に乗車する機会は増えると思いますか？

1. 増えると思う
2. 少し増えると思う
3. 変わらない
4. 減ると思う

【理由】

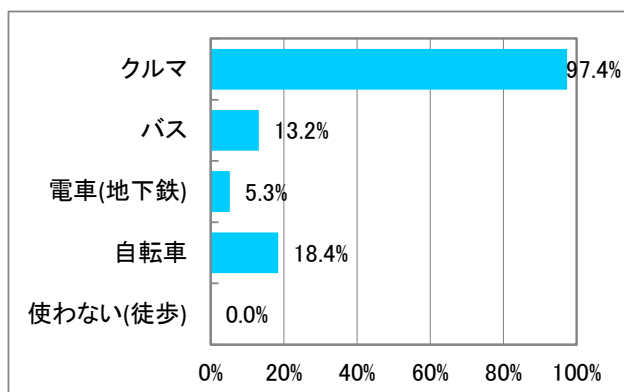
2) 分析結果

(1) 児童

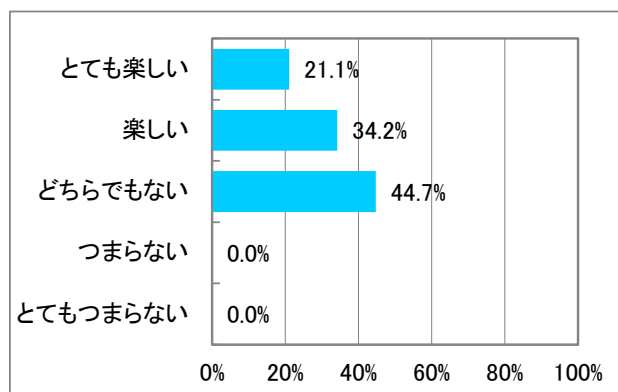
- ・ 今後の公共交通利用意欲についても、利用しようという児童が増加しており、主な理由としては「環境にやさしいから」「みんなが車ばかり使うと渋滞する」等が挙げられている。
- ・ 公共交通が車と比べて、便利だと考える割合が約3割、逆に不便であるとする割合が約1割。どちらでもないが約6割となっており、車に比べて公共交通は不便だと感じている割合は低い。
- ・ 環境に関する知識がある児童ほど、今後の公共交通利用意欲が高い。

問1. 個人属性について

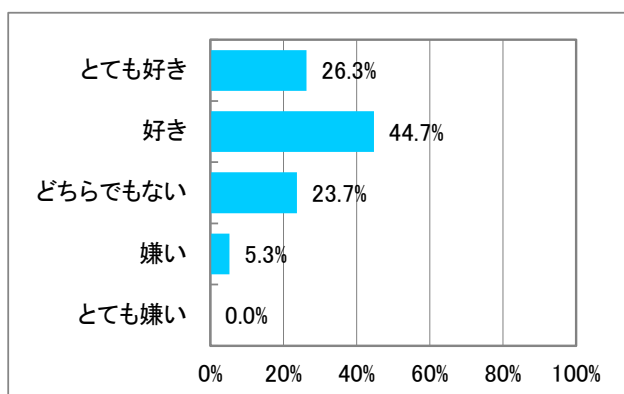
① お休みの日によく使う交通手段は？



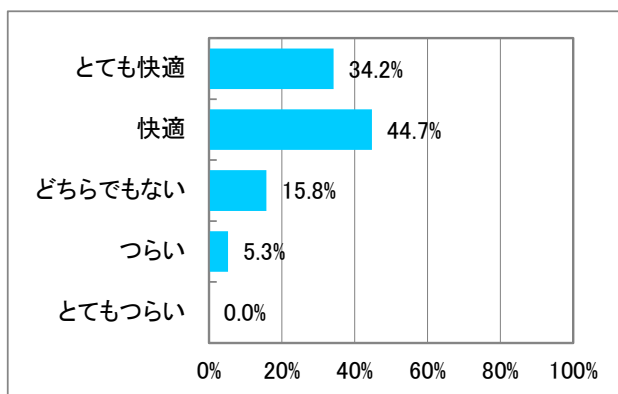
③ 「クルマでの移動」は楽しい？



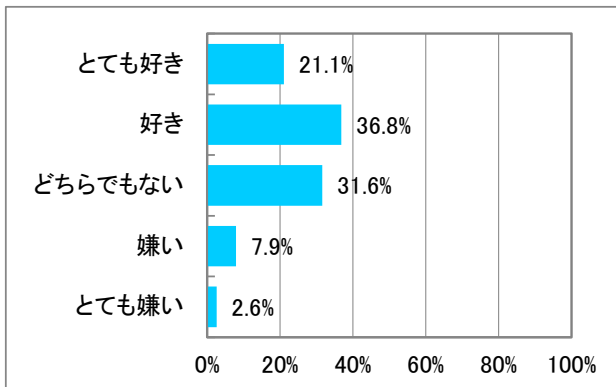
② 「クルマでの移動」は好き？



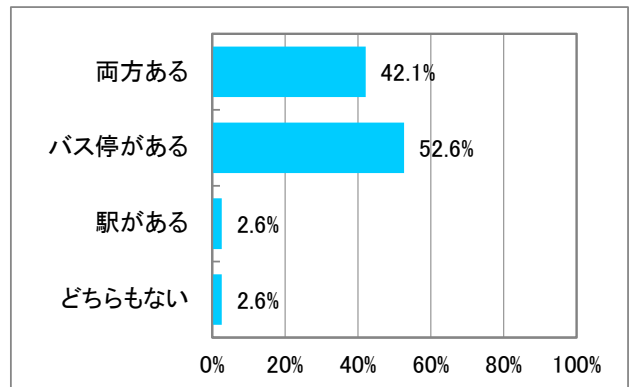
④ 「クルマでの移動」は快適？



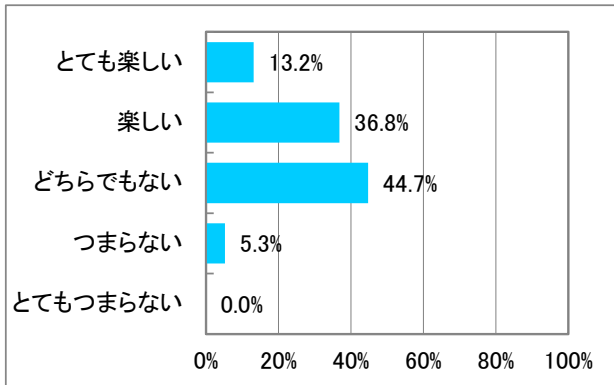
⑤ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は好き？



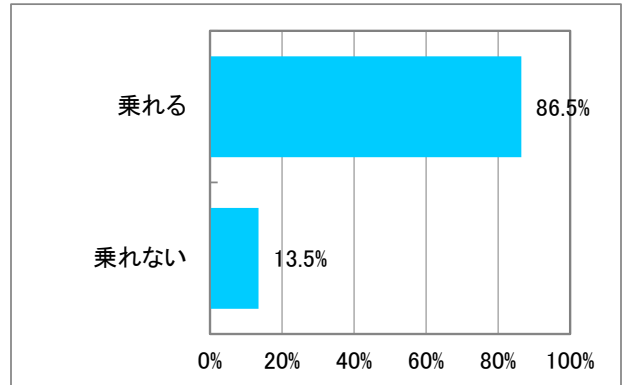
⑧ 家の近くにバス停や駅はある？



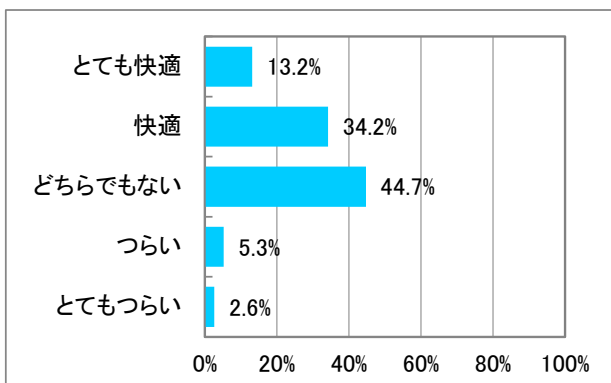
⑥ 「バスや電車(地下鉄)での移動」は楽しい？



⑨ 一人でバスや電車(地下鉄)乗ることができる？

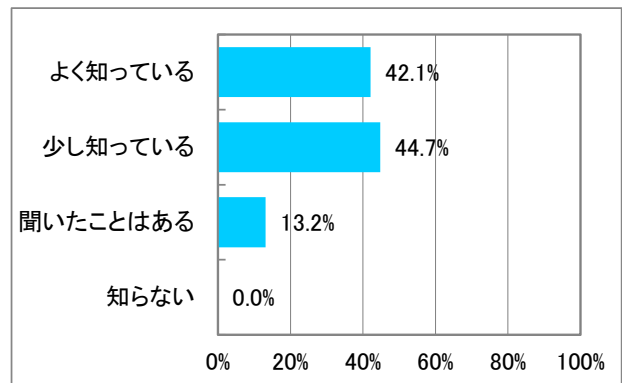


⑦ 「バスや電車(地下鉄)での移動は快適？

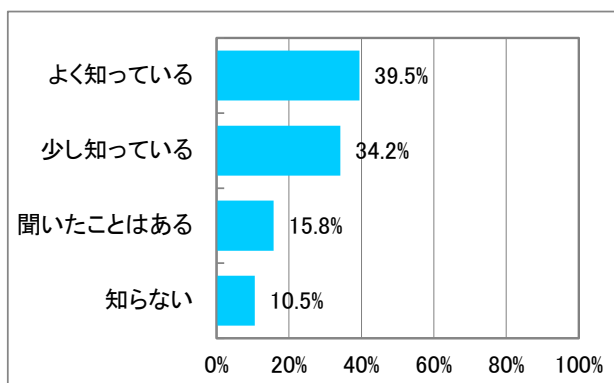


問2. 地球温暖化について

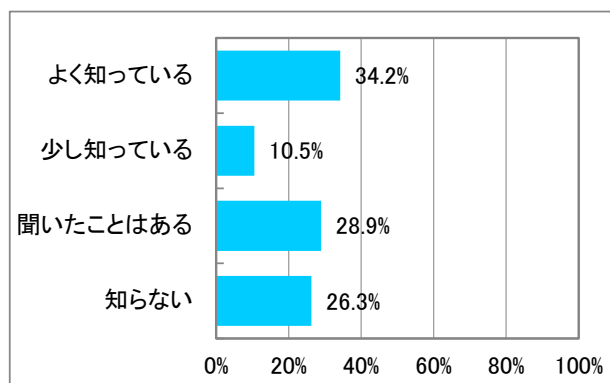
① 地球温暖化という現象について知っている。



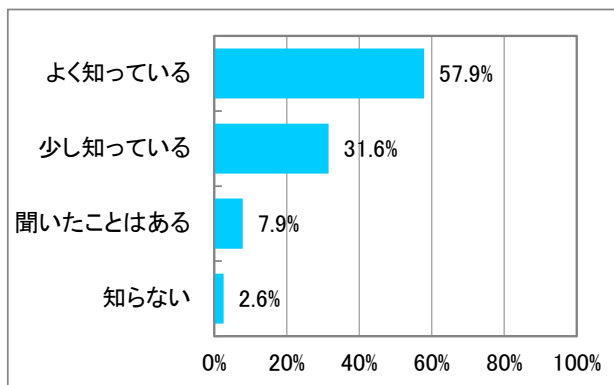
② 温室効果ガスが地球を温めている。



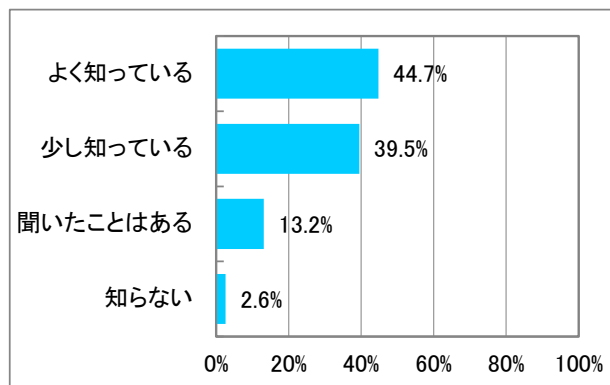
⑤ 日本の年平均気温は、1900年頃から上昇してきている。



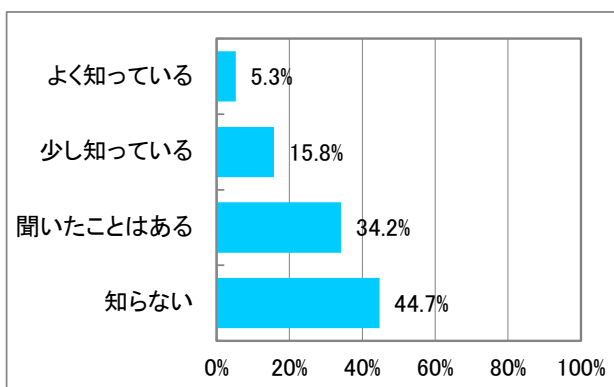
③ クルマやバスから出る二酸化炭素が温室効果ガスの一つである。



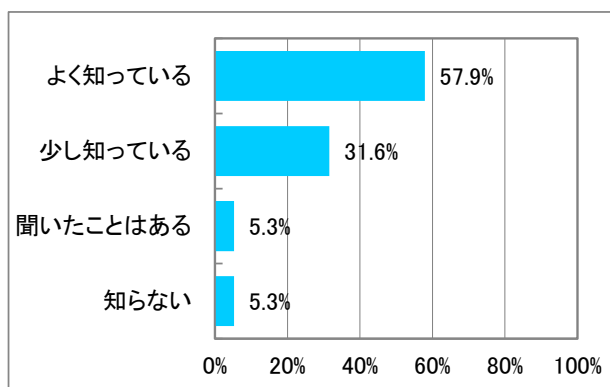
⑥ 地球温暖化が進むと、海面が上昇し、島国では高潮の被害等の問題がおきる。



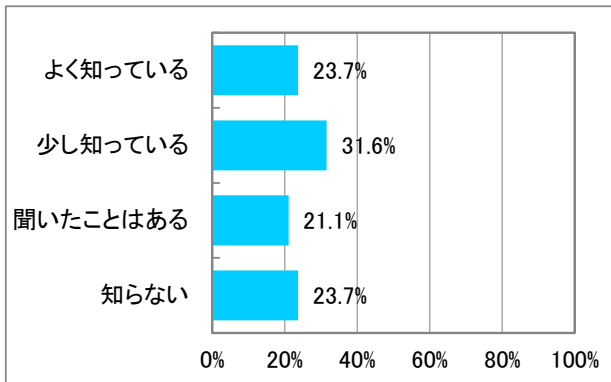
④ 2100年までに地球全体の気温は1.1～6.4℃上昇すると予測されている。



⑦ クルマに比べ、バスや電車(地下鉄)は大勢で乗ると環境にやさしい。

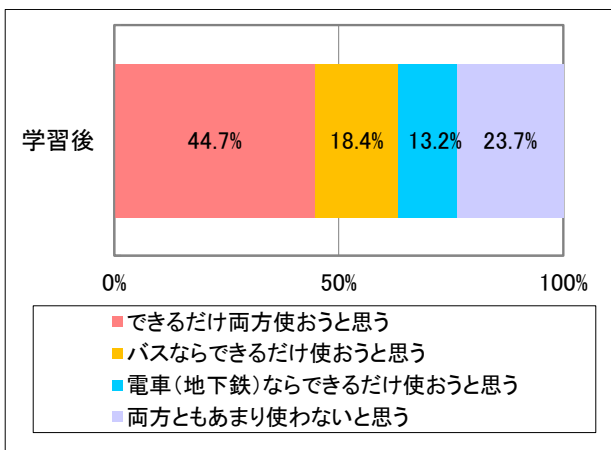


⑧ バスや電車(地下鉄)でも、乗車人数が少ないと、環境にやさしいとは言えない。

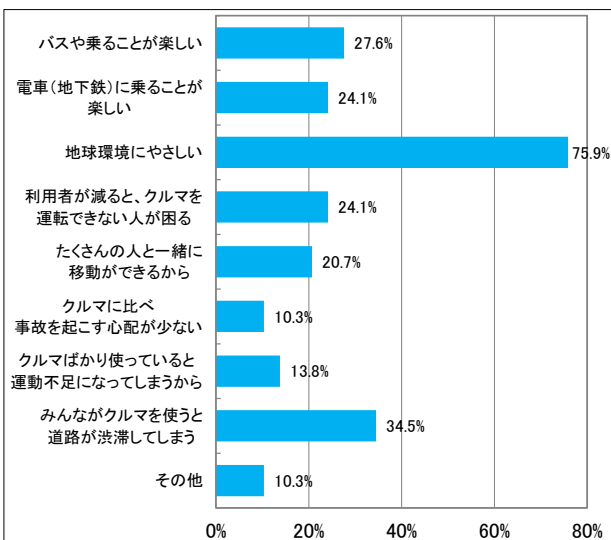


問3. 今後、家族とお出かけする時のこと

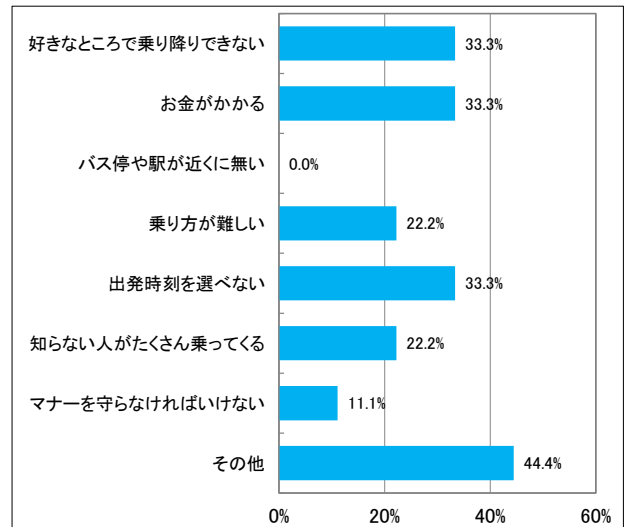
① バスや電車(地下鉄)を使おうと思うか？



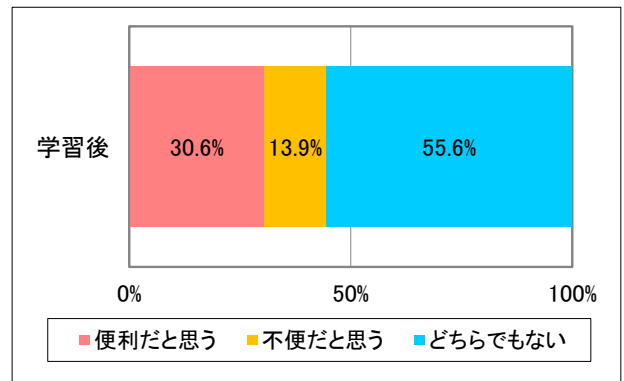
② ①で少なくともどちらかは使おうと思うと答えた理由とは？



③ ①で使わないと思うと答えた理由とは？



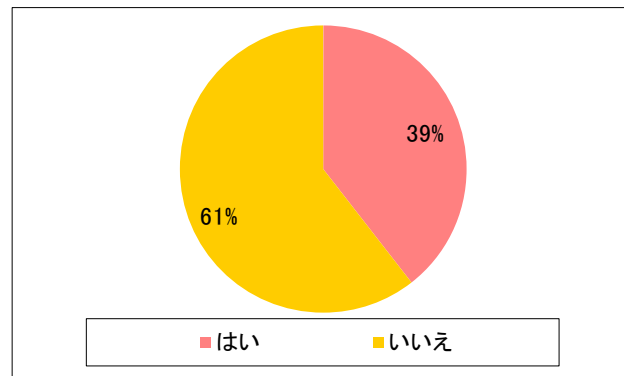
問4. バスや電車(地下鉄)はクルマと比べてどう思うか。



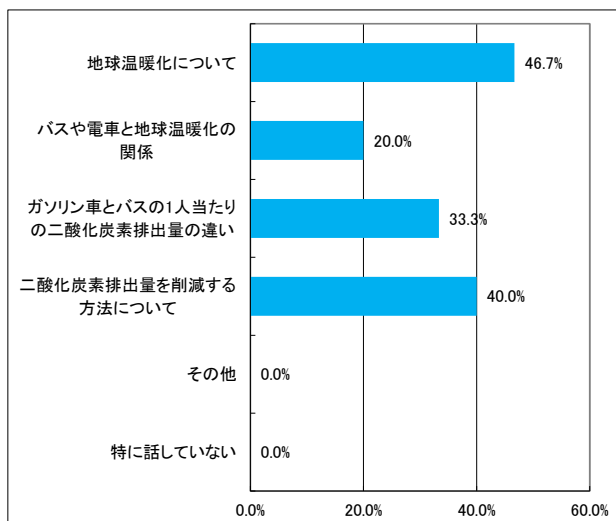
【事後のみ】

問5. 今回の学習を終えてからの事について

① 今回の課外学習について、お家の人と話をしましたか？

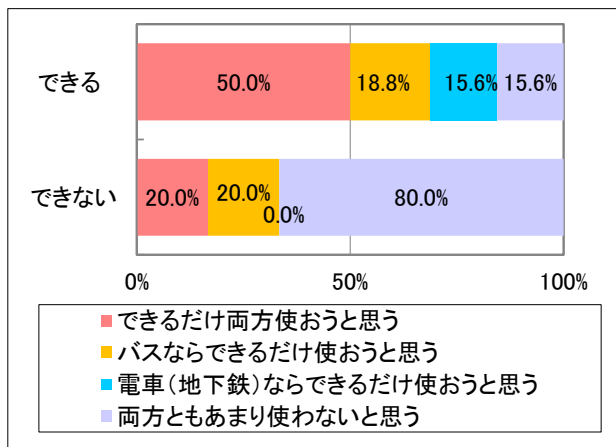


② ①ではいを選んだ人に聞きます。どんなことを話しましたか？

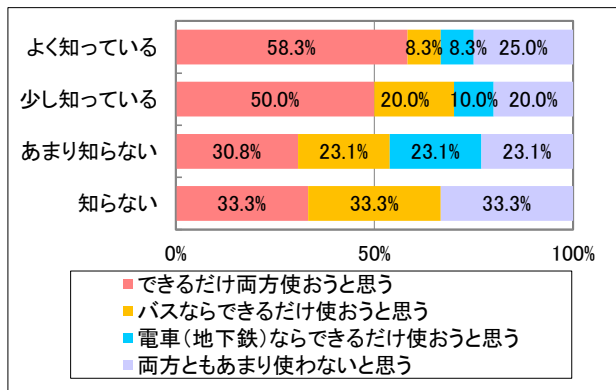


【クロス集計】

① 自力で乗車できる・できない別にみた、今後の公共交通利用意欲



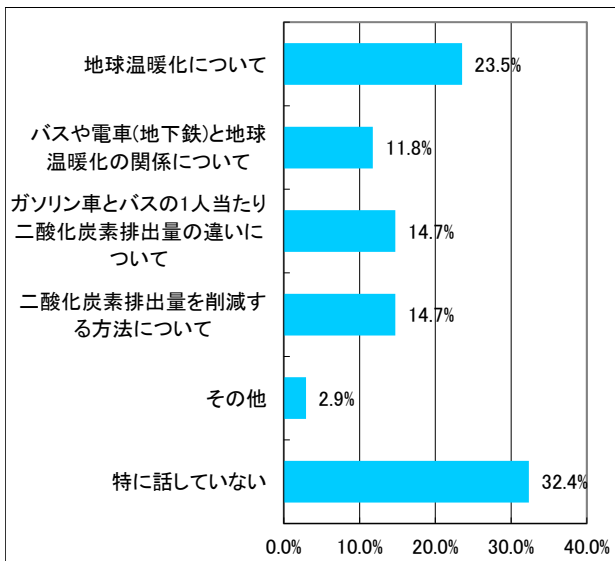
② 環境に関する知識の有無による、今後の公共交通利用意欲



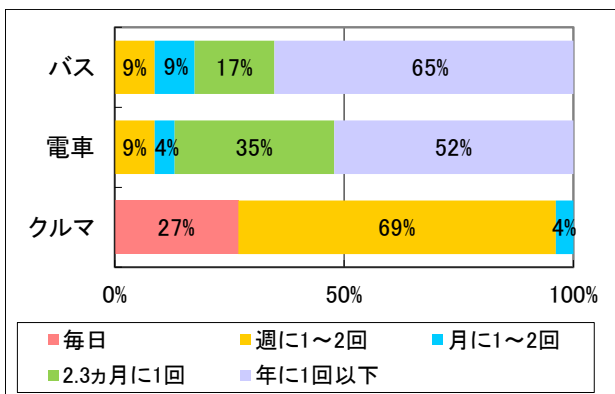
(2) 保護者

- ・ 今後の外出時において、公共交通が利用が少し増えると思うという回答が約4割となっている。
- ・ 児童と話した内容としては温暖化についてが最も多く約2割となっている。
- ・ 少なくとも何か話をしている家庭の方が、公共交通利用意欲が高くなっている。

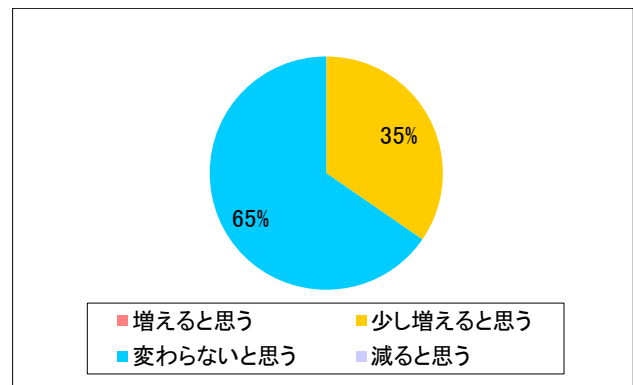
問1. 交通環境学習を終えて、お子様とどのようなお話をされましたか？



問2. お子様とのお出かけでのバスや電車・クルマの利用状況

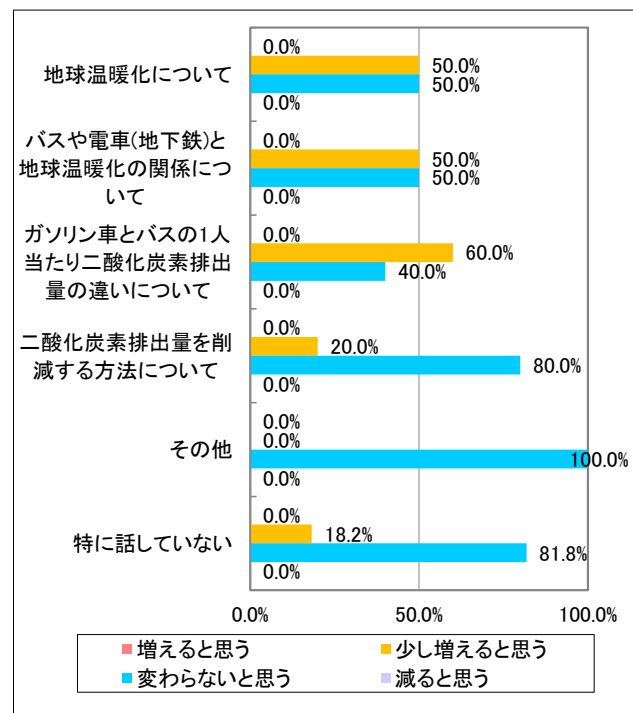


問3. 今後お子様との外出時におけるバスや電車に乗る機会



【クロス集計】

① 学習後に子供と話した内容別、今後の公共交通利用機会



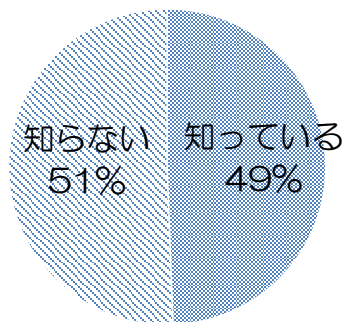
公共交通に関する学習状況アンケート結果

対象 : 市内市立小学校 全 124 校
 回収数 : 83 校 (1 月 10 日時点)
 回収率 : 66.9%

■ 学校回答

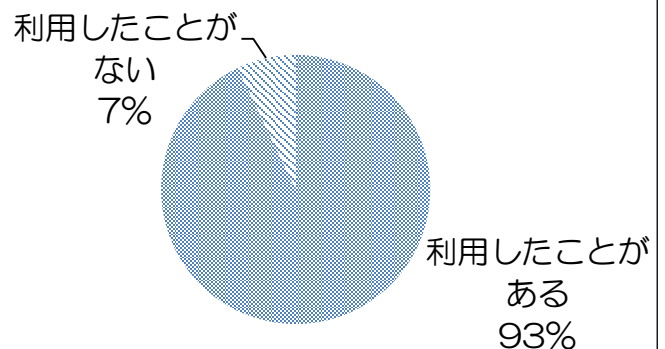
質問 1

「仙台市小学生公共交通環境学習推進事業」の
 認知度



質問 2

学校行事や校外学習等で出かける際に、公共交通機
 関を利用したことがあるか



質問 3 公共交通機関を利用しない理由

- ・人数が多く乗車するのに時間がかかり一般路線は使えない。(4 校)
- ・目的地に行くために乗り継ぎが必要なため。(3 校)
- ・人数が多く全員乗車することができないため一般路線は使えない。(2 校)
- ・バス停や駅までの移動中の事故が心配。(2 校)
- ・学校の近くにバス停はあるが便数が少ない。(1 校)
- ・目的地の近くにバス停や駅がない。(1 校)
- ・車内マナーが心配 (他者への迷惑)。(1 校)
- ・目的地までの移動時間が長い。(1 校)

質問 4 公共交通機関を取り上げた授業の実施例 (公共交通機関を利用したことがない学校のみ質問)

- ・身近な乗り物に乗ろう (2 学年 生活科)
- ・乗り方・マナーの学習 (2 学年 生活科)

質問 5 当事業の教材を活用して、公共交通機関と環境の関わりについての授業が実施可能か。(公共交通機関を利用していない学校のみ質問)

- ・実施できそう (5 校 / 6 校)
 校外学習に行くときに活用できそう。

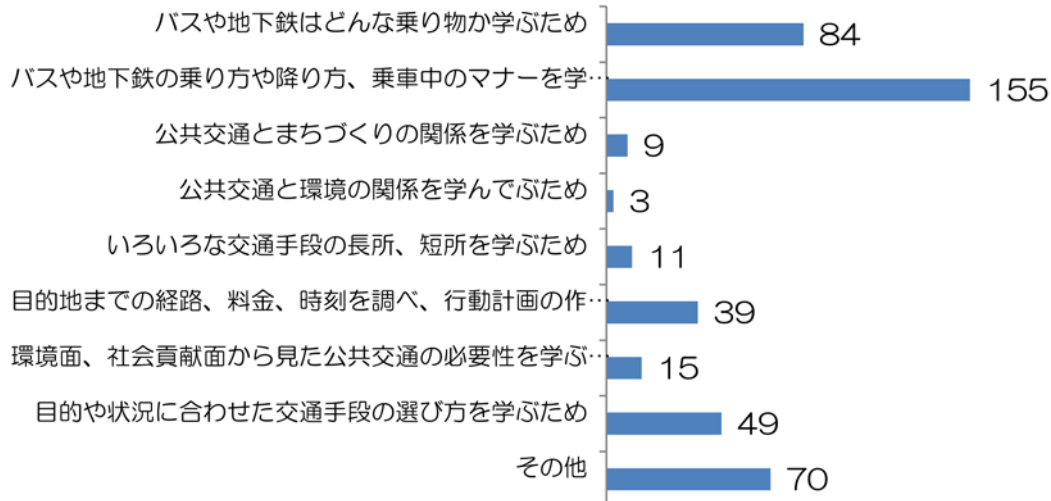
■公共交通機関を利用した事例を担当した先生の回答

公共交通機関を利用した事例 : 204 例

質問2 参加児童数

1 事例あたりの参加児童数 59 名

質問5 公共交通機関を利用した理由



その他の理由

- ・交通費が安いから。
- ・便利だから。
- ・ジュニアパスを利用できるから。
- ・少人数のため貸切バスは負担が大きい。

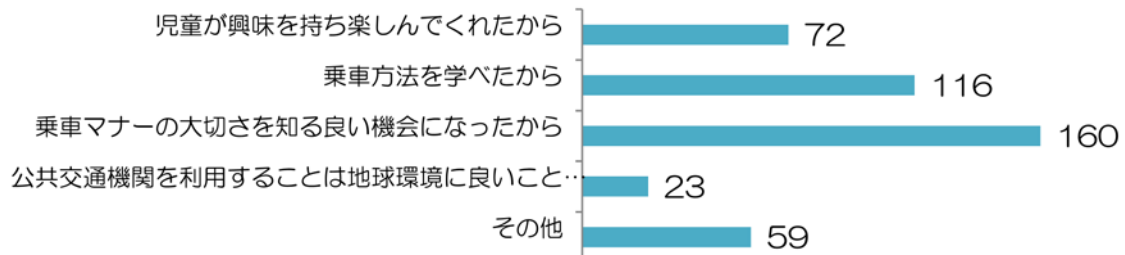
質問6 公共交通機関を利用する際の、乗り方や乗車マナーの指導等を事前に行ったか。

ほぼ全事例で事前指導を行っている。

質問7 次も公共交通機関を利用したいか。

ほぼ全事例で、「利用したい」と回答している。
「利用したくない(1 例)」理由は乗客への迷惑。

質問8 次も公共交通機関を利用したい理由



質問 10 公共交通機関を利用した際に、困難や不便を感じたこと。

地下鉄・JR 利用の場合

- 乗車券を買うのに時間がかかった。
- 朝ラッシュに重なると大人数での乗車はつらい。
- 乗降に時間がかかる。
- 待ち場所の確保に苦労した。
- JR の団体乗車券の購入方法が複雑。(当日欠席分のキャンセルができない。)

バス利用の場合

- 便数が少なく都合よく利用できない。
- 乗降に時間がかかり、一般客に迷惑をかけている。
- バス停に児童を並べるスペースがなくつらい。
- 人数が多く、複数回に分けて乗車させたが、引率が大変。
- バスの運転が乱暴で危険を感じた。

質問 11 当事業に対する意見・要望

- 小学生交通環境学習の教材「地下鉄に乗ってでかけよう」を活用した。(2 例)
- 校外学習の事前学習に、教材を是非活用してみたい。(10 例)
- 教科単元に組み込める内容なので、今後活用していきたい。(1 例)
- 低学年にとって「環境とは？」を実感するのは難しいと思う。
- 仙台市ホームページにキッズページを作って、そこに載せるとよいのではないか。
- バス・地下鉄だけではなく JR も内容に取り入れると活用の幅が広がるのでは。

平成25年12月17日

「仙台市小学生交通環境学習推進事業」に関するアンケートのお願い

クルマは、行きたいところへ気軽にかつ快適に移動できる素晴らしい乗り物ですが、一方で、大気汚染や地球温暖化などの環境問題や、交通渋滞の原因の一つと考えられています。

最近では、クルマの普及と共に、公共交通機関の利用経験のない小学生が増えていることから、仙台市では、公共交通に慣れ親しんでもらうため、公共交通と環境学習とを関連付けた「仙台市小学生交通環境学習」を推進しています。

仙台市小学生交通環境学習は、新たな教科単元とするものではなく、小学校の既存の授業計画に組み込めるような学習プログラムを目指しており、先生方が、学年や小学校、地域に応じてフレキシブルに使用できる教材（電子教材・模擬運賃箱・環境紙芝居など）をご用意しています。

（参考：http://www.city.sendai.jp/sumiyoi/kotsu/smart/1195111_1593.html）

これらの教材群を、小学校で積極的に活用していただけるよう、平成22年度より、実際に、いくつかの小学校のご協力を得てモデル授業を実施し、先生方の負担を軽減し、より活用しやすいものとするため検討して参りました。

来年度からは、是非、各小学校でご活用いただきたいと考えており、今回お願いするアンケートは、より活用しやすい学習プログラムをご提供できるよう、市内小学校における現状及びニーズを把握することを目的に実施するものです。

ご回答いただいた内容について個別にお問い合わせさせていただく場合もございますので、各小学校に於かれましては、ご多用の時期と存じますが、何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

仙台市小学生交通環境学習推進委員会
委員長 菊池 輝

学校回答票

回答票 1

(こちらは、学校全体として回答をお願いするアンケートです。)

質問1 「仙台市小学生交通環境学習推進事業」をご存知でしたか。

はい ・ いいえ

質問2 これまで(概ね過去5年間)学校行事や校外学習等で、出かける際の移動手段として、専用の移動手段(貸し切りバス等)ではなく、路線バス・地下鉄・JRなどの公共交通機関を利用した事例はありますか。

はい ・ いいえ

質問2の回答が「はい」の場合、実際に公共交通機関を利用した事例を担当した先生に、回答票2のアンケートに回答していただきますようお願いいたします。

以下、質問2の回答が「いいえ」の場合にお伺いします。

質問3 移動に公共交通機関を利用しない理由は何ですか。該当するものに○を付けてください。(複数回答可)

- () 学校の近くにバス停や駅がない。 () 学校の近くにバス停はあるが便数が少ない。
- () 目的地の近くにバス停や駅がない。 () 目的地に行くために乗り継ぎが必要なため。
- () 人数が多く全員乗車することができないため一般路線は使えない。
- () 人数が多く乗車するのに時間がかかり一般路線は使えない。
- () バス停や駅までの移動中の事故が心配。 () 車内マナーが心配(他者への迷惑)。
- () その他 ()

質問4 授業の中で地下鉄やバスなどの公共交通を題材にした学習、若しくは公共交通機関を取り上げた学習を実施したことはありますか。ある場合、実施した学年、教科及びどのような授業を実施したかご記入願います。

ある ・ ない

年生 教科:

[]

例) 乗り方と乗車マナーの学習を寸劇形式で学習した。など

質問5 小学生交通環境学習推進事業の教材を活用することにより、既存の教科単元の中で、同時に公共交通機関と環境の関わりについても学習することができます。(別添チラシをご覧ください。)貴校で実施できそうですか。実施できない場合は、その理由をご記入願います。

実施できる ・ 実施できない

[]

小学校名: 小学校 回答した担当者名:

ご協力ありがとうございました。

該当事例を担当した先生の回答票
(こちらは、公共交通機関を利用した事例を担当した先生にお願いするアンケートです。)
※複数事例がある場合はコピーをしていただき、事例ごとに回答をお願いします。

校外へ出かける際の移動手段として路線バス・地下鉄・JRなどの公共交通機関を利用した事例についてお伺いします。

質問1 公共交通機関を利用した学年、教科及び具体的な学習内容を教えてください。

_____ 年生 教科: _____

具体的な学習内容

[]

質問2 参加児童は何名程度でしたか。(凡そで結構です。)

_____ 名

質問3 目的地はどこですか。

目的地: _____

例) 仙台市科学館など

質問4 目的地までの経路(出発地から目的地までの経由地・移動手段)をご記入願います。

[]
例) ○○小学校→(徒歩)→×△駅=(地下鉄)=□○駅→(徒歩)→目的地

質問5 公共交通機関を利用した理由は何ですか。該当するものに○を付けてください。(複数回答可)

- () バスや地下鉄はどんな乗り物かを学んでもらうため
- () バスや地下鉄の乗り方や降り方、乗車中のマナーを学んでもらうため
- () 公共交通とまちづくりの関係を学んでもらうため
- () 公共交通と環境の関係を学んでもらうため
- () いろいろな交通手段の長所、短所を学んでもらうため
- () 公共交通を利用した目的地までの経路、料金、時刻を調べ、行動計画を作成するため
- () 環境面、社会貢献面から見た公共交通の必要性を学んでもらうため
- () 目的や状況に合わせた交通手段の選び方を学んでもらうため
- () その他 ()

質問6 集団で移動する際の乗り方や、乗車マナーの指導等を事前に行いましたか。回答が「はい」の場合は、どのような指導を行ったかご記入願います。

はい ・ いいえ

()

質問7 次回も、児童の移動手段に公共交通機関を利用したいと思いますか。

はい ・ いいえ

質問8 質問7で「はい」と答えた方にお伺いします。

利用したいと思う理由は何ですか。該当するものに○を付けてください。(複数回答可)

- () 児童が興味を持ち楽しんでくれたから
- () 乗車方法を学べたから
- () 乗車マナーの大切さを知るよい機会になったから
- () 公共交通機関を利用することは地球環境に良いことだから
- () その他 ()

質問9 質問7で「いいえ」と答えた方にお伺いします。

利用したくないと思う理由は何ですか。該当するものに○を付けてください。(複数回答可)

- () 一般の乗客に迷惑をかけてしまったから
- () 移動中に危険な場面があったから
- () 引率するのが大変だから
- () 計画・準備が大変だから
- () その他 ()

質問10 公共交通機関を利用した際に、困難や不便を感じたことなどがありましたら教えてください。

()

質問11 小学生交通環境学習推進事業の教材を活用することにより、既存の教科单元の中で、同時に公共交通機関と環境の関わりについても学習することができます。(別添チラシをご覧ください。)ご質問・ご意見・ご要望等がございましたら自由にご記入ください。

()

小学校名： _____ 小学校 回答した先生のお名前： _____

ご協力ありがとうございました。

第9回 仙台市小学生交通環境学習推進委員会

日 時 平成26年1月27日(月) 13:00~15:00

会 場 仙台市役所2階 第5委員会室

出席委員 菊池 輝 委員長 【オブザーバー】
吉村 敏之 副委員長 虹の丘小学校 西嶋 茂雄 校長
伊勢 みゆき 委員
近岡 綾子 委員
鳴中 達也 委員
〔5名〕

事務局 交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境企画課 岡本課長代理
都市整備局総合交通政策部 佐野部長
環境局環境部環境都市推進課 川股課長
教育局学校教育部教育指導課 古澤課長
都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 若生課長
都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 坂野主査
都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 丹野主任
都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 小野寺技師

- 次 第
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 今年度モデル授業の報告
 - (2) 交通環境学習のまとめについて
 - (3) 普及に向けた取り組みについて
 - 4 あいさつ
 - 5 閉会

配布資料

- 資料1 広報用チラシ(案)
- 資料2 小学生交通環境学習の手引き(案)
- 資料3 小学生交通環境学習の手引き 別冊 ~実践事例集~(案)
- 資料4 小学生交通環境学習推進事業の普及に向けた取り組みについて
- 参考資料1 仙台市交通環境学習推進委員会 第6回作業部会議事要旨
- 参考資料2 児童・保護者アンケート調査票及び結果
- 参考資料3 公共交通に関する学習状況アンケート結果

【1. 開会】

- ・ 配布資料の確認

【2. あいさつ】

○菊池委員長

・ 4年をかけて進めてきましたモデル授業も、今日まとめの委員会となっております。今後この事業を発展させていく為にも、今日は委員の皆様から多様なご意見を頂戴したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。なお、委員会設置要綱の第5条第4項の規定に基づいて、今年度モデル授業を実施して頂きました虹の丘小学校の西嶋校長先生にはオブザーバーとしてお越し頂いております。

【3. 議事】

(1) これまでの取り組みについて

○事務局

- ・ 資料に沿った説明

○菊池委員長

・ ありがとうございます。今年度は3つのモデル授業を実施しまして、その内容について簡単にご報告を頂きました。この3つのモデル授業の内容について意見などございますでしょうか？西嶋校長先生から何か補足などございましたらお願いいたします。

○虹の丘小学校 西嶋校長

・ 2年生と6年生の授業を見学しましたが、子供達はこの授業に対して非常に関心を持って取り組んでいる姿、これは間違いなく見ていて感じました。2年生は体験学習を行ったが、子供達は楽しみながら、そして真剣に考えながら学習に取り組んでいました。環境というものは、子供達の体で覚えていくものですから、体験学習を通して学び、環境問題を子供ながらに考える力を持っておりますので、交通環境学習は、非常に意義のある学習ではないかなと思いました。非常に大きなテーマなのですが、身近な存在から楽しみながらこの問題に発展していける要素を持っている授業ではないかと感じました。6年生の授業は、理科の実験を盛り込んだ授業でしたが、皆の生活と密接な内容、つまり、クルマの排気ガスの中の二酸化炭素の量であるとか、これは理科の教科書には無いんです。実際に自分たちが毎日乗っているクルマはいったいどのようになっているのか、地球上にどのような影響を与えているのか、私のクルマも測られてしまいましたが、非常にドキドキしました。毎日使っている自分たちのクルマと、大きな地球環境という問題は密接な関係にあるのだとういうことを、子供達は体感することができた。2年生の体験学習と、6年生の身近な問題から地球環境という問題をという授業は、子供達は興味津々で、学習しているように見えました。こういう授業をどこの学校でもどの学級でも絶対子供達は喜んで取り組むのではないかと、今回学習している子供達を見て確信しました。

○伊勢委員

・先生ありがとうございます。虹の丘小学校さんは去年、たしか5年生の国語科の授業でやられて、今回は6年生で何か繋がりはございましたでしょうか？下地は去年ある程度できていたと思うので、そのあたり子供達の様子などはどのような感じでしたでしょうか？

○虹の丘小学校 西嶋校長

・それは当然、学級もそのまま持ち上がりですので、5年6年と繋がりがありました。5年生の授業ですが、討論会をやりましたね。討論会というのは子供達にとってはとても難しい学習環境でしたが、その中で子供達は問題意識を持つことができました。討論することによって、何が問題なのかということ、今まで考えたこともなかったようなこと、気付かなかったこと、見過ごしていたことを、そういう問題点を子供達が討論する中で感じる事ができた。ですから今回の6年生の授業は、意味合いは違いますが、環境についての意識の高さというものをベースにしながら6年生の実験に入っていた。5年生の学習を行ったからこそ、6年生の学習がかなり深まった。子供達も本当に興味を持って、取り組むことができる。そういう学習環境ではなかったかなと思います。

○菊池委員長

・ありがとうございます。他に何かご質問等ございますでしょうか？虹の丘小学校では、昨年度は国語、今年度は理科。我々として、モデル授業の教科として設定していた部分で行って頂いたということで、校長先生それから飯野先生には我々大変感謝しているところでございます。今お話があったように、やはり繋がりとということもこれからは考えていかなければならないかなど。事業を4年間でやってきまして、我々が当初立てました目標ですと、やはり6年間通して少しずつ膨らましていくという、繋がりをもたせていくことでしたが、4年間という事業の提案書の中で一貫した検証というのは不足していた感は否めないと思います。しかし、取り組んで頂きまして、様々な意見を頂きましたので、これを今後活かしていきたいと思っております。ありがとうございます。それでは、今お話ししましたが、これまでのモデル授業を全て総括しまして、一旦ここでこの事業を取りまとめることになっております。具体的には仙台市の小学校交通環境学習の内容というものを確定いたしまして、各小学校に実施して頂くための手引き、これを作成しようということ、前回の委員会でも発表したと思います。本日の議題の2つ目に参りますが、交通環境学習のまとめ方について、事務局の方で資料を作成しておりますので、そちらの説明をよろしく願います。

(2) 交通環境学習のまとめについて

○事務局

・資料に沿った説明

○菊池委員長

・ありがとうございます。今ご説明頂いたように、この4年間の取り組みのとりまとめといたしましては、資料1、2、3の3部構成になっております。内容について、事務局としてご意見を頂きたいという点が3点ございます。まずこの3部構成ですね。チラシと手引きが2つという構成について1点。もう一つはそれぞれの掲載されている内容の過不足など無いかという点。さらに3点目で、内容の細かいところで記載内容に誤解のないように注意点や注意書きが必要ではないかということでございます。ご意見頂きたいと思うのですが、まず最初ですが、この3部構成について、ご意見等ございませんでしょうか？これは、先生方に回覧してもなかなか目に留まらないということを事務局として懸念しているようですが、環境について学ぼうと回覧するのが良いのか、それとも段階的に伝えるやり方が良いのか、どんなご意見なのか伺いたい。

○事務局

・この3部構成ですが、一気に3つをお見せするという考えではございません。まずは、学校に資料1を配布し、チラシという形で目に留まるようなものを先生のお手元に届け、まずは興味を持って頂く。そして、興味を持たれた先生方が、手引きを見て参考にして頂くということを考えております。

○菊池委員長

・まずはこの資料1にあるものを広く配布し、そのあとで興味を持って頂いた先生に資料2、3は個々に見ていただく。資料1はこちらからプッシュする情報であって、資料2、3に関しましては利用者がプールする情報ということですが、この懸案に関してご意見等ございますでしょうか？

○伊勢委員

・先生方は多分見ないのではないかと。また、活用して頂くということを目的にするとすると、段階を踏むということは大変な手間となると思う。よほど意識の高い先生、やる気のある先生や必要性を感じた先生は、多分ホームページで検索したり、調べたりということをもう既にされていますので、この先生の目に留まれば有効かなと思いますが。ひとつ提案なのですが、当団体で昨年度、教育支援プログラム集というものを作らせて頂きました。実は先生方から非常に好評です。あと、企業さんの方や団体さんの方からも依頼がすごく増えましたという声を頂いております。これと思いは多分一緒なんです。使って頂くには、先生方に如何に知ってもらって、知ってもらうにはどうしたらいいかという工夫をしました。一目瞭然にするというのを心がけました。それと、検索しやすくする工夫をしています。作業部会の方で先生が意見を仰っていたのですが、いったいどの学習の教科領域にあたるのかというのを、どの学年に有効なのか、そしてどんなプログラムなのかというのが解るような内容を見開き1ページに、すぐ解るように伝えるような努力をしました。手引きと実践事例集というような段階を踏まえていらっしゃるのですが、多分読み込まなければならぬのが今の現状

だと思うのですね。せっかく良いプログラムがあるので、何年生ではこれというところで、タイトルと内容が写真とセットにして解るようなもの。それと、後ろの方に説明というような形で、計画の仕方が書いてあり、内容を一冊にまとめた方が、解りやすいのかなと思っておりました。あとは、載せる時に目次のところでも、ページ数をどこに入れるか、情報が行ったり来たりしないように、解りやすくできると良いと思います。あと、冊子としてもページの端にここは何を載せているページですというような形で、見やすくすると良いのかなという気がしています。あとは、連絡先ですが、確認要請事項というものがいろいろあるのですが、先生方の心情を考えると1枚の紙になっているのが良いと思っています。それをコピーしてファックスをすぐに送れるような状況になっていると、さらに使いやすくなるのかなと思います。例えば丸を付けるだけであるとか、連絡先がパツと上に書いてあるとか、書けるような状況になっていれば、更に使いやすくなる。もう少し見やすくして、人が見て、興味を持った人がすぐに開けるような状態で情報がすぐどこを見れば良いか解るような作りになると良いのかなと思っております。

○菊池委員長

・ 沢山ご意見頂き、ありがとうございます。もうちょっと絞ってお話を進めたいと思うのですが、まずは3部構成ということについては、伊勢委員のお話によると、この資料1にあるチラシをもうちょっと小さいサイズにしても、内容が解るようにしてはどうかと、そこは理解しております。その他に構成案についてのご意見ございますでしょうか？段階を踏んで情報を引き出していかなければとなると、手間が増えることになる。事務局でも作業部会の方でも色々な意見が出されたところでございますが、まずは最初に気を引きたいというのがあって、A4 1枚程度にまとめるという感じで、今回資料という形で提出しましたが、細かい内容へは段階的な構成になっているということについて、いかがでしょうか？

○近岡委員

・ 資料2と資料3は、一緒にセットでお渡しするイメージでしょうか？そうではなく、申し出があってから事例集を渡すとかという風に考えているのでしょうか？資料1をまず先生に配布して、それから需要があった時にこの資料2と3を同時にするのかというのがちょっと気になりました。でもなんとなく、これはセットだろうという感じがしますので、もう少し簡略化したものの方が良いのかなと感じております。2部構成といたしますか、チラシが第1段階で資料2と3が第2段階になっている方が、もし私が授業で使う場合、もらった時点でやるという気持ちになるような気がします。

○吉村副委員長

・ こういう形で普及すれば良いなと思うのは、資料3で指導案が詳しく載っているのですが、学校の先生にとってはもう少し簡単にした方が良いのではないかと思います。指導案を長々と読むことだけで先生にとっては負担になる可能性がありますし、これ

は後で検討するのかもしれませんが、広瀬小学校の学習指導案は、かなり生活科にこだわりがあって、色々な広瀬小学校独自の考えもありますので、学校とか先生によって思いやこだわりが出ている。これはひとつの実践例ということでモデル化してフォーマットをまとめてしまうと、解りやすくなると思う。それから、効果について載せた方が良いでしょうし、先ほどお話にもありましたが、資料2と別冊を一つにまとめた方がいいのかなと思います。

○菊池委員長

・その他に何かご意見ございますでしょうか？確認なのですが、まずこれは学校に配布する。資料2と資料3は、このチラシを見るとホームページを見てくれとなっているので、資料2と資料3については、電子媒体しか配布しないという方針なのか、あるいは紙媒体で各校1冊ずつは配布するという方針なのか、それによってもこの3部構成の賛否が分かれるところなのかなと思います。

○事務局

・実践事例集と資料2の手引きを別々にしたのは、先生方が最初に目にする資料としてはボリュームがかなり出てしまうと、先生も読む気をなくしてしまうというところがあるので、この資料1のチラシをまず見て頂くことを目論んでいます。資料1のチラシをまず学校に配りたいと考えています。資料2と実践事例集は、わざわざダウンロードをして見ていただくかなければならないということもありますので、各校1冊くらいずつ紙媒体でお配りしたいと考えております。

○菊池委員長

・資料との関連もありますが、供覧資料として送ってしまうと、他の資料と束になって流れていってしまうので、先生一人一人に渡す配布方法としてはどうでしょう。2部にするか3部にするかという点についてはさらに検討が必要ですが、1部だけ分厚いものを渡してお願いしますという形は回避したい。興味を引くものがひとつ必要であって、興味を持って頂いた先生にさらに詳しい情報を提供する、最低でも2段階での資料作りということで同意を頂けたかと思います。続きまして、掲載すべき内容について、過不足がないか、あるいは誤解を生む可能性があるのではないかなどございましたらご指摘、あるいはご意見頂きたいと思います。先程伊勢委員からは、もうちょっと見やすくした方が良いでしょうということと、もう少し資料1の段階で情報を提供しても良いのではないかなというお話もございましたし、内容については連絡先等細かく書くだけではなく、申込み様式とか、そういったものを載せた方が利用してもらえるのではないかなというご意見がありました。この冊子の中でもう少し全体の中の取り組みが解るような掲載方法について、ご意見を頂きたいと思います。他の内容についても結構でございます。

○吉村副委員長

・なるべく簡略的という方向で考えていますが、この5ページ6ページは、かなり細かい字でグラフが載っているが、チラシ等にありますので、典型的な結果をもっと絞って載せて、むしろ7ページのどんな教材があるの？の活字が見えにくいので、それをもっと目立たせた方が良くと思います。効果は良いものだけを載せれば良いのではないか。そこでメリット・デメリット双方を検証するものではないと思うので、効果がある物だけ載せれば良いと思います。

○菊池委員長

・この構成も少し明確な意図を持って構成をした方が良く。おそらくパーツとしてはどこかに入るものなのですが、後ろの方に持ってくるのか前の方に持ってくるのか、少し工夫の余地がある。私から意見しますが、この資料2の目次について逆引き的な方が良くという作業部会での意見は私の意見なのですが、目次を見て、「交通環境学習とは」「どのように計画すればいいの？」「どんな効果があるの」という見出しはいいと思うのですが、パッと開いた時に例えば、3ページの「どのように計画すればいいの？」とこれだけの説明があると、全部読まなくてはならなくなってしまうので、質問がシンプルなので、回答も2行くらいのシンプルなもののみがまず冒頭にあった方が良く思うのです。これまで4年間でこれだけ実施されたものがあるので、是非ご参考くださいという形で、下にパターンを書く。「どのように計画すればいいの？」と、「過去にもう計画されているものが沢山あるよ」という答えだけでも結構かと思えますし、「どんな効果があるの？」についても、これについては四角で囲んで短めに答えは用意されているのですが、パッパッパッとこれも流し読みできるような薄いものの方がいい。その中で後ろの方には具体的な事が書いてありますので、実践するにあたっての手続きも書いてありますので、伊勢委員から意見があったような、申込み用紙的なものがあるといい。ただし、これを見た小学校の先生がただファックスで送るということになってしまうと思うので、事業者には、こういう書式を持ち込むことについて、しっかり話しを通しておくということが必要になってくるとは思います。多少時間がかかるとは思いますが、学校の先生にとっては非常に使いやすいものになるのではないかなと感じました。もう1点、資料を手にとって気が付いたのですが、資料1の方では「交通環境学習」の言葉からイメージしても、何を意味しているのか解らなかったというようなご意見を先生方がおっしゃっていたと思います。ということで、交通環境学習という見出しは削除して、「交通と環境に関する教材を使ってみませんか？」ということになったのですが、手引きを見ると堅苦しくなっていて、「小学生交通観光学習の手引き」とまた〇〇学習をしなくてはいけないというイメージを持たれるので、ここは一貫して「交通環境学習」というのは、先生方にお渡しする資料からは、なくしてはどうでしょう。我々としては交通環境学習という枠組みの中で発生しているものですが、現場の先生が「交通環境学習」という学習を行っているという意識を持たなくてもできると感じてもらえる表現に工夫してみたいかなと思います。あとは、資料1のチラシが伊勢委員から少し見にくいという意見を頂きました

が、情報が読取りにくいという意味だと理解しておりますが、この資料1の最初に興味を持って頂くキッカケとする資料の掲載すべき内容について、何かご意見ありましたらよろしくお願ひします。

○虹の丘小学校 西嶋校長

・この3つの資料は、4年間かけて検証しながら、やっとりまとめということですが、私としては全体的に非常によくまとまっているなと感じます。よく考えられておりますし、構成等とても工夫されているなど、如何に使いやすくそして見やすくということで、事務局には大変感謝しております。私なりに高く評価したいなと思っておりますが、こうだったらもう少し良いのかなと思ったのがいくつかあります。まず資料1はツカミが大事です。私としては「交通と環境に関する教材を使ってみませんか？」とメインタイトルにしていますね。交通と環境のフォントを同じにして、せつかく解りやすくしているのですから、大きなテーマである地球環境にもう少し踏み込んで、見出しの上に「地球環境が問題になっている今」として、「地球環境について考える教材を使ってみませんか？」というように、大きなテーマとして「地球環境を考える教材を使ってみませんか？」と、交通と環境の密接な関わりを打ち出した方が非常に解りやすくなるのではないかと思います。この裏にですね、資料2の3ページにある低・中・高学年別の事例一覧が載っていると良い。「地球環境を考える教材を使ってみませんか？」というものを見て、面白いなと思ひ裏面を見ると、低・中・高学年の表が載っている。なるほど、こんな教材があるのかと思う。また、教員が一番欲しがっているのは資料3です。こういうサンプルがあるということと、資料2の3ページの学習パターン表です。ここは資料の何ページに書いてありますよと書いてくれていると、逆引きできて「このようにすればいいんだ」となると思う。こういうことが使いやすさなのかなと思います。そして、こちらの資料2の4ページ以降は付属資料で良いのかなと思います。教員が一番欲しがっているのは資料2の3ページと資料3。ですから、そこのところを前面に出していけば良いのではないのでしょうか。

○菊池委員長

・ありがとうございます。作業部会での意見なのですが、2点目ですね。実施する教科単元を明確にしてもらった方が、取り入れやすいということをおっしゃっていますので、具体的にどの教科単元に我々の教材が活用できますよというのは、情報提供をした方が良いのではないかと思います。チラシで言いますと、3点丸で囲まれてこんなことが学べますよと言っているのですが、この中でいったい何年生のどこに対応して、単元だけでよいと思いますが、このように関連したことがあります。詳しくは裏をご覧ください。そして裏を見ますと、西嶋校長先生からご意見あったように、資料2の3ページ目の内容があり、この内容というところを、我々が所有している教材、使用した教材でこういうものが使用可能ですよと。そういう情報を掲載するのが良いのではないかと。作業部会で、実際モデル授業をして頂いた先生のご意見は尊重して反映したいと思います。文字の量は少ない方がよいというようなご意見もありましたので、

それについては、現段階ではこれくらいの文量かなということで、達成できているのではないかと思います。あと1点目ですね、交通環境学習という言葉も削除しました。2点目についても、教科单元について明確にすることも、最初の1枚目で分かるが良い。その他にご意見ございますでしょうか？

○虹の丘小学校 西嶋校長

・普及の問題について少しよろしいでしょうか？普及方法は、生活科の部会が4月5月にありますので、部会の中で、全ての学校の代表者が来ますから、如何に説明をするかというのがある。ただ送るのではなく、こういうものがあってこういうことができるんだよと。部会は毎年ありますので、毎年やれば良いと思う。5年やれば全職員が影響を受けるのではないかと思います。せっかく4年かけて作り上げたものなので、1回配ってもう終わりというのではなく、部会の中でアピールする意義があるのではないかと思います。

○菊池委員長

・ありがとうございます。3点目の議題に、普及に向けた取り組みと、資料の説明を頂くことになっておりますので、そろそろ3点目に移りたいと思いますが、デザインの専門家に聞くと、どうも最近ポップ系のフォントは流行らないそうです。子供向けの教材に対しては、ポップ調のものが興味がわくと思うのですが、やはりデザイナーももうポップ系は使わないという話を聞いておりますので、大人向けに提供する時のフォントについて少しご検討頂きたいと思います。多様なご意見ありがとうございました。それでは議題の3点目、「普及に向けた取り組みについて」ということで、こちら資料がございますので、説明を頂きたいと思います。よろしくお願ひします。

○事務局

・資料に沿った説明

○菊池委員長

・今後の普及に向けた取り組みについてということで、資料4では5点、今後の取り組みについて記載されておりますけれども、これについて何かご質問、また6点目7点目こういう候補があるのではないかというご提案などを頂きたいと思います。

参考資料3との関係ですが、質問5で、できない学校が1校ありますが、これは何か理由が記載されておりましたでしょうか？

○事務局

・記載はされておまして、その理由が来年度、平成26年度の生活科でのカリキュラムがもう決まっているので、新しく取り入れられないというような回答だったと記憶しております。

○菊池委員長

・ありがとうございます。時間的なタイミングの問題であって、何か大きな障害と
なっているという訳ではないという理解でよろしいですかね。

○虹の丘小学校 西嶋校長

・学校では年間計画が決まったから取り入れられませんよということはないはず
です。学校としては十分に取り入れることが可能です。その点はやる気があれば十分可能。
それから2月28日に仙台市小学校教育研究会の理事会があります。今年は虹の丘小学
校が会場ですので、その場でもしこれが説明できればと思っています。これが第1段
階ですね。それと部会でアピールする。そのような機会を使って、この教材の良さと
いうものを、仙台市はどのように地球環境について考えているんだよということを、
多くの方にアピールしていったいいのではないかと考えています。

○菊池委員長

・ありがとうございます。その他いかがでしょうか？細かい質問になるのですが、
アンケートの方ですね、参考資料3の2ページ目に「公共交通機関を利用した理
由」とあるのですが、これはモデル校は除いているのですか？

○事務局

・含んでおります。

○菊池委員長

・例えば下から3つ目の「環境面、社会貢献面から見た公共交通の必要性を学ぶた
め」というのが15件あります。モデル授業の数を抜いても、多分ですが、取り組まれ
た先生がおられるということです。ということはやはりニーズがあるということなの
ですね。そうすると、やはり如何に教材を使ってもらえるように情報提供していくの
かということが重要かと思えますし、「アンケートのお願い」の一番下ですね。「ご
回答頂いた内容について個別にお問合せ頂く場合もございます」と私の名前で記載さ
れておりますので、ニーズがあるということは、今後こういうところが重要になると
思えます。適宜このような形で新しいモデルケースが生まれていくこともあるかと思
いますので、このアンケートの結果を活用し、5番にもありますが成立させて頂きたい
と思います。その他いかがでしょうか？普及についてご提案等ございませんでし
ょうか。これまでも、色々広報活動は行ってきまして、今年度もモデル校を募集しま
すということでしたのですが、残念ながら、タイミングが一番だと思うのですが、手
を挙げて頂く学校はありませんでした。毎回委員会の議題には挙がっていますが、な
んとかPRの仕方について、最後の委員会でご意見頂きたいところです。

○伊勢委員

・この授業が仙台市のということになっているのですが、学校だけに焦点があたって

いる気がします。もちろん先生に同意を頂くということが大事なのですが、引き受けやすさを考えた時に、バスならバスの中に「こういう学習あります」というような広告的なことを載せるというのは可能なのでしょうか？

○事務局

・当然交通環境に関するPRということで仙台市交通局と交渉すれば、大いに実施可能と考えております。

○菊池委員長

・よろしいでしょうか？それではこの5点を中心に今後の普及に向けて取り組んでいきたいと思っております。今日の議事については以上とさせていただきます。ありがとうございます。今日の委員会までに皆様から頂いたご意見を基に、今年度中にこの事業の最終報告書という形でまとめあげることになります。その報告書を仕上げるまでの工程については私と事務局の方に一任頂きたいと思っております。本日ももちまして、この仙台市小学生交通環境学習推進委員会については終了したいと思っておりますが、よろしいでしょうか？ありがとうございました。

【4. あいさつ】

○交通エコロジー・モビリティ財団 岡本課長代理

・4年間どうもお疲れさまでした。本来であれば部長の加藤がこちらに来ましてご挨拶申し上げるところではございますが、生憎所業が入っておりまして、本代理でご挨拶申し上げます。22年度から始まり、当初我々も実は少し戸惑いもあったのですが、22年度の仙台市の委員会での議論を拝見させて頂いて、まだまだやっていけるのではないかなと我々の中で芽生えた取り組みのひとつでありました。今までは、行政の事務局と校長先生だけというような、限られたメンバーでやっていましたが、本委員会は色々な方々のお声があり、またご参加頂いている学校の先生の熱意が伝わってきました。また、丁度1年目の3月に震災がありまして、我々の方でも、もう無理かなと思うところもあったのですが、無事4年間継続しまして、本日委員会の方が終了ということで、本当に我々としても感慨深く思っております。仙台市さんの取り組み、低学年・中学年・高学年と分けて取り組んでいくというのは、今実際他の都市でも実施されておりますし、我々も来年度以降また仙台市さんの取り組みを参考にして、取り組んでいきたいと思っております。本当に4年間どうもありがとうございました。

○都市整備局総合交通政策部 佐野部長

・委員会の終了にあたりまして、ご挨拶させて頂きたいと思っております。この小学校交通環境学習推進委員会でございますが、平成22年実施途中に東日本大震災による中断がございましたが、本日まで4ヶ年に渡り、合計9回の委員会を開催させて頂きました。委員の皆様には、それぞれの立場からのご経験などを基に、活発で非常に有意義な議

論を重ねて頂き、深く感謝を申し上げたいと思います。また、交通エコロジー・モビリティ財団様からのご支援にも改めまして御礼申し上げたい次第でございます。今さら申し上げるまでもございませんが、仙台市ではこれまでの自動車利用を前提としたまちづくりから、過度に自動車に依存しないまち作りをと進めており、また並行して環境にやさしいまち作りというものを進めております。こうした取り組みを進めていく一環で、公共交通の利便性向上と利用促進というところに力を入れているところでして、この中で特に小学生においては既に公共交通離れが現状にございます。まずは公共交通を体験してもらうところから始める必要があるという認識を基に、この取り組みを進めて参りました。今年度、推進委員会といたしまして、これまでの成果を活用しながらモデル授業を重ねることによりまして、先生方にできるだけご負担をおかけしない形で授業計画が立てられるよう、手引きを作成することができたと考えております。この成果はまだ現場の先生方に使って頂いて初めて価値がある、意義があるものだと考えております。今後、周知広報活動を我々が積極的に展開するとともに、使って頂く先生方の生の声を頂きながら、更なる改良を加えまして、広範囲で継続的な交通環境学習を展開して参りたいと考えておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。最後になりますが、冒頭申し上げましたように、交通環境学習は本市のまち作りにとって非常に重要な取り組みでございます。委員の皆様方、大変お忙しいとは存じますが、学識経験者の委員の皆様にはこれからも我々の活動であるとかアドバイスを、各委員の皆様には新たな教材の紹介等、更には学校関係の委員の皆様には、教育の現場から見た取り組みの課題であるとか、教材や手引きの修正ポイント等、それぞれのお立場から適宜ご指摘頂きますようお願い申し上げます。委員会終了の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

【5. 閉会】

議事録署名人

平成 26年 2月 27日

仙台市小学生交通環境学習推進委員会委員長

委員長

菊池 輝

議事録署名人

平成 26年 2月 27日

仙台市小学生交通環境学習推進委員会副委員長

副委員長 吉村敏之